

第九十回帝國議會 衆議院 林業會法案委員會會議錄(速記) 第九回

付託議案
林業會法案(政府提出)

昭和二十一年八月三十日(金曜日)午前
十時十七分開議

出席委員

委員長 森 幸太郎君
理事 水口 周平君 理事 綿貫 佐民君
理事 平野 増吉君 理事 氏原 一郎君
大井直之助君 木島 義夫君
武田信之助君 太田秋之助君
本名 武君 武藤 常介君
永井勝次郎君 林田 哲雄君
的場金右衛門君 井出 太郎君
齋田 正則君 岡司 安正君

出席國務大臣

農林大臣 和田 博雄君

出席府委員

內閣事務官 大橋 武夫君
農林參事官 鈴木 張平君
農林技官 中尾 勇君
農林事務官 平川 守君

本日ノ會議ニ付シタ議案
林業會法案(政府提出)

○森委員長 デハ前日ニ引續イテ會議
ヲ開キマス——氏原君

○氏原委員 御尋ネテ致シマスル前ニ
政府委員ニ一ツ御願ヒシタイト思ヒマ
スガ、此ノ委員會ニ委員トシテ列席セ
ラレテ居リマスル皆様ハ、恐ラク林業
ニ關係ノアル方デアリマスガ、乃至ハ
林業ニ深キ關心ヲ持タレテ居ル方デア
ルカト存ジマス、隨ヒマシテ、本委員
會ヲ通ジマシテ如何ニシテ森林資源ノ
充實ニ依リ農國ノ實ヲ舉ゲ、民主ノ安定

ヲ圖リ、日本再建ヲ企圖センカト云フ
コトヲ眞劍ニ考ヘテ居ルモノデアルト
私ハ信ジテ居リマス、決シテ本案ノ審
議ヲ通ジテ政府ノ虛ヲ獨イタリ、林政
ヲ非難攻撃セントスルヤウナ考ヘハナ
イモノデアルト信ジテ疑ヒマセヌ、所ガ
過日來政府ノ御答辯ヲ聽イテ居リマス
ルト、重要ナ問題ニ對シマシテハ決マ
リ切ツテ折角調在中デアルトカ、慎重
ニ研究シタ上デトカ云ツタヤウナ、從
來ノ議會ニ往々ニシテ見ラレマシタ所
單ニ其ノ場ヲ切抜ケルヤウナ御答辯ヲ
ナサツテ居ル點ガ多イヤウニ存ジマ
ス、眞ニ救國ノ大計トシテノ森林政策
ハ左様ナコトデアハ生レテ來ナイと思
マス、モット政府當局モ我々委員モ、
オ互ニ壯ヲ制ツテ内土ノヤウナ氣持
ニナツテ眞實ヲ披露シ合ツテヤツテ行
カナケレバ、委員會ノ目的ハ達セラレ
ナイデハナイカト思ヒマス同時ニ、
ソレデハ本案ノ審議ヲ通ジテ、本案ヲ
成立サセタト云フコトヨリモ、モット
大キナ森林行政ノ確立ト云フコトニ密
與スルコトガ少クナカナルト云フ處ヲ
抱クノデアリマス、ドウカ一ツ政府當
局モ此ノ委員會ニ於キマシテハ、有リ
ノ儘ノ姿ヲ曝ケ出シテ、政府ニ缺陷ガ
アルノナラバ其ノ缺陷ヲ露呈シテ戴ク
ト同時ニ、委員ノ御尋ネ致シマスルコ
トニ對シマシテハ、オ座ナリデナイ所
ノ御答辯ヲ煩ハシタイト存ジマス

私ハ基本的ナ問題ト本法案自體ニ關
聯スルコトト、大體二ツニ分ケテ御
尋ネテ致シタイト思ヒマス、相成ルベ
クハ今マデ委員會各位ニ依ツテ御質問ニ

ナリマシタ事柄ニ重複シナイヤウニ努
メル積リデアリマスガ、多少立場ヲ異
ニ致シマスノデ、同ジヤウナ問題ニ付
テ政府ノ所信ヲ質スヤウナ場合ガナ
イトモ限リマセヌノデ、其ノ點ハ豫メ御
合ミ置キテ願ヒタイト存ジマス

第一ハ森林ノ所有制度ニ關スル問題
デゴザイマスルガ、政府ハ此ノ森林ノ
所有形態ガ今日ノ如キ狀態デアルト
ガ最モ妥當適切ナ森林政策ノ確立ニ密
與スル途デアルト御考ヘデアリマス
ノカ、ソレトモ森林ノ如キ公共性ヲ帶
ビテ居リマス所ノモノニ付テハ、今
少シ國有若シクハ公有ト云フヤウナ面
ニ範圍ヲ擴大致シマシテ、合理的ナ經
營、合理的ナ管理ソレニ依リ所ノ資源
ノ培養、需給ノ調整ト云フコトヲ強力
ニ推進シ得ル途ヲ開クコトガ適當デア
ルト御考ヘデアリマスルカ、此ノ點ニ
付テ伺ヒタイト思ヒマス、私ノ調査ス
ル所ニ依リマス、同時ニ又ソレハ政
府ノ資料ニ比較對照シタノデゴザイマ
スルガ、大正十年ト現在ニ於ケル森林
ノ階級別所有面積ト云フモノヲ檢討シ
テ見マス、最近政府ガ資料トシテ委
員會ニ配付シナリマシタ森林所有面積
ノ調べト對照シテ、特ニ目ニ付キマス
コトハ何デアアルカト申シマスル、五
十町歩以上ノ大面積ノ所有者ガ人數ニ
於キマシテハ、ソレ程著シイ増加ヲ示
シテ居リマセヌニモ拘リマセズ、其
ノ所有面積ニ於キマシテハ約五十萬町
歩ト云フモノヲ増加シテ居リマス、此
ノコトハ森林ノ所有ト云フコトヲ森林
ノ經營ト云フコトヲ關聯シテ考ヘ

タ場合ニ、ドウシテモ小面積ノ森林ノ
經營ト云フコトハ成立タナイノデア
ル、少クとも森林經營ハ或ル一定限度
以上ノ面積ヲ一ツノ企業體ノ下デ所有
ヲ致シマシテ、ソレニ依ツテ施業案ヲ
編成シ、合理的ナ經營ヲシナケレバナ
ラヌト云フコトヲ裏書キシテ居ルモノ
デアルト考ヘテ差支ヘハナイト私ハ思
ヒマス、所デ其ノ一面ニ於テ私共ガ痛
感ヲ致シマスルコトハ、五町歩以下ノ
面積ヲ所有スル森林所有者ノ平均所有
面積ガ、大正十年ト現在ト比較シテ見
マスルト、僅カデハアリマスルケレド
モ少クナツテ居ルト云フ事實デゴザ
マス、是等ノ關係ヲ勘案シテ見マス
ト、結局ニ於テ森林ト云フモノハ段々
ク、サウシテ又其ノ比較的大面積ノ所
有者ガ之ヲ所有シテ合理的ナ經營ヲス
ルト云フコトガ森林開發ノ上ニ於テ妥
當デアルト云フコトヲ裏書キシテ居
ルナラバ、試ミニ數字ヲ示シマス
ルナラバ、大正十年末現在ノ山林局ノ
調査ニ依リマスル、五十町歩以上ノ
森林所有者ノ一人當リ所有面積ハ百六
十二町歩約十町歩ト云フモノヲ増加致
シテ居リマス、斯ウ云フヤウナ事柄ハ
私ハ森林所有形態ト云フコトト、森林
經營ト云フコトトガ不可分ノ關係ニ立
ツテ居ルト存ズルノデアリマス、隨ヒ
マシテ此ノ問題ハ單ナル「イデオロ
ギー」ノ問題デナク、結論トシテ考ヘラ
レルコトハ、日本ノ森林ヲ此ノ戰爭ニ
依ツテ破壞サレタ凡ニ秩序カラ再建
ヲスル爲ノ一ツノ要素トシテ成立セシ

メル爲ニハ、ドウシテモハ一私人ノ
所有ニ何時マデモ任セテ置クベキデハ
ナク、國有若シクハ公有ト云フヤウナ
大キナ機關ノ中ニ之ヲ包含致シマシ
テ、ソコデ完全ニ施業案ヲ編成シ、サ
ウシテ合理的ナ經營ヲスルト云フ方
向ニ導イテ行クベキデアルト云フコトガ
考ヘラレマス、勿論私ノ質問ノ趣旨
ハ、決シテ零細ナル面積ノ私有林マデ
モ之ヲ總テ國有、公有ニ移スト云フ考
ヘ方デハナク、寧ろ是等ノ面ニ付キマ
シテハ却テ國有林或ハ御料林等ノ中デ
地元ニ之ヲ拂下ゲ致シマシテ、部落若
シクハ町村ノ共同管理ノ下ニ其ノ人民
大衆ノ生活ノ爲ニ供與スルト云フヤウ
ナコトモ、一面ニ於テハ考ヘラレナ
レバナリマセヌケレドモ、基礎トシ
テノ森林所有者ハ、ドウシテモ公有若
シクハ國有ト云フヤウナ面ニ徐々ニ進
デ行クベキデアル、殊ニ農地制度ノ改
革ニ依リマシテ、耕地ニ對スル所有面
積ガ非常ニ制約ヲサレルコトニナリマ
シタガ、現在農林省カラ御提出ニナツ
テ居ル所ノ資料ハ正確デアルト私ニハ
考ヘラレマセヌケレドモ、大體ニ於キ
マシテ林業労働者ト云フモノノ數ヲ數
百萬以上ト推定サレテ居リマスガ、
專業ノ林業労働者ト云フモノハ恐ラク
ハ其ノ、二〇%ニ足ラナイダラウト私
ハ考ヘマス、殘餘ノ八〇%ハ所謂兼業
及ビ林業ノ兼業スル人々デアリマシテ、
是等ノ人々ハ少クとも森林ノ開放ニ依
ツテ十分ナル生活安定ノ途ヲ將來ニ見
出サナケレバナリナイイハデアル、斯
ウ考ヘテ參リマス時ニ、少クとも現在

ノ森林所有制度ト云フコトガ今日ノ維
デ之宜シノカドウカト云フコトニ
付テハ、根本的ニ考ヘバナラヌト思
ヒマス、但林大臣ガ本會議及此ノ委
員會ニ於テ奥山ト里山トヲ分ケルコト云
フヤウナ洵ニ子供ハシヤウナ御答辯
ヲ繰返サレテ居リマスガ、是ハ私ハ農
林大臣ガ全然森林ト云フモノノ經營ニ
付テ基本的ナ知識ガナインノデ、斯ウ云
フ答辯ガ行ハレノデアル、是ハ全體
ヲ通ジテ、綜合的ナ計畫或ハ研究ノ上
ニ立ツタ御答辯デハナイ、唯大臣トシ
テ其ノ場ヲ糊塗シテ居ルノ御答辯デア
ル、斯様ニ拜禮シテ居ルノデアリマス
ガ、少クモ林政ノ直接ノ御ニ當ツテ
居リマス所ノ政府委員ニ於キマシテ
ハ、農林大臣ヨリモモット玄人ニ一應
背ケルダケノ根柢ヲ持ツタ所ノ御答辯
ガ與ヘラルベキデアルト考ヘマス、又
全森林ノ所有者ノ數カラ之ヲ考ヘテ見
マシテモ、所有者ノ總數ニ對シテ五十
町歩以上ノ面積ノ所有者ハ僅カ〇・二
半デアリマス、ソレニ對シテ所有面
積ハ全面積ノ二二・六ヲ占メテ居リマ
スルヤウナ事柄ハ、森林ト云フモノノ
所有形態ガ、今日ノ儘デハ到底行ケナ
インノダト云フコトヲ如實ニ物語ル數字
デハナイカト考ヘマス、此ノ點ニ付テ
ノ御答辯ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○平川政府委員 森林ノ經營ノ上カラ
考ヘマシテ、大臣カラ里山、奥山ト云フ
ヤウナ表現ヲセラレタノデアリマス
ガ、御話ノ如キ農村ニ近イ、農業ト不
可分ノ關係ニアル山ニ付キマシテハ、
其ノ所有形態ト致シマシテ必ズシモ部
落民ノ所有ガ適當デアルカドウカハ問
題デアリマスケレドモ、少クモ其ノ
利用ノ面ニ於キマシテハ、十分ニ之ヲ
利用セシメル必要ガアルト思フノデア
リマス、森林經營ノ立場カラ大面積ノ
奥山ノ方ニ於キマシテハ、御話ノ如ク
細分サレタ經營ヨリハ、大規模ナル經
營ニ依ツテ合理的ナ經營ガ初メ可能
デアルト云フコトハ、其ノ通りデアル
ト思フノデアリマス、是ガ爲ニ現在ノ
森林法等ニ於キマシテモ、施業案ノ設
定ニ付キマシテ、成ル單位ノ森林所有
者ノ協同的ナ經營ヲ獎勵致シテ居ル譯
デアリマス、但シ其ノ徹底シタ形ト致
シマシテ、國有或ハ公有ト云フ形モ考
ヘ得ルノデアリマスケレドモ、併シ現
在直チニ此ノ大キナ民有林ヲ國家ノ所
有ニ移スト云フコトニ付テハ、非常ニ
大キナ問題デアリマシテ、一面農村ニ
於ケル謂ハバ唯一ノ財產保有ノ形トモ
考ヘラレル譯デアリマス、其ノ經營
ノ見地ニ付キマシテハ、是ハ十分ニ國
家のナ見地ニ於テ經營ガ行ハレマスル
ヤウニ指導ヲ致ス必要ガアルト思ヒマ
スガ、所有ノ形ヲ今直チニ一足飛ビニ
國有マデ持ツテ行ク必要ハナカラウ、
經營ノ形ヲ十分指導致シマスレバ、森
林ノ造成ト云フ面、或ハ林産物ノ増
産、サウ云フ面ニ於キマシテハ目的ヲ
達シ得ルダラウト、斯様ニ考ヘテ居ル
譯デアリマス

○氏原委員 大體此ノ點ニ付キマシテ
ノ政府ノ底意ガ分リマシタカラ、是レ
以上質問ハ致シマセヌ、次ニハ是レ亦
他ノ委員諸君ニ依ツテモ質問セラレタ
事項デゴザイマスルガ、林政機構ノ根
本的ナ改革ノ問題デアリマス、即チ現
在ノ森林行政機構ヲ改革致シマシテ、
モット強力ナ行政機構ヲ確立スルコト
ニ付テ、政府ハ用意ガアルカナイカ、
又其ノ方法ニ付テノ御調査ガ出來ツ、
アルカ、即チ具體案ヲ示シマスナラ
バ、現在ノ山林局ト云フモノガ農林省

ノ一局トシテ存在致シテ居リマスケレ
ドモ、例ヘバ森林院デアリマスツカ、
或ハ森林廳トカ云フモノヲ創設シテ、
同時ニ道府縣ニ直轄ノ森林局ヲシクハ
林野局ト云ツタモノヲ設置致シマシ
テ、内務省、農林省、宮内省、或ハ文
部省、運輸省等ニ於テソレレ、管理、
經營、指導致シテ居リマス所ノ森林行
政ノ主管廳ヲラシメルコト、即チ森林
長官、若シクハ森林院ノ長官ハ少ク
モ國務大臣ヲ以テ之ニ充テルト云フ方
向ニマデ之ヲ導イテ、豫算ノ配付等ニ
付キマシテモ、モット強力ニ森林行政
ガ運ビ得ルト云フ機構ヲ作ル、斯ウ云
フ點ニ付テノ御考ヘハナイノデアリマ
セウカ、更ニ之ヲ細分致シマスナラ
バ、現在ノ國有林ノ中ノ北海道ニアリ
マスルモノハ内務省ノ管轄デアリ、又
北海道以外ノ内地ノ國有林ハ營林局ガ
ヤツテ居ル、或ハ民有林ノ指導ハ地方
廳ガヤツテ居ルト云フ風ニ、統一ト連
絡トニ於テ缺クル所ガアルト考ヘラレ
マス、林政機關ガ創設セラレマシテカ
ラ既ニ六十餘年、サウシテ又林業指導
ノ必要トカ林業振興ノ必要トカ云フヤ
ウナ聲ハ随分高ク又ハ久シキニ互ツ
テ居ルニモ拘ラズ、林業發展ト云フコ
トガ他ノ産業ニ比シテ頗ル後レテ居リ
マスル理由ハ何デアルカト考ヘマス
ト、理由ハ色々アリマセウケレドモ、
第一ニ私ハ從來朝野一般ニ林業ニ對ス
ル理解ト認識ガ不足シテ居ツタコトガ
最大ノ原因デアハナカツタカト思フ、即
チ決シテ林業其ノモノノ素質ニ缺陷ガ
アツテ發展性ガ乏シカツタ譯デアハナ
イ、我ガ國ニ於ケル森林資源ノ不足ト
云フコトモ亦其ノ資源ノ源泉タル林野
ノ狹隘ニ基因スル所ノ先天的ナモノデ

ハナクテ、匪大ナ面積ノ林野ヲ有シナ
ガラ其ノ經營ガ不合理デアツタガ爲ニ
生産ガ少イ結果ニ外ナラナカツタモノ
ト考ヘテ宜シイ、即チ永ク天與ノ資源
ヲ放置セル報イガ今日現ハレテ居ルト
云フモ過言デナイノデアリマス、若シ
完備シタ林業計畫ガ樹立セラレマシテ
森林ガ改善セラレマシタナラバ、即チ
林業政策ノ刷新強化ガ速カニ圖ラレテ
居リマシタナラバ、今日ノヤウナ憂フ
ベキ狀態ニハ立至ラナカツタデアラウ
ト云フノガ、識者ノ齊シク認メル所デ
アルト思ヒマス、是等ノ點カラ考ヘマ
シテ、先ヅ森林行政機構ノ刷新強化ト
云フコトハ最モ急ヲ要スル問題デアリ
マスルノニ現在ノ日本ノ森林行政ハ、
僅カニ農林省ノ一局トシテ、而モ世間
カラ其ノ存在ヲ認識シテ實フコトモ出
來ナイヤウナ立場ニ置カレテ居リマス
ルコトガ、將來日本ノ森林行政ニ取リ
マシテノ大キナ不幸デナレバナラナ
イト思ヒマス、耕地面積ノ何倍カノ面
積ノ森林、更ニ此ノ森林ノ使命ト云フ
モノガ、今回ノ戰爭ニ依リマシテ領土
ヲ狹メラレタ我ガ國ニ取リマシテハ、
更ニ又地下資源デアリマス、所ノ石炭
ノ缺乏ト云フヤウナコトカラ考ヘテ、
將來水源涵養ニ依ル所ノ水力電氣ノ發
電トカ或ハ又其ノ他ノ色々ナ面カラ考
ヘマシテモ森林ノ育成ト云フコトガ本
當ニ日本再建ノ基礎的條件デナレバ
ナラナイノニ、今ノヤウニ森林行政機
構ガ微力デアル——微力ト申シマス
政府ハ微力デナイト言ハレルカモ知レ
マセヌガ、事實ニ於テ微力デアル、而
モ其ノ間ニ各省ノ「セクト」主義ニ禍ヒ
サレテ、統一ト連絡トガ不十分デア
ル、斯様ナコトデアリマシテハ、何時
マデ經ツテモ日本ノ森林ヲ「パーセ

ント」ニ國家再建ノ爲ニ動員スルト云
フコトハ不可能デアルト云フ結果ニ陷
ルト思ヒマス、ソレデ私ハ先程申シマ
シタヤウニ、具體的ニ申上ゲマスル
ガ、現在ノ農林省ノ關係ノ森林行政機
構ト、各地方廳ニ於ケル林政機構ト云
フモノトガ思ヒ切ツテ一ツニナル、勿
論憲法改正ニ依ツテ御料林ノ經營ガ林
野局カラ農林省ノ手ニ一ツニナルデア
ラウコトハ豫想サレテ居リマスルカ
ラ、是ハ言フマデモゴザイマセヌガ、
昨日太田委員カラモ僕ノ御話ガアリマ
シタヤウニ、營林省或ハ擔當區ニ勤務
ヲシテ居リマスル官吏ノ人々モ、モウ
少シ府縣ノ林務官聽トノ間ニ於ケル連
絡ヲ取ツテ、場合ニ依リマシテハは一
體トナツテ、民有林ノ指導ニモ營林局
ノ官吏ガ積極的ニ當ツテ行ク、内面暴
露ニナツタ恐縮デアリマスケレドモ、營
林省ニ於ケル擔當區ノ官舎勤務ノ諸君
ガ、所謂有馬島ノ驅除ト云フ名目ノ
下ニ盛ニ管内旅費ヲ取ツテ、受持ノ
區域ヲ巡邏致シマスルケレドモ、事實
ハ鳥ノ聲ツタリ野ニ追掛ケタリスルコト
デアツテ、自分ノ受持ノ國有林ノ管理
ト云フコトハ二三次ニナツテ居ルノガ
現實デアリマス、サウ云フコトヲスル
暇ガアリマスナラバ、其ノ受持管轄内
ニ於ケル私有林ノ指導助成ト云フ方向
ニ時間ヲ割クコトガ必然的ニ出來ルノ
デアリマス、サウ云フ點ニ付テハ中央
政府ニ於テ十分ニ知ラナイ、偶々營
林省カラ署長アタリガ其ノ觀察ニ行ク
ト、ワザ／＼草鞋ヲ濡ラシテ玄關ニ
掛ケテ、如何ニモ勤務シテ居ツタヤ
ウニ工作ヲシテ、實際ニ於テハ受持
林ノ管理等ニ付テモ缺ケル所ガ
其ノ證據ニハ年々山林局ガ御出
リマス森林被害ノ統計ノ中ニ、

云フモノガ随分擧ゲラレテ居ルコトヲ見マシテモ、サウ云フコトヲ裏書スル結果デハナイカト私共ハ考ヘルノデアリマス、斯様ナ工合ニ致シマシテ、少クとも今後ノ森林行政機構ト云フモノハ、御料林國有林、民有林總テヲ通ズル所ノ一ツノ強力ナ機關ノ中ニ綜合的ニ包括サレマシテ、少レニ依ツテ少クとも森林行政ハ一本ノ線ニ沿ウテ、一ツノ命令系統ノ下ニ強力ニ推進サレルト云フコトデナケレバ、今後ノ日本ノ在リ方トシテノ森林行政ノ實ガ上ラナイト云フコトヲ私共ハ考ヘルノデアリマス、此ノ森林行政機構ノ根本的ナ改革ト云フコトニ付テ、此ノ間内山林局長ハ繰返シテ十分ニ研究スル、調査スルコト御答辯デアリマシテ、私共實ハ甚ダ不滿デゴザイマスルガ、内務省カラ横濱ガ入ツテ、出来ナケレバ出来ナイ、過日モ永井君ノ質問ニ對シテ、農林省ノ御意見ト内務省ノ答辯トハ完全ニ對立ラシテ居リマス、併シ此ノコトガ現在斯ウ云フ理由デドウモ見込ガナイト云フノナラバ、其ノ見込ガナイト云フ内情ヲ打ナケテ戴イテ結構デアリマスカラ、此ノ點ニ付テ一ツ如才ノナイ御答辯ヲ戴キタイと思ヒマス

者ノ連絡協調ヲ圖ルベク努力ハ致シテ居ル譯デアリマス、例ヘバ一般民有林ニ對シテハ地方廳ノ取扱フ所デアリマスケレドモ、之ニ對スル指導ハ山林局ノ所管デアリマシテ、各種ノ助成金ノ發算ヲ組ムノ山林局デアリマス、又山林局ニハ是ガ指導ノ爲ノ一課ヲ持ツテ居リマシテ、特ニ此ノ爲ノ指導ニ當ツテ居ツタト云フコトモアツタノデアリマス、又事實問題ト致シマシテ、各地方廳ノ林務ノ主任官ト云フモノト、國有林方面ノ係官ト云フモノトヲ隨時交流ヲ致サセマシテ、實際上ノ人事ニ依ツテ、兩者ノ政策ニ矛盾衝突ヲ來サナイヤウニ、又連絡ヲ十分ニ圖リ得ルヤウナ人事行政ヲ行フト云フヤウナコトモ、内務省ト相談ヲ致シマシテ、是ハ可ナリ大規模ニ實行ヲ致シテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ方法ヲ以テマシテ、出来得ル限りノ連絡調整ヲ圖ツテ居ルノデアリマスケレドモ、近ク憲法改正ノ結果、御料林ノ問題モアリマスルシ、此ノ機會ニ於キマシテ、更ニ御話ノ如キ民有林ト國有林ノ關係ノ一層統合ヲ圖リ得ルヤウナコトニ向ツテ努力ヲ致シタイと思ヒマス、併シナガラ御指摘ノ如ク實際問題ト致シマシテ、地方廳ノ所管隨テ又内務省ノ監督下ニアリマスル現在ノ民有林指導ノ機構ヲ、同ジヤウナ形ニ於テ一體化スルコト云フコトニ付キマシテハ、事實中々困難ガアラウカト豫想ヲ致シテ居リマス、併シナガラ之ニ付テハ我々トシテハ最善ノ努力ヲ致スト云フコト以外ニハ、現在ノ所御答辯ヲ申上ゲ兼ねル狀況デアリマス、尙ホ全體ノ問題ト致シマシテ、森林院ト云フヤウナ大キナ機構ヲ設ケル必要ガアリハシナイカト云フ御話デゴザイマスガ、是モ御料林等

ノ國有林ニ屬スルト云フヤウナ問題ガ起リマス、山林局ノ機構トシテ更ニ充實ヲ致サナケレバナラヌカト思ヒマス、唯之ヲ森林院ト云フ形ニ於テ出来上リマスカドウカハ、是ハ現在ノ所マダハツキリト御答ヘラ致シ兼ねルノデアリマス

○氏原委員 次ニ御諒解致シタイと思ヒマスルガ、憲法ノ改正ニ依リマシテ、百三十萬町歩ノ御料林ガ國ノ所有ニ歸スルコトニ相成リマスルコトハ當然ノ結果デアリマスル、此ノ御料林或ハ陸海軍關係ノ林野、演習地域トカ、軍馬補充用地、或ハ要塞地、斯ウ云ツタヤウナ陸海軍ノ持ツテ居リマシタ林野等ニ付キマシテハ、此ノ機會ニ之ヲ相成ルベク地方ノ地元ノ自治團體等ニ下渡シマシテ、其ノ地方自治團體ノ財政的ナ基礎ヲ作ラセルト同時ニ、將來之ヲ合理的ニ經營スルコト云フ方向ニ導クコトニ依ツテ、其ノ地元ノ産業ノ發達ニ資スルコト云フ御意思ハナイデアリマセウカ、特ニ百三十萬町歩ノ御料林中、皇室財産ニ屬スル三十萬町歩ニ付キマシテハ、此ノ際地元ニ下渡スト云フ途ヲ開クヤウナ御指撝ヲ講ズル御意思ハナイデアリマセウカ、此ノ點ヲ伺ツテ置キタイ

テハ格別デアリマスケレドモ、大面積ノモノニ付キマシテハ、寧ろ之ヲ國有ト致シテ置キマシテ、地元ノ利用ニ供セシメルト云フコトガ宜イノデハナイカ、現在ニ於テモ國有林ニ付キマシテハ可ナリ大キナ面積ヲ或ハ委託林ト致シ、或ハ部分林ト致シ、サウ云フ形式ヲ以テマシテ地元ノ利用ニ十分供セシメテ居ルノデアリマス、又地方税ニ該當スベキ程度ノモノハ、之ヲ交付金トシテ交付スルコト云フヤウナ色々ノ手段ヲ以テマシテ、國有林ガ地元ノ財政ニ寄與シ、又地元ノ利用ニ供スルコト云フヤウナ方法ハ、十分諒解シテ居ルノデアリマス、之ヲ自治團體ノ財政ノ爲ニ自治團體ニ拂下ゲルト云フ形ハ、從來ノ實績ニ鑑ミマスル森林經營上必ズシモ好結果ヲ齎シテ居ラスト云フ點ガアリマスノデ、只今申シマシタ方法ニ依リマシテ、地元ニ利益ヲ與ヘルト云フ行キ方ガ妥當デハナカラウカト考ヘテ居リマス

○氏原委員 先刻森林ハ原則トシテ國有若シクハ公有ト申シマシタノハ、決シテ國有ト云フコトヲ固執シタ譯デハゴサイマセウカラ、其ノ點御含ミ願ヒマス、次ニ森林治水事業ニ付テデアリマスルガ、第七十回帝國議會ニ於キマシテ、當時ノ森林事業經費トシテハ相當多額デアルト考ヘラレマシタトシテノ第二次森林治水事業計畫ガ立テラレマシテ、昭和二十年度以來之ヲヤツテ居ル、所ガ昭和二十年マデニ此ノ第二次森林治水計畫ニ依ツテ計畫ガ實行サレマシタ所ノ歩合ハ、僅カニ全體ノ計畫ノ四〇%デアリマス、而モ此ノ第二次森林治水事業計畫ハ其ノ後經費ヲ增加致シマシテ、相當多額ノ金ヲ使ツテ居リマス、僅カニ戰爭ノ影響ガアツタト云フコトハ否定出来マセウケレドモ、此ノ大切ナ森林治水事業ト云フモノニ對シテ、計畫ノ四〇%シカ完了ヲヨウシナカッタト云フコトヲ基礎トシテ、是ハ私ノ推斷デハゴザイマセヌ、此ノ四〇%ト云フノハ農林當局カラ過日食糧緊急措置令ノ承諾ヲ求ムル委員會ニ於テ、私ニ答辯ガアツタノデアリマスルカラ、農林當局ハ此ノ四〇%シカ仕事ガ出来テ居ナイト云フコトヲ認メテ居ル筈ナノデ、斯ウ云フヤウナ狀態デアリマシタガ、今後ノ森林治水事業計畫ト云フモノハ、今マデヨリモツト私ハ困難ヲ伴フノデハナイカ、例ヘバ資材ノ面ニ於テ或ハ物價、勞賃ノ昂騰ニ依ル所ノ經費ノ上ニ於テ、非常ニ困難ヲ伴フノデハナイカト云フコトガ豫想サレルノデアリマス、隨ヒマシテ政府ガ色々ナ面カラ此ノ治水事業ヤルト云フ掛懸ダケハ殆ロ中華シイノデアリマス、過日來ノ委員會ニ於キマシテハ、實シヤカナ數字ヲオ立ビナリマシテ、如何ニモ山林局ニ任シテ置ケバ森林治水事業計畫或ハ災害林地ノ復舊計畫等ハ十分ニ出来ルト云フ風ニ御説明ハアリマシタケレドモ、過去ノ實績ニ鑑シテ私共此ノ點ニ付テハ殘念ナガラ農林當局ノ御答辯ヲ全面的ニ受容レルコトハ出来マセウ、ソレデアリマスカラ過日來御覽表ニナリマシタ所ノ森林治水事業計畫、荒廢林地ノ復舊計畫、斯ウ云フヤウナモノハ御計畫ノ下ノ程度マデガ實際ニ出来ルノデデアリマセウカ、特ニ昭和二十一年度、今年度ニ於テ施行スル御決定ノモノハ、下ノ程度マデノモノハ實行ガ可能デアルト云フコトヲ一ツ打明ケ

テ御渡シテ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ之ニ伴ヒマシテ別ニ父御尋ネ致シタイト思ヒマス

○中尾府政委員 第二期治水事業ハ御説ノ通り昭和二十二年カニ二十三年度ノ十二箇年計畫ヲ實行シテ來タノデアリマスガ、其ノ豫定ニ對スル實行ノ歩合方御説ノ通り非常ニ少イノハ、戰爭ニ於ケル資材ト勞務ノ不足ノ關係デ、ドウシテモ計畫通りニ實行出來ナカッタノデアリマス、本年度ノ實行箇所ノ計畫ニ當リマシテハ、今ノ資材或ハ食糧事情等ヲ十分考慮致シマシテ、著實ニ效果ノ事業方完了出來ルト云フコトヲ主眼ト致シマシテ計畫ヲ立案テ目下實行中デアリマスルノデ、今年度ノ豫定ハ大體完了シ得ル考ヘデアリマス

○氏原委員 次ニ御尋ネニナリマシタ所ノ所謂造林計畫デアリマスガ、此ノ問題ニ關聯シテ、私ハ二ツノ點カラ政府ノ御所信ヲ質シテ置キタイト思ヒマス、第一ノ問題ハ人工植栽ニ對スル種苗ノ問題デアリマスルガ、政府ノ御計畫ヲ見マスルト、大體ニ於テ一町歩當リ三千本ノ植栽ヲスル計畫デ、昭和二十一年度ニ必要ナ種苗ガ九萬萬本トナツテ居リマス、ソレデ政府自身モ亦此ノ中デ二年生ノ山行キ苗ノ成苗ヲ確保シ得ルハ五〇%以内デアラウト云フコトヲ洩ラサレテ居リマスガ、私共ノ見地カラ之ヲ考ヘマスナラバ、恐ラク植栽計畫ニ對スル成苗ノ供給ハ三〇%カラ上ニ絕對ニ出ナイト云フコトガ考ヘラレマス、ソシテ此ノ足ラナイ分ハドウシテ補充スルカト云フコトニナリマス、一年生苗ノ繰上ゲ山出シト山引苗ノ利用、モウ一ツハ產地直送ト云フコトモ考ヘラレマスガ、是等ノモノヲ以テ成苗ノ不足ヲ補フト云フ結果

ハドウナルカト言ヘバ、成程一應造林ヲシタト云フ趣旨ハ擧ゲ得ルデアリマセウケレドモ、活著ノ歩合其ノ他カラ考ヘマシテ結局來年度或ハ其ノ次ニ於テ相當高率ノ補植ヲヤラナケレバナラヌト云フコトニナリデアリマセウ、本年度ノ植栽面積豫定ニ對スル新植ノ苗木ダケデモ九萬萬本要リマスガ、從來ノ造林ニ對スル補植等ヲ加ヘマスト、是ハ相當大キナ問題デアルト思ヒマス政府ハ此ノ種苗對策ニ付テ九萬萬本ト云フ成苗ノ中ノ五〇%ヲ確保シ、アトノ五〇%ハ今私ガ擧ゲマシタヤウナ色々ナ方法ヲ執ツテヤリマシタ場合ニ於ケル、本當ニ計畫造林ニ對スル苗木ノ問題ノ解決ハドウニカ付クト云フ御確信デアルノカ、ソレトモ政府ノ方ニ於テモ私共同様ニ何等カノ不安ヲ御持チニナツテ居ルノデハナヤカ、此ノ點一ツ伺ツテ置キタイ

第二ノ問題ハ民有林ニ對スル造林ガ果シテ政府ノ計畫通りノヲ遂行シ得ルカ否カト云フ基本ノ問題デゴザイマス、從來ニ於ケルマシテモ森林資源造林法ニ依リマスル所ノ中金カラノ融資ニ依ツテ、森林證券ニ依リ貸出ニ依ツテ、造林ヲ致シマシタ、中金ノ森林證券ヘノ貸出額ハ百四十六萬圓ニ過ギマセヌ、森林資源造林法ニ依ツテ、森林證券ヲ利用シテ造林ヲ致シマス所ノ造林面積ト云フヤウナモノハ、ホンノ一部デゴザイマシテ、政府ガ企圖シテ居リマスルヤウニ、此ノ森林資源造林法ノ活用、利用ニ依ツテ私有林ノ造林ガ非常ニ昂揚サレト云フコトハ、私ハ今ノ所見込ガナイノデハナヤカト考ヘラレマス、而モ尙且ツ勞銀ノ異常ナル昂騰、苗木ノ非常ナル單價高ト云フヤウナコトハ、必然ノ二國有林若クハ公

有林野ノ官行造林等ノ事業ニ付キマシテハ、國ガ優先ノ二苗木ヲ確保シ、或ハ又其ノ他ノ面ニ於テモ便利ガアリマスノデ、或ル程度ノ實績ハ上ルカモ分リマセヌガ、私有林ノ造林ト云フコトニ付キマシテハ、政府ノ企圖セラレテ居ルヤウナ成果ガ上ラナイノデアラウト云フコトハ、是ハモウ火ヲ賭ルヨリモ明カデゴザイマス、所ガ日本ノ現狀カラ考ヘテ見マスルナラバ、國有林等ハ合理的ナ面モ嚴密ナル施案ノ下ニ植伐ノ均衡ガ或ル程度マデ圖ラレテ居リマスルノデ、比較ノ一年二年造林ガ遅レマシテモ差支ヘナイトハ申上デマセヌケレドモ、弊害ノ由ツテ來ル所ガ少イノデゴザイマスガ、戰爭中過伐、濫伐ニ陷ツテ植伐ノ均衡ヲ失シテ居リマスル所ノ私有林ニ付キマシテハ、此ノ際餘程本腰ヲ据エテ造林ヲヤラナケレバ、直チニ是ガ農耕地ニ被害ヲ與ヘテ、日本ノ現下最モ重要ナ食糧問題ノ解決ニ、大キナ穴ヲ開ケルト云フ結果ニナルコトガ豫想サレルノデアリマス、政府ハ此ノ點ニ付テ樹苗ノ問題ト、サウシテ私有林ノ造林ガ經費、資材ノ關係カラ意ノ如ク出來ナイノデアラウ、斯ウ云フ事柄ニ付テ十分ナル所ノ御用意ト對策トヲ御持チデアリマセウカ、此ノ點ヲ成べく詳シク一ツ御答ヘテ願ヒタイト思ヒマス

○中尾府政委員 只今ノ御心配御尤モト考ヘルノデアリマスルガ、此ノ樹苗ノ問題ニ付キマシテハ、實ハ御承知ノ通り戰爭中ニ於ケルマシテハ、此ノ苗圃ノ大部分ガ今ノ農耕地ニ變ツタヤウナ關係ガアリマシテ、本年度ノ植栽ニ要スル苗ノ需給上極メテ憂慮スベキ狀態ニアリマスコトハ御話ノ通りデアリマス、實ハ本年度ニナリマシテ、此ノ山行苗ノ調査ヲ各縣ニ命ジテ致シテ居ルノデアリマス、大體マア三年生ノ山行苗ヲ豫定ノ半分ダケハ確保スルコトガ出來ル見込ガ付イタノデアリマスルガ、後ノ方ノ殘餘ノ五〇%ニ要シマス所ノ苗木ノ需給ニ付キマシテハ、三年生ヲ以テ植栽スルコト云フコトハ、中々デハアリマセヌ、出來ナイ事情ニアリマスルノデ、先刻來色々御話ガアリマシタ通り、二年生ノ苗デマア檢ナドハ二年生デ十分ト考ヘマスシ、又松ノ植栽シマス箇所ニ付キマシテハ、一年生苗デモ十分活著シテ行ク見込モアリマスルノデ、是等ノ不足ノモノハ出來ルダケ今ノ二年生又ハ一年生ノ苗ノ繰上ゲテ山出シヲ致シマシテ、植栽トシテ行キタイ、尙ホ不足致シマスルモノニ付キマシテハ、山引苗ノ利用、是ハ中々一面困難ナ點モアルノデアリマスルガ、植栽林地ノ直グ近クノ林地ニ於テ苗木ヲ採リマシテ、直グ移植致シマスルト、大體活著率モ良ク行クヤウニ考ヘマスルノデ、直グ近クノ林地ニハ、隣接或ハ直グ近クノ林分ノ山引苗ヲ利用シテ植栽シテ行ク、尙又杉ノ山地直挿シ、是モ今マデ經驗致シマシタ所デハ、大體相當ノ成績ヲ收メテ居リマスルノデ、山地ノ直挿シヲ以テ代ヘテ行キタイ、斯ウ云フ點ニ考ヘマシテ、出來ルダケ豫定ノ面積ダケハ只今申上ゲマシタヤウナ方法ニ依ツテ實行ヲ致シテ行ク考ヘデアリマスルケレドモ、ヤハリ色々御話ガアリマシタ通り、此ノ點全部ヲ完了致シマスルコトニ付キマシテハ、相當ノ努力ト、又相當ノ人手ヲ要スルコトト考ヘラレノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ私ノ方デモ尙ホ一部憂慮シテ居ル點モアルノデアリマス、併シ出來ルダケ

此ノ點ハ森林組合等ノ活動ヲ促シマシテ、豫定面積ダケノ植栽ハ完遂致シタイト云フ點ニ考ヘテ居リマス、尙ホ本年度ノ民有林ノ方ノ造林ノ關係デ經費或ハ資材ノ關係デ本年度ノ豫定通りノ完遂ハ難カシイデハナヤカト云フヤウナ御尋ネト解釋致シテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ關シマシテハ、經費ノ點ハ先日申上ゲマシタ通り、只今ノ豫定致シテ居リマスル所ノ豫算デハ、現在ノ人夫賃金等ニ鑑ミマシテ、中々實行ハ困難デナヤカト云フ點ニ考ヘマスルノデ、此ノ點ニ付キマシテハ既ニ豫算ノ増額方ニ付キマシテ交渉モ致シテ居リマス、大體本年度豫定ノ面積ダケハ、苗木ノ關係ハ、先刻申上ゲタヤウナ實情デアリマスルシ、出來ルダケ森林組合其ノ他關係者ヲ活用致シマシテ、完遂ニ努力ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

尙ホ樹苗ノ養成業ニ付キマシテハ、御説ノ通り色々困難モアルノデアリマスガ、是ハ國有ノ苗圃ヲ出來ルダケ利用、活用致シマシテ、今後ノ樹苗ノ需給ヲ圓滑ニ致シテ行キタイト云フ點ニ考ヘテ居リマス

○氏原委員 次ニ御尋ネ致シタイノハ、政府ハ此ノ林業關係ノ補助事業ニ對スル監査制度ヲ確立スル所ノ御意思ハナヤカト云フ問題デアリマス、例ヘバ林道ノ新設、荒廢林地ノ復舊、其ノ他森林關係ノ色々事業ニ對シテ地方廳ヲ通ジテ政府ハ補助金ヲ放出サレテ居リマス、今後モ亦何等カノ形ニ於テサウ云フモノハ引續イテナサナケレバナラナイ、或ハ造林ノ助成等ニ付キマシテモ當然セナケレバナラナイト思マス、所ガ企圖ノ之ヲ考ヘマスルニ、政府ハ補助金ハ放出スルケレ

モ、果シテソレガ地方々々ニ於テ此ノ
實果ヲ擧ゲルヤウナ事業ヲ適切ニ行ウ
テ居ルカドウカト云フヤウナ事柄ニ付
テハ、或ハ又其ノ林道ナラ林道ガ設計
通りニ出來上ツテ居ルカドウカト云フ
ヤウナコトニ付テハ、監査ト云フコト
ハ、全然之ヲ閉却ヲ致シマシテ、極ク
形式的ニ御取扱ヒニナツテ居ル、此ノ
結果ガ實際ニ於キマシテハ、設計ノ單
位ハ「メートル」當リ八圓ナラ八圓ト
云フヤウナコトデ設計書ヲ出シテ居ル
ケレドモ、之ヲ其ノ實價額ニ付シテ、
國ノ補助或ハ地方廳ノ補助ダケデ、地
元ハ之ヲ少シモ負擔シナイデ事業ヲヤ
リ上ゲテ行ク、其ノ結果ガ設計通りノ
仕事ガ出來ナイト云フヤウナコトガ屢
屢アルノデアリマス、又造林ノコトニ
付テモ其ノ通りデアリマス、所ガ政府
ハ一向補助補助ト云フヤウナコトヲヤ
リマスルコトニ付テハ、色々ナ運動ナ
ドニ依ツテモ今マデハヤツテ居リマシ
タヤウデスガ、文書ノ上デハ色々ナ條
件ヲ附ケラレル、デアリマスルケレド
モ、其ノ實際ニ付テハ之ヲ監査シテ、十
分ニ其ノ成果ヲ見究メルト云フヤウナ
事柄ニ付テハ、ドウモ從來缺ケテ居ル
ト私ハ思フ、隨ヒマシテハ「ハワザ」
本省カラ人ヲ出張サシテ、之ヲ監査ス
ルト云フ行キ方デナクテモ宜シト思
ヒマスルガ、少クとも營林局署ノ官吏
ヲ農林省カラノ監査員トシテ派遣ラ
スルト云フヤウナ工合ニ致シマシテ、補
助事業ノ實績ノ監査ト云フヤウナコト
ニ付テ、モット私ハ強力ニヤツテ行カ
ナケレバ、今後森林ニ對スル色々ナ事
業ニ金ヲ出シマシタ所デ、ソレガ生キ
テ來ナイト云フコトヲ考ヘルノデアリ
マスルガ、此ノ點ニ付テハ御所見ヲ伺
ヒタイト思ヒマス

○中屋政府委員 補助事業ニ對シマス
ル今ノ監査制度ノ點デアリマスルガ、
只今マデハ、御指摘ノ通り、ヤハリ豫
算ノ關係或ハ人ノ關係デ、實際ニ一
部ハ實行ハ致シテ居リマシタケレド
モ、全般的ニ互ツテノ監査ハ不行居キ
デアツタヤウニ思ヒマス、此ノ點ニ關
シマシテハ、今後監査ノ徹底化ニ付キ
マシテ、十分研究努力シテ行キタイト
考ヘテ居リマス、尙ホ營林局員ノ利
用ニ關シマシテモ十分研究ヲ致シマシ
テ、御意思ニ副フヤウニヤツテ行キタ
イト思ヒマス

○氏原委員 次ニ御料林國有林野ノ農
地開放ノ問題ニ付テ伺ヒタイト思ヒマ
ス、御提出ノ資料ニ依リマス、本年
度ニ於キマシテ、相當面積ノ御料國
有林野ガ農地トシテ開放サレル御見込
ノ如クデゴザイマスガ、是ノ開放ニ當
リマシテノ具體的ナ方法ハドウ云フ風
ニオヤリニナルノデアリマスルカ、又
是ガ開放ニ依ツテ大體どれ位ノ世帯人
口ガ此ノ開放セラレタ農地ニ收容セラ
レル御見込デアリマスルカ、又入植ヲ
致シマスル豫定者ニ此ノ開墾事業ヲ國
ガ請負等ノ制度ニ依ツテ仕事ヲヤラセ
ルノカ、ソレトモ又開墾事業ト云フモ
ノハ別個ニ之ヲ國ガ直營ヲシテ、サウ
シテ其ノ出來上ツタ農地ニ對シテ、
適當ナルヲ選擇ラシテ入植ヲサセルノ
カ、斯ウ云フ點ニ付テ伺ヒタイト思ヒ
マス

ニ三萬三千六百八十一町歩ト云フコト
ニナツテ居リマス、御提出ニナツテ居
リマスル所ノ資料ニ依ツテ相當ニ相
當トヨデハゴザイマス、大體農地
開放見込面積ト云フモノガ、二十七萬
町歩程ニ上ツテ居リマスガ、是ダケ
面積ノ林地、林野ノ農地トシテ開放ス
ル、サウシテ之ヲ開墾スル、ガ併シ
コ、兩三年ヲ經ズシテ日本ノ食糧事情
ニ變化ガ起ツタ、産業ハ組織形態ニ變
化ガ起ツタト云フヤウナ場合ニ、又ジ
ロ私ハ折角開墾ラシタ所ノ農地ガ再ビ
林地ニ轉換ラシナケレバナラヌト云フ
ヤウナコトニナリハシナイカト考ヘラ
レマス、私ハ此ノ農地開放ト云フ
コトニ付テハ、單ニ現實ノ食糧事情ト
云フヤウナコト、外地同胞ノ引揚ト云
フヤウナコトヲ基礎トシテ考ヘルダケ
デハナク、モット本質的ナモノカラ深
ク考ヘ行カナケレバナラナイト思ヒ
マス、戰爭中ノ食糧事情ガ非常ニ緊迫
ヲシテ居ツテ、林地ノ農地ヘノ轉換ガ
アレ程要請サレテ居ツタ時ニ於テス
ラ、林地カラ農地ヘノ轉換ヨリモ、農
地カラ林地ヘノ轉換ノ面積ガ多カツタ
ト云フコトハ、私ハ是ハ「ハツ」開墾計
畫ニ對スル指針トシテ見逃スコトガ出
來ナイト思ヒマス、是等ノ點ニ付テ一
ツ御意見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○鈴木(總)政府委員 山林地ノ農地ヘ
ノ所謂開墾事業デゴザイマスガ、是ハ
去年ノ十一月ニ初メテ開墾局ガ出來マ
シテ、緊急開墾事業ノ一翼ト致シマシ
テ、是等ノ森林地帶ヨリモ出シテ行カ
ナケレバナラヌ、當初ハ九萬一千町步
程ノ見込デアリマシタガ、二度目ノ調
査ニ於テハ一萬二千町步程殖エマシ
タ、今日ニ於テハ見込トシテ御説ノ通
リ二十何萬町步、御料林、五年後ノ計
畫ニ於テハ三十一萬町步ニナルノデハナ
イカト云フ大計畫ノ下ニヤツテ居リマ
スノハ、食糧ハ國策ト致シマシテ、假
令世界經濟ガ開ケマシテモ、日本人ノ
食糧ハ日本人ノ性格ヲ生ム、斯ウ云フ
觀點カラ國策ノ最重要イモノト致シマ
シテ、是等ハ是非トモ實行シナケレバ
ナラヌ、如何ナル苦難モ立チ超エテ行
カナケレバナラヌト云フ要請ニアルガ
ト存ジマス、尙且ツ終戦後ノ計畫ト致
シマシテ、都市ヨリ山間地ヘ所謂日本
ノ立地計畫カラ、大キナ都市ガ分散作
用ヲ受ケマシテ地方ヘ行キマス、同様
ニ多クノ人口ヲ何處ニ包容スルカ、其
ノ方面ヨリ致シマシテモ開墾ガ必要デ
アルト存ジマス、斯様ナ點カラ一時ハ
戰爭中ノ人手ノ足りナイ關係カラ、御
説ノヤウナコトニナリマシタガ、今日
國策トシテ取上ゲテ居リマス、ドウ
シテモ遂行シナケレバナラヌ立場カラ、
多クノ豫算モ組ンデデアリマス、助成
モ致シテ居リマス、何トカ切抜ケ
得ルノデハナイカト存ジマス

○氏原委員 私人質問ニ對シテノ御答
辯ガマダ落チテ居リマスガ、林地其ノ
モノヲ入植豫定ノ人ニ提供シテ、其ノ
人々ニ開墾ラサセルト云フヤウナ方向
ヲ取ルノデスカ、國營開墾ヲヤツ
テ、ソレニ適當ナ者ヲ選擇シテ入レル
ノデアリマス、ソレカラ又此ノ國有
林、御料林野ノ開墾ニ依ツテ大體どれ
位ノ世帯人口ガ收容サレルト云フ御見
込デアリマス、此ノ點ヲ御伺ヒ致シ
マス

○鈴木(總)政府委員 之ニハ兩方ゴザ
イマシテ、大體開墾局ニ全部任シテ居
リマス關係カラ、コチラハ地所ヲ出
ス、小サナモノハ集團的ニソレ等ノ人
人ガ入ツテ居リマス、大キナモノハ
國ガ場合ニ依リマシテハ開墾シテ後ニ
入レル場合モアリマス、二通りゴザ
イマス、ソレカラ入植者ノ豫定數デア
リマスガ、大體本年度、來年度ノ豫定
ト致シマシテハ八萬戸ヲ豫定致シテ居
リマス、併シナガラ實際ト致シマシテ
ハ本年度ノ就農希望者ガ五萬戸位デヤ
ナイカト考ヘテ居リマシテ、是等ニ用
意シテ居リマス

○氏原委員 昭和二十一年度ニ於キマ
シテハ、日本林業會ニ對シテ山村經濟實
態調査、林業設計實地指導ト云フヤウ
ナコトヲ御委託ニナリ、治山治水協會
ニ對シテハ治山治水事業ノ一部ヲ代行
セシメルト云フ御計畫ノ如クデアリマ
ス、日本林業會及ビ治山治水協會ノ事
業計畫等ニモ此ノコトガ明カニサレテ
居リマスガ、是等ノ森林行政ノ基本的
ナ條件ヲ成シマス所ノ事業ヲ、農林當
局ガ外屬團體ニ委託シナケレバナラ
ナイト云フ理由ハ一體何處ニアルノデ
アリマス、殊ニ治山治水事業ノ一部ノ
如キハ森林組合等ニ代行セシメルノガ
妥當デアツテ、治山治水協會ト云ツタ
ヤウナ森林官僚ノ古手ノ寄合ヒ見タイ
ナ所ヘ持ツテ行ツテ斯ウ云フ事業ヲ代
行サセルナドト云フコトハ、洵ニ當
得ナイコトデアルト思フノデアリマス
ガ、此ノ點ニ付テハ根本的ナ御説明ヲ
戴キタイト思ヒマス

○平川政府委員 日本林業會ニ色々ナ
調査ヲ致サセマスコトハ、是ハ固ヨリ
基本的重要ナ問題ニ付キマシテノ調
査ハ農林省ニ於テ自ラ致シマス、ケレ
ドモ調査ハ可ナリ狀況ニ互リマス、
時ト致シマシテハ豫算其ノ他ノ關
係カラ致シマシテ補助事業トシテ民間
ニ行ハセマシタ方ガ宜イヤウナ調査モ
アル譯デアリマス、詰リ根本的ナ調査

ハ固ヨリ山林局自體デ行ヒマスケレドモ、其ノ補助ノ意味ニ於キマシテ、例ヘバ農業ノ方ニ於テハ農政局ガ中心トナツテ調査ヲ致シマスガ、場合ニ依ツテ農業團體等ニ委嘱スル場合モアリマス如ク、コチラノ方デモ基本的ナ調査ハ山林局ガ行ヒマスケレドモ、補助トシテ日本林業會ヲ使フコトヲ考ヘ方デゴザイマス、ソレカラ治山治水ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ森林組合等ヲ使フコト云フコトハ固ヨリ結構デアリマスシ、其ノ場所々々ニ於キマシテ使ヒ得ルモノハ使フコトデゴザイマスガ、特ニ優秀ナル技術者ヲ少數持チマシテヤル治山治水ニ關スル調査デアリマスト云フヤウナコトニ付テハ外郎團體ヲ用ヒマシタ方ガ便利ナ場合ガアルデアリマス、是ハ飽クマデ補助ノ二便宜之ヲシテ援助セシメルコト云フヤウナ考ヘ方デアリマス

○氏原委員 此ノ點ハ甚ダ御答辯ガ意ニ滿チマセヌガ、殊ニ八月十日付ノ日本林材新聞四四六號ノ記事ニ依ルト、治山治水事業協會ガ事業擴充委員トシテ舉ゲテ居リマスル所ノ委員ノ名前ヲ見テミマス、平川林政課長以下全部役人デアリマス、雖僅カニ治山治水學識經驗者ト云フノガ三名ダケヲ選ツテ居リマシテ、アトノ全部ガ府縣ノ林務課長トカ林業試驗場ノ人トカ云フヤウナ工合デ、一體治山治水事業協會ト云フモノノ實體ハドウ云フモノナカト云フコトニ、甚ダ疑問ガ起ツテ參ルノデアリマス、殊更ニ斯ウ云フヤウナ外郎團體ヲ作ツテ置イテ、サウシテ官僚勢力ヲ温存スルヤウナ通ゲ場所ヲ澤山拵ヘテ置タト云フヤウナコトガ、今マデノ官僚ノ常套手段デアリマシタ、今農

業團體ガ農林省農政局關係ノ仕事ノ調査ナドヲ手傳ツテ居ルト云ハレタガ、例ヘバ農業會ト云フモノハ或ル點ニ於テ農民自身ト繋ツテ居ルノデアリマス、所ガ此ノ治山治水協會ト云フモノノ側カラ申シマス、森林所有者トモ木材事業關係者カラトモ遊離シテ浮上ツテシマツタ所ノ存在デアリマシテ、是等ノモノニ事業ノ代行ヲサセルナラバ、何ガ故ニ森林所有者ノ集リデアル所ノ森林組合ト云フヤウナモノヲモツト利用シナイカト云フコトヲモウ一回伺ツテ置キタイト思ヒマス、同時ニ、是ハ過日平川府政委員ノ御説明ニ依ルト、森林組合ハ之ヲ今後助成ラシテ強力ナモノニスル意思ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ聞カニサレマシタ、而モ其ノ具體的ノ現ハレシテハ、技術員ノ設置ニ對スル補助ヲスルト云フコトヲ言ハレテ居ルノデアリマスケレドモ、本當ノ所私共ガ第三者トシテ公平ナ所ヲ見テ居ルト、戰爭中政府ハ森林組合ト云フモノヲ利用出來ルダケ利用ラシテ、モウ戰爭モ濟ンダカラシテサウ森林組合ニ對シテ大シテ喧シク言ハナイデモ宜シイ、ダカラハ是ハ蛇ノ生殺シノヤウニシテ置イタナラバ、森林組合ノ構成ノ内部ノ要素カラシテ、大面積ノ所有者ハ除外サレテ居ル、財的ニハ非常ニ力ガ弱イモノデアアル、數ガ多イカラ統制ガ非常ニ取リニクイ、其ノ他色色ノ要素カラシテ森林組合ハ必然的ニ内部崩壞ヲ來ス、サウシタナラバ敢テ是ハ戰爭中政府ハ大キナ責任ヲ負ハシテ居ツタケレドモ、自分ノ方カラ潰シテ行クナラバ其ノ責任ヲ兎ヤ角言フ必要ハナイデアハナイカト云フヤウニ考ヘラレテ、森林組合ニ對シテハ、今日ハドチシカト云フト繼子扱ヒノヤウナ扱ヒ

ヲシテ居ルノデアリナイカト云フコトガ、第三者トシテ公平ニ見テ看取サレルノデアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマシテモ、私ハ此ノ治山治水事業ノ如キヲ、正體ノ餘リハツキリシテ居ラヌヤウナ協會ナドニヤラセルヨリモ、森林組合ト云フモノヲ政府ガドウシテモ助成シ、強化シナケレバナラヌトスルナラバ、是ハ明カニ全縣縣ト云フヤウナ組織的ノ團體モアルノデアリマスカラ、是等ニ任スベキデアリナイカト考ヘラレノデアリマスガ、重ネテ此ノ點ノ御答辯ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○平川府政委員 森林組合ニ對スル第三者トシテノ御觀測デアリマシタケレドモ、是ハ全ク我々ノ考ヘテ居ル所ト違ヒマス、私共ハ決シテサウ云フ考ヘヲ持ツテ居リマセヌ、森林組合ハ飽クマデモ、之ヲ助長シテ參リタイト云フ風ニ、ソレハ其ノ通り考ヘテ居リマス、治山治水協會ノ問題ニ付テハ、此ノ治水事業ハ特殊ノ事業ヲ持ツテ居ル譯デアリマス、森林組合ノ行ヒマス森林ノ維持造成ト云フコトダケニ限リマセヌ、相當ニ土功的ノ仕事モ持ツテ居ル譯デアリマス、サウ云フ意味カラシテ治水關スル技術者ト云フモノハ稍々特色ヲ持ツテ居ルノデアリマス、サウ云フ意味デ此ノ治水事業ニ關スル限リ固ヨリ造林ノ方トモ密接ナ關係ガアリマスカラ、森林組合ヲ無視スルト云フ譯デハアリマセヌケレドモ、特別ナモノガアツテモ決シテ差支ヘナイト云フ風ニ私共モ考ヘテ居ル譯デアリマス、尙ホ治水協會ノ新聞ノ記事デアリマス、尙始メヨウト云フハ、本年カラ特ニ實際ノサウ云フ事業ヲ始メヨウト云フ譯

デアリマシテ、先程モ御話ガアリマシタヤウニ、戰時中治山治水ト云フモノガ非常ニ輕視サレテ居リマシタ關係上、實際ニ是ガ動キ得ナカタノデアリマス、本年カラハ戰時ノ色々ナ制約ガ除カレテ參リマシタ譯デアリマスカラ、其ノ事業ヲ始メヨウト云フコトニ付テ關係者ノ委員會ヲ作ツタト云フヤウナコトデアリマス、固ヨリ是カラ其ノ方面ノ專門ノ技術者モ段々ト出マシテ、此ノ仕事ヲヤツテ行ク譯デアリマス

○氏原委員 ドウモ納得シ難キマスカラ、是ハ又別箇ニ御尋ネシマス、次ニ公有林野官行造林ニ付テデアリマスガ、現在官行造林ハ公有林野ニ限ツテ居リマスケレドモ、私共ハ今後日本ノ森林ノ資源ノ造成ト云フ點カラ考ヘマシタナラバ、此ノ公有林野官行造林ノ制度ヲ公有林野ニ限定致シマセヌ、一般民有林野ニ對シマシテモ、國ガ造林事業ヲヤツテ行ク、サウシテ、其ノ收益ヲ分收ノ歩合ニ依ツテ森林所有者ニ分ケルト云フヤウナ制度ヲ考ヘルコトガ、特ニ造林事業ト致シマシテハ必要ナコトデアリナイカ、殊ニ先刻指摘シ致シマシタ通り、段々ト森林ノ一人當リノ所有面積ガ大キクナツテ參リマスト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、立木ノ處分ヲ致シマシタ跡地造林ト云フコトニ付テハ、ドウシテモ官行造林ノヤウナ強力ナ組織ト技術ト、サウシテ特長ト持ツテヤリマスコトノ方ガ妥當デアリナイカト考ヘマスルノデ、將來官行造林ヲ一般民有林ニモ範圍ヲ擴大スルト云フヤウナ御意思ハナイカ、此ノ點ヲ一ツ伺ツテ置キタイ

○中尾府政委員 只今ノ御意見御尤モト存ズルノデアリマスガ、政府ニ於キ

マシテモ民有林ノ官行造林ノコトニ付キマシテハ、御説ノ通り必然性ヲ認メテ居ルノデアリマス、此ノコトニ付キマシテハ、出來ルダケ實行シテ行キタイト思ツテ只今研究ヲ致シテ居リマス

○氏原委員 國有林ニ對スル所ノ、又將來御料林モ農林省ノ管轄ニナリマシタヤウナ場合ニ於ケル官行研伐事業デゴザイマスガ、官行研伐ノコトハ私ハ凡ユル面カラ之ヲ批判ラシ、檢討致シマスル場合ニ於テ、或ベク國官行研伐ト云フヤウナコトハヤラナイ方ガ宜イノデヤナイカ、斯ウ云フ意見ヲ持ツテ居リマス、サウシテ成ベク之ヲ立木處分ニ依ツテ地元ノ森林組合其ノ他ノ事業トシテヤラセル、國ノ方ハ寧ロ官行研伐ニ依ツテ伐木造林カラ運材、製炭ト云フ所マデ行カズニ、今申シマシタヤウニ造林ト云フ方ヘ國ハ出來ルダケ力ヲ込メテ行ク、サウシテ其ノ方ガ私ハ國ノ方ノ利益ダト思フ、オ役人ガ色々ナ名目ヲ付ケテ何ノ彼ノト言ツテ無駄ナ費用ヲ使ツテ官行研伐事業ヲヤリマス、造林ニ對スル石當リ單價ニシテモ、木炭ノ一貫目ノ單價ニシテモ、決シテ造林カラ嚴密ニ計算ラシテ行クト、官行研伐事業ハ民間ノソレト比較シテコストハ安クハナイト私ハ見テ居ル、而モソレナラバ官行研伐ヲヤツタナラバ、優良ナル材ガ出テ來ルカ、木炭モ良質ノモノガ出ルカト云フト、事實ハ反對デアリマシテ、官行材ハ素材トシテハ立木ハ非常ニ立派ナ物ガアルケレドモ、是ガ最終ノ土場ニ出テ來タ場合ニハ非常ニ價値ヲ損ジテ居ル、民間ノ物ト比較シテ其ノ價値ガ非常ニ劣ルト云フヤウナコトモ考ヘラレルノデアリマス、デアリマスカラ、官行研伐ノ如キハ

成べく制約致シマシテ、出来ルダケ
立木處分ヲスル、ソレト同時ニ民間
ニ於テ色々條件十分ニ仕事ノ出来
ナイ民有林野ノ官行造林ト云フヤウナ
方面ヘモ手ヲ伸バシテ行クコトガ妥當
デハナイカト思ヒマス、此ノ點
ニ付テハ尙ホ當局ハ十分ニ御考ヘテ
ヒタイト思ヒマス

ソレカラ日本、地木ノ清算ノ結果ニ
依リマスル所ノ剩餘ガ生ジマシタ時
於キマシテハ、之ヲ森林資源造成ノ經
費ニ充テル爲ニ、政府若シクハ地方廳
ニ納付セシムルヤウナ措置ヲ執ル御意
思ハナイカ、此ノコトヲ御伺ヒシテ置
キタイト思ヒマス、日本、地木ガ戰爭
中日本ノ森林資源ノ濫費ヲヤツタト云
フコトハ、凡ソ點ニ於テ指摘ヲサレ
テ居リマスルシ、又此ノコトノ爲ニ日
本、地木ガ社會トシテヨクモ寧ろソレ
ニ携ツテ居ル人ノ個人的ナ立場ニ於テ
莫大ナ利益ヲ收メテ居ルト云フコト
ハ、モウ明々白々ノ事實デアアル、隨ヒ
マシテ日本、地木ガ清算ノ結果剩餘金
ガ出タ場合ニ、之ヲ將來ノ森林資源ノ
造成ノ經費ニ充テル爲ニ國若シクハ地
方廳ニ對シテ納付ヲサセルト云フ措置
ヲ執リマスルコトハ、私ハ彼等ノ罪亡
ボシノ爲ニモ絕對ノ必要ナコトデア
ルト思ヒマス、此ノ點ニ對スル政府ノ
御所信ヲ伺ツテ置キタイト思フノデア
リマス

○鈴木(強)政府委員 御説御尤モデア
リマス、去年ノ十一月ニ一應日本
ノ統制ノ組織ヲ是正スルト云フノ當
時所謂企業許可制度或ハ集荷配給ノ獨
占性ヲ地木社カラ奪ツタ時ニ、持ツテ
居リマスルモノハ一應之ヲ日本社或ハ
住宅營團ニ分ケ與ヘマシタシ、尙ホ立
木ノ手持ハ元ノ所有者ニ大體御返シヲ

シロト云フヤウナ通牒ヲ出シテ居リマ
ス、御手許ニ配付シテアルト思ヒ
マスガ、地木社ノ利益ノ調ベモ皆樣ノ
御手許ニ行ツテ居ルト思ヒマスガ、サ
ウシタコトハナイノデヤナイカ、今
度ノ清算ニ當リマシテモ、其ノヤウナ
大キナ豫想ハ出来ナイト思ヒマス、併
シナガラ一應統制會社ト致シマシテ、
國家ガ之ニ統制力ヲ與ヘル關係ガアリ
マスカラ、相當ナ剩餘ガ出タ場合ニ於
キマシテハ、御説ノヤウナコトヲ考ヘ
テ見タイト思ヒマス

○氏原委員 次ニ戰災住宅ノ復興ガ政
府ノ計畫ノ通りニ行カナイ、其ノ理由
ハ先ヅ第一ニ木材ニ隘路ガアルノデア
ルト云フコトガ世間一般ノ常識ノ如ク
ニ傳ヘラレテ居リマスガ、私共必ズシ
モサウ云フ風ニハ考ヘテ居ナイ、農林
當局ハ、一體世間一般ニ戰災住宅ノ復
興ト云フモノガ十分ニ進捗ヲシナイ、
計畫通り行カナイ所ノ理由ガ、第一ノ
隘路ガ木材ニアルト云フコトヲ、甘シ
ジテサウ云フ非難ヲ受ケテ居ルノデア
リマスルカ、ソレトモ之ニ對シテハ何
カ一ツ森林當局トシテサウデナイト云
フコトヲ反駁シ得ルダケノ根據ガゴザ
イマスルカ御進ラシテ願ヒタイ

第一ノ計畫ト致シマシテハ、二十五萬
戸建設致シマス、ソレニハ千二百萬石
ノ木材ガ要ルノデアリマスガ、是等ニ
付キマシテハ進駐軍要材ガ大體見送シ
ガ付キマシテハ、是ヨリ十分ナ入手
ガアルト思ヒマス、第一四半期ニハ百
八十萬石ト豫定致シマシタクレドモ、
之ニ入リマシタノガ百二十九萬石、七
二〇入ッテ居リマス、第二四半期ニハ
二百十八萬石、此ノヤウニ豫定致シマ
シテ、尙ホ第三、第四ト殖エテ參リマ
ス、隨テ木材ニ付キマシテハ色々隘路
ハアルト思ヒマスガ、國ニ於キマシテ
ハ出来ルダケ努力致シマシテ、是等ノ
二十五萬戸計畫ヲ完遂シタイト考ヘテ
居リマス、併シナガラ木材ダケデナ
ク、他ノ必要ナ釘材或ハ輸送關係其ノ
他テ相當困難ヲ來シテ居ルコトハ甚ダ
残念デアリマスガ、出来ルダケノ努力
ヲ今後致シ考ヘデアリマス

○氏原委員 參與官ハ私ノ質問ヲ取違
ヘテ居リマス、私ハ戰災住宅ノ復興ガ
意ノ如ク進捗シナイノハ第一ノ隘路ガ
木材ニアルノダト云フコトヲ世間一般ニ
言ツテ居リ、戰災復興院モ、住宅營團モ
サウ言ツテ居ル、所ガ實際ニ於テハ、
木材ハ住宅營團ガ管轄局アタリカラ相
當多量ノモノヲ提供ヲ受ケナガラ、是
ノ處分ヲヨウシナイ爲ニ家ガ建タナイ
ノデアツテ、私共ノ考ヘカラ言フナラ
バ、戰災住宅ノ復興ガ意ノ如クニ行ツ
テ居ナイノハ、木材界ガ其ノ責任ヲ全
部負フベキモノデヤナイ、斯ウ言ツテ
居ルノデアリマス、決シテアナタノ御
答辭ノヤウナコトヲ願イテ居ルノデハ
アリマセヌ、此ノ點ニ付テハ尙ホ戰災
復興院ノ係ノ方ノ御意見ヲ伺ヒタイト
思ヒマス
次ニ約一億六千萬坪ニ互ル都市ガ戰

災ニ遭ツタノデアリマスガ、之ニ對シ
マシテハ政府ノ計畫ト致シマシテ相當
廣イ面積ノ綠地帶ガ設定サル御計畫
ノ如クデアリマス、此ノ「グリーン・
ベルト」ニ對スル造林計畫、殖林計畫
ト云フコトニ付テハ、勿論農林省ニ於
テ之ヲ擔當セザレバ部門ガ多カラウト
思ヒマスガ、此ノ一億六千萬坪ニ互リ
マスル全國ノ戰災都市ノ復興ニ伴フ綠
地帶ノ設定ニ依ル殖林計畫ニ付テ御洩
ラシテ願ヒタイト思ヒマス

○中尾政府委員 只今御尋ネノ綠地帶
ノコトニ付キマシテハ、只今マデ何等
關及シテ居リマセヌ、計畫モ持合シテ
居リマセヌ
○氏原委員 ソレデハ小サイ問題ヲ一
括シテ御尋ネ申上ゲマス、若シ資料ガ
アリマセヌケレバ、後カラ書面デ御答
ヘ願ヒタイ、森林組合ノ施業案ガ編成
サレテ正式ノ認可ヲ與ヘラレテ居ルモ
ノ、其ノ施業面積、ソレカラマデ成規
ノ手續ノ済ンデ居リマセヌ森林組合ノ
數、ソレカラ高知管轄局管内ノ別子山
國有林一萬七千町歩、之ヲ鐵業兼備林
トシテ貸付ヲ致シテ居リマスガ、現在
一町歩當リドレダケノ貸付料金ヲ御取
リニナツテ居リマスカ、御分リナラバ
御報ラセ願ヒタイ

西園寺公爵トノ特別ノ關係ニ依ツテ古
クカシ一錢デアリマス、斯樣ナ財閥ト
ノ結託ニ依ツテ國家ノ財産ヲマルデ噬
ミタイナ料金デ貸付ケテ居ル、而モ住
友ノ別子鑛山ガ一萬七千町歩ノ鑛業豫
備林ニ依ツテ坑木其ノ他ヲ生産シテ居
ル、斯樣ナコトハ恐ラク他ニモ澤山ア
ツテ、國有林ガ名目ダケノ料金デ國ノ
實際止ノ所有權ヲ奪ハレテ居ル點ガア
リハシナイカト云フコトヲ悞レル、
斯ウ云フ問題ガ他ニモアリハシナイ
カ、御調査ノ上デ直チニ是正ヲシテ戴
キタイト思ヒマス

○平川政府委員 爆撃ニ依ル森林ノ被
害ノ面積ハ、餘リ閑イテ居リマセヌ
ガ、大シタ數計デナイト思ヒマス
○氏原委員 以上ヲ以チマシテ私ハ大
體森林行政ノ基本的事柄ニ付テノ質
問ヲ終リマシタガ、最後ニモウ一ツ國
有林野ノ事業ニ從事致シテ居リマスル
勞務者ノ待遇ノコトニ付テ、政府ノ所
信ヲ明カニシテ戴キタイト思ヒマス、
現在私ガ日本ニ於ケル國有林野ノ事業
ニ從事シテ居リマスル者ハ、大體三
テ事業者二十二萬人、造林其ノ他季
節的勞務者十五、六萬ト私ハ押ヘテ居
リマスガ、是等ノ人々ニ對スル待遇
ハ、其ノ官行事業所若シクハ造林地附
近ノ、民間ノ是等同様ノ事業ニ從事
致シマス所ノ勞働者ノ待遇ト比較致シ
マシテ、高知管轄局管内十三箇所ノ
官行事業所ヲ基礎ニシテ詳細ナ調査ヲ
致シタ結果ニ依リマス、杉、木挽、
木出シ、修繕、或ハ其ノ他色々ノ職種
別ニ大體平均致シマシテ三割程度待遇ガ

低イノデゴザイマス、是ハ何處ニ其ノ原因ガアルカト申シマス、國有林ノ事業所ハ極ク邊鄙ナ所ニアリマス、ガ爲ニ、外部トノ連絡ガ取レテ居ナイ、又文化的ナ施設モアリマセヌノデ、其ノ時々ノ社會情勢ニモ疎イ、斯ウ云フヤウナコトカラ致シマシテ、自分達ノ權利ヲ主張スルコトモ考ヘナケレバ、又是ガ勞働者トシテ與ヘラレタ運命ダト諦メテ居ル譯ダと思ヒマス、モウ一ツハ何ト申シマシテモ御役人ガ監督ヲ致シテ居リマシテ、上カラ一ツノ組織ニ依ル支配ヲ致シテ居リマス關係上、民間ノ工場等ニ於ケルガ如ク、積極的ニ待遇改善ト云ツタヤウナ要求ヲ出シ得ナイト云フコトモ一ツノ理由デアアルと思ヒマス、併シ國有林ノ勞働者三十萬人ガ何モ言ハナイカラト云ツテ之ヲ捨テテ置キマスルコトハ、決シテ國有林事業經營ノ爲ニ執ルベキ策デハナイト私ハ確信致シマス、少クトモ此ノ際、斯樣ナ邊鄙ナ土地デ、文化ニモ恵マレズ、社會情勢ニモ疎イ、民主主義ノ思想ト云フモノノ本質ガ何デアアルカト云フコトモ十分ニ分ラナイヤウナ此ノ勞働者ニ對シマシテハ、寧ロ積極的ニ事業主デアリマス所ノ國ノ方カラ、彼等ノ生活ノ爲ニ凡ニル施策ヲ實施スベキデアアルト私ハ考ヘマス、最近至ル處ニ於キマシテ勞働組合ガ出來テ居リマス、國有林ノ事業從事勞働者ニ付キマシテモ、勞働組合ノ結成ガ處々ニ行ハレテ居リマス、隨ヒマシテ此ノ行キ方ヲ誤ルコトニナリマスナラバ、林業ニ對スル勞務者ノ需要ガ非常ニ多イノデゴザイマスルカラシテ、國有林ノ事業ニ對シテ根本的ナ支障ヲ來スヤウナ時ガ、局部的デアハリマセウケレドモ起ラナイトモ限ラナイノデアアリマス、

斯ウ云フ點ヲ考慮セラレマシテ、國有林ノ從事勞働者ニ對スル待遇改善ニ付テ適當ナル御考慮ヲ御持チニナツテ居ラレノカ、又是等ノ山村ノ邊鄙ナ處ニ何等ノ娛樂モナケレバ、何等ノ文化的ナ施設モナイ處ニアリマス勞働者ニ對シマスル厚生施設ノヤウナモノヲ、モウ少シ積極的ニ御考ヘニナル御意思ハナイカ、是等ノ問題ニ付テ當局ノ御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○鈴木(總)政府委員 御説ノ通り民間デ使用サレテ居ル者ト國デ使ツテ居ル者トノ收入ニ於テ差ガアル、實際今マデハ國ニ於キマシテハ色々ト現地ニ必要ナ物資ガ入りマシタノデ、幾ラカ給金ガ安クモ皆山ニ入ツテ居リマシタガ、最近色々ノ統制ガ公平ニナリマシタ、宜應モ民間モ同ジヤウニナツテ參リマシタノデ、稍々勞働賃金ニ於キマシテハ歩ミ寄リマシテ、同ジ賃金ノ形ニナツテ居リマス、隨テ御説ノ通り之等ニ對スル厚生施設ガ最も大切カト存ジマシテ、是等ニ付キマシテハ各營林局ニ申付ケマシテ、厚生施設ニ付キマシテハ相當ニ考ヘテ居リマスノデ、日ナラズ、ソレ等ニ付キマシテハ、今マデ働イテ居ル者ガ喜ブヤウナ厚生施設モ出來ルコトト存ジマス

○氏原委員 鈴木政府委員ニハ何ヲ根據トシテ賃金ガ大體同一ニナツテ居ルト仰セラレルカ分リマセウケレドモ、私ガ指摘致シマシタ通り、私ハ十三箇所ノ官行折伐事業所ト其ノ折伐事業所所在ノ町村内ニ於ケル民間事業トノ職種別ノ賃金ノ調査ヲ巨細ニ致シマシテ、十分ナ基礎ノ上ニ立ツテ、ソレガ民間ノ事業ニ從事スル者トノ間ニ賃金ノ差異ガアルト云フコトヲ申シタノデアアリマス、又物資ノ點ニ於キマシテ

モ、國有林關係ノ從事勞働者ニ對シテハ、他ノ民間事業ノ從事勞働者ニ對スルヨリモ物資ノ配給等ガ優先的ニ、而モ優位ニ取扱ハレテ居ルカノ如クノ御話デアリマシタガ、事實サウ云フコトガ今マデゴザイマシタデセウカ、民間ノ林業勞務者ニ對スルヨリハ、國有林ノ林業勞務者ニ對スル物資ガ潤澤ニ外ヨリモ餘計ニ行ツテ居ツタヤウナ事實ガゴザイマシタデセウカ、若シソレガアツタトスルナラバ、私ハ民間林業勞働者ノ爲ニ、是ハ開捨テニナラヌ實業ダト思ヒマス、此ノ點ヲ一ツ明カニシテ戴キタイト思ヒマス

○鈴木(總)政府委員 實ハ各營林署毎ニ特別ナ會計デ、之等ニ對シマスル食糧ナドモ營林署ニ與ヘテ居ツタガ、一年バカリ前カラ是等ヲ全部直シマシタ、其ノ場合ニ於キマシテハ、民間ヨリハ食糧其ノ他宜カツタコトハ皆サンモ御承知デアツタコト思ヒマス、或ハ衣料其ノ他ニ於キマシテモ割合ニ宜ク入り得タト云フコトハ、是等ノ營林署ニ於ケル事業ハハツキリト見透シガ付クモノデスカラ、其ノヤウニ入ツテ來タガ、民間ハ少カツタ、今後終戦後ノ放出物資ニ當リマシテハ、全部一致シテ出來ルヤウニナリマシタカラ、御説ニアリマシタヤウナ勞働賃金ノ差モ以前ヨリ少クナツタト云フヤウニ申シタノデアアリマス

○氏原委員 進駐軍關係ノ製材ヲスル場合ニ於テモ、先月分ノ所謂出勤ノ勞務日數ニ對シテ、各縣ノ食糧課カラ加配米ヲ貰ツツ居ル、國有林ノ關係ガケハ何デセウカ、要スルニ今マデハサウ云フ風ナ出務ノ實績ニ應ジテ決定ノ數字ヲ出シテ、ソレデヤツテ居ツタノデゴザイマス、サウ云フコトヲヤツテ

居ツタトスルナラバ、私ハ大キナ問題ニナルト思ヒマスガ――

○鈴木(總)政府委員 之ニ付キマシテハ尙ホ能ク調査シテ報告致シマス

○氏原委員 イツマデニ御調査、御報告下サイマス

○鈴木(總)政府委員 成ベク早イ機會ニ――

○氏原委員 以上ヲ以チマシテ基本的ノ問題ヲ一應打切りタイト、思ヒマスガ、ソレデハ林業會法案ニ關聯シテ御尋ネラ致シマス、第一ガ本法案提出ト同時ニ、森林法其ノ他森林行政ニ關スル諸法律ニ對スル改正ヲ行ハナカツタ理由ハ、本法ガ暫定的ナ措置トシテノ法律デアルト云フ所ニ基因ヲ致シマスルモノデゴザイマスルカ、其ノ點ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○平川政府委員 森林法ノ方ハ本法ガ出來マシテモ、特ニ改正ヲ致ス必要ハナイト思ツテ居リマス

○氏原委員 林業會ノ表決權ノ問題デゴザイマスルガ、林業會ガ出來上リマシタ場合ニ於ケル形ハ、大體例ヘバ東京都ニ例ヲ取ツテ見マスルナラバ、東京都森林組合聯合會、東京都木材林產組合聯合會、東京都「ベニヤ」工業組合、或ハ東京都製材林產組合聯合會、特殊林產物加工林產組合、特定需要者代表、斯ウ云フモノガ集マリマシテ、東京都林業會ヲ結成スル、斯ウ云フヤウニ解釋ヲシテ宜シイノデゴザイマス

○平川政府委員 ソレデ宜シウゴザイマス

○氏原委員 此ノ場合ニ於ケル表決權ノ問題ニ付テ、政府當局ハ、他ノ議員ノ質問ニ答ヘテ、此ノ場合ニ於テモ森林組合ノ表決權ガ林產組合ノ表決權トハ常ニ一

對ニナルヤウニスルノデアアルカラ、森林組合ハ決シテ是ガ爲ニ數ニ押サレテ、森林組合ノ立場ノ本質的ニ失フヤウナ結果ニハナラナイ、斯ウ御答辯ニナツテ居ツタノデゴザイマスガ、此ノ點ニ付テハ林業會法案ト云フ法律ハ、是ハ團體法デアルト云フコトヲ政府モ御説明ニナツテ居リマシタ、是ガ團體法デアルト致シマスナラバ、一個ノ單位トシテノ構成員タル地位ヲ認メラレテ居リマスルモノニ對シテ、表決權ヲ與ヘナイト云フコトハ、私ハ團體法ノ精神カラ考ヘマシテモ不合理デハナイカト考ヘマス、而モ其ノ場合ニ於テ、是等ノ總テ一個ノ構成團體ニ對シテ、一ツノ表決權ヲ與ヘルト云フコトニナリマスルナラバ、森林組合ト云フモノハ數ニ壓倒サレテ結局其ノ立場ヲ守ルコトガ出來ナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、此ノ二ツノ矛盾ヲ具體的ニハドウ云フ風ニ御解決ヲナサルノカ、此ノ森林組合ト林業會内ニ於ケル幾ツカノ林產組合、ソレトガ一ツノ世帯ニナツタ場合ニ、五ツノ林產組合ニ對シテ、一個ノ森林組合ニ對スルコト同様ニ一ツノ表決權シカ與ヘナイト云フコトガ、ドウ云フ處置ニ依ツテナサレルノデアアルカ、此ノ點ヲ御尋ネ致シタイト思ヒマス

○平川政府委員 此ノ第二十二條ニ林業會ノ總會ノ構成ヲ書イテ居ルノデアリマスガ、只今ノ説明ノヤウナ場合ニ於キマシテハ、森林組合聯合會ハ其所屬ノ組合ノ業務ヲ執行スル役員ノ中カラ議員ヲ選出スルコトモ出來ル譯デアリマス、隨テ御話ノヤウナ場合ニハ、森林組合聯合會側ハ五名ノ議員ヲ選出スル、又林產組合ハ縣單位ノ林產組合ノ議員ヲ一人ツ、出スト云フヤウ

レバ宜イト思ヒマス、詰リ森林組合聯合會ノ側ヲ代表致シマスル議員ハ、森林組合聯合會ノ役員カラ出シテモ宜シウゴザイマスシ、又其ノ所屬會員デアリ所ノ單位組合ノ役員カラ選出シテモ宜イト云フコトニナツテ居リマス、デ、定款ヲ定メマス際ニ、其ノ選出數ヲ林産組合側ノ數ト脱ミ合セテ平均ノ取レルヤウニ、定款ヲ定メレバ宜イ譯デアリマス

○氏原委員 先程保留シテ置キマシタ戰災復興院ニ對スル質問ヲ致シタイト思ヒマス、戰災住宅ノ復興ガ政府ノ計畫ノ如クニ進捗セヌ所ノ第一ノ隘路ハ何カト云フ問題ニ對シマシテ、世間一般ニハ之ヲ第一ニ木材界ニ責任ガアル、要スルニ木材ガ十分ニ供給サレナイト云フコトニ原因ガアルカノ如クニ應ヘテ居ルノデアリマスルガ、戰災復興院ト致シマシテハ、一般世間ノ常識ノ通りニ選ハトシテ運バザル所ノ此ノ戰災住宅ノ復興ト云フコトハ、木材界ニ其ノ責任アリト御認メデアリマセウカ、ソレトモ他ノ副資材、勞力、其ノ他ノモノノ責任ガ、木材ノ十分ニ供給サレナイト云フコトヨリモ大キイ原因トナツテ居ルト御考ヘデアリマセウカ、伺ヒタイト思ヒマス

○大橋政府委員 復興住宅ノ計畫通り促進サレテ居リマセヌ理由ト致シマシテハ、色々ナ事情ガアルト存ジマス、是ハ資材ノ面ニ於キマシテモ、單ニ木材バカリデナク、木材ノ他ニ種々ノ材料、即チ「セメント」、釘、屋根材ト云フヤウナ總テノ材料ガ不足ヲ致シテ居リマス、サウシテ材料バカリデナク、又勞務ノ面ニ於キマシテモ必要ナル大工、左官其ノ他ノ建築關係ノ勞務ト云フモノガ、必要ナル場所ニ十分ニ得ラ

レナイト云フヤウナ事情モアル譯デアリマス、更ニ此ノ資金ノ面ニ於キマシテハ、御承知ノ通り新聞以來色々窮屈ニ相成リマシテ、封鎖預金ノ解除ニ致シマシテモ限度ガアリマスルシ、其ノ許サレタル限度ニ於キマシテハ、今日ノ物價カラ見テ、建築費ノ總額ヲ支辯スルコトハ困難デアルト云フヤウナ事情モゴザイマス、尙ホ其ノ以前ニ於キマシテハ、建築資金ノ主要ナル部分ニナルベキ等デアリマシタ所ノ戰爭保險ガ押ヘラレテ居ルト云フヤウナ事情モ、此ノ資金面ニ於ケル遲延ノ原因ヲナシタト思フノデゴザイマス、巷間ドウ云フ風ニ傳ヘラレテ居ルカハ存ジマセヌガ、復興院ト致シマシテハ、此ノ住宅ノ計畫通り進ミマセヌ原因ト致シマシテハ、單リ資材バカリデナク、資金、勞務總テノ面カラ來テ居ルノデアリマシテ、是ハ又相互ニ關聯性モアリ、或ル部面ガ解決セラレマスルト、自然色々ナ面モ解決サレテ行クト云フヤウナ點モアルト思ヒマスルガ、最近ニ於キマシテハ、進駐軍ノ關係デ木材ノ輸送ガ制限セラレテ居リマスルガ、併シソレト同時ニ先ニ申上ゲマシタヤウニ、勞務ノ不足、此ノ勞務ノ不足ハ食糧問題カラ來ル部分ガ大キイノデゴザイマス、ソレカラ資金ノ面ト致シマシテハ、封鎖預金ノ解除ノ限度ガ住宅ノ建築ニ付テハ一萬圓ト云フコトニナツテ居リマス、是デハ中々住宅ガ建タナイ、要スルニドノ點デカガ特ニ主ダトハ考ヘマセヌ、全般的ニ見テ總テノ條件ガ好クナカッタ、斯ウ云フ風ニ見テ居ルノデアリマス

○氏原委員 此ノ件ニ關シマシテ此ノ委員會デ御尋ネシマスコトガ適當デアリカドウカハ分リマセヌガ、御出席ノ機會ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス、住宅營團ノ問題デゴザイマスガ、折角色々ナ犧牲ヲ拂ツテ木材業者カラ資材ヲ提供致シマシテモ、住宅營團ガ之ヲ有效ニコナスコトガ出來ナイ、サウ致シマシテ、本年ノ梅雨期等ニ於キマシテ、私共ノ方ノ住宅營團デハ相當尊イ木材資源ヲ唯積放シニ致シマシテ、腐ラシテシマフト云フヤウナ事實ガゴザイマス、ソシテ又住宅營團ハ如何ニモ官僚的ナ組織デアリマシテ、本當ニ戰災者ノ爲ニ住宅ヲ建テルト云フコトニ付テ、ソレ程成績ヲ擧ゲナイト云フノガ、是ハ一般のノ非難ノ聲デアルカノ如クニ存ジマス、私共ハ斯ウ云フ點ニ付テハ將來住宅營團ト云フヤウナ、政府監督下ニアリマス所ノ斯ウ云フ組織ハ、モット機能ヲ發揮スルヤウニ、其ノ内部のナ刷新強化ヲ圖ルコト云フコトガ最も妥當デアリ、其ノコトガ結論トシテ戰災復興ノ資材ヲ浪費シナイデ、有效ニ使フ途デハナイイカト考ヘルノデアリマスガ、政府ハ此ノ點ニ付テハドウ御考ヘニナツテ居リマスカ

○大橋政府委員 住宅營團ハ戰災復興ノ住宅建設ノ面ニ於キマシテ、政府ト致シマシマシテハ相當大キナ部分ヲ擔當スルコトヲ期待致シテ居リマシタコトハ御承知ノ通りデゴザイマス、此ノ住宅營團ノ事業ニ致シマシテモ、ヤハリ他ノ住宅建設事業ト同様ニ、資材勞務、資金等ノ面カラ、色々不都合ナ事情ニ禍ヒセラレマシテ、豫定通り建設ガ出來ナカッタコトモ御指摘ノ通りデゴザイマス、是ハ住宅營團ガ不責任デハナク、客觀條件ガ極メテ不利デアツタト云フ點モ大キナ原因トハ思ヒマスガ、併シ最後ニ御指摘ニナリマシタヤウニ、住宅營團ノ今日ノ行キ方ト云フモ

ノガ或ハ適當デナカッタ面ガアリハシナイイカ、特ニ住宅營團ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテモ、他ノモノト違ツテ出來ルダケノ支援ヲ致シテ居ツタノデアリマスガ、ソレガヤハリ他ト同ジヤウニ、十分ナ成績ヲ擧ゲ得ナカッタト云フ點ニ付キマシテハ、住宅營團ノ内部ノ構成トカ云フモノニ付キマシテ、今後相當研究ノ餘地ガアルト云フコトヲ示唆シテ居ルモノト思フノデゴザイマス、斯様ナ事情デゴザイマシテ、政府ト致シマシテハ、成ベク早イ機會ニ住宅營團ノ改革ヲヤリタイト云フノデ、只今復興院ニ於キマシテ、其ノ方ノ嚴重ナル調査ヲ致シテ居リマス、近イ機會ニ具體的ナ案ヲ具體的ナ措置ニ依ツテ御示スル機會ガアラウト存ジマス

○氏原委員 全國百二十ノ戰災都市ノ戰災損失面積ハ一億六千萬坪ニ達スルト聞イテ居リマスルガ、是等ノ戰災都市ノ復興ニ當リマシテハ、今後色々ナ條件カラ相當面積ノ「グリーン・ベルト」ノ設定ガ豫定サレテ居ルト聞イテ居ルノデゴザイマス、此ノ「グリーン・ベルト」ニ對シテ如何ナル、樹種ヲ植栽シ、サウシテ之ヲ都會ニ於ケル薪炭材料トシテ利用シ得ルヤウナ方向ニ導クノカ、或ハ果樹、柑橘等ヲ栽培スルコトニ依ツテ、都會地ニ於ケル食糧給源トシテノ考ヘ方ヲ取ルノカ、色々ナ考ヘ方ガ考ヘラレルト思フノデアリマス、又氣候風土等ニ依リマシテ一ツノ都市ニ於テハ、Aノ樹種ヲ植栽スルガ、又他ノ都會デハ異ナツタ樹種ヲ植栽スル、此ノ戰災地域ニ於ケル「グリーン・ベルト」ノ設定ノ計畫ト云フモノハ、是ハ戰災復興院ニ於テモ相當重要ナ問題トシテ取上グベキ問題デハナ

イカト私ハ考ヘルノデアリマスガ、之ニ對シテ現在御立テニナツテ居リマス御計畫ヲ明カニシテ戴キタイト思ヒマス

○大橋政府委員 綠地ニ付キマシテハ、只今御述ベニナリマシタヤウナ趣旨ヲ以テマシテ、復興院ト致シマシテモ、此ノ機會ニ出來ルダケ都市ノ周邊乃至大都市ニ於キマシテハ、之ニ放射的ニ入ツテ來ル綠地ヲ作リタイ、斯ウ云フ風ナ計畫ノ下ニ各地ヲ指導致シテ居ルノデゴザイマス、此ノ綠地ニ付キマシテハ、法律的ナ措置ト致シマシテハ先般御協賛ヲ得マシタ特別都市計畫法ニ於キマシテ、綠地ニ關スル規定ヲ設ケタノデゴザイマスルガ、其ノ内容ト致シマシテハ、差當リ綠地帶ニ指定セラレマシタ土地ニ於ケル建築物、其ノ他ノ工作物ノ制限ヲ致シタノデゴザイマス、是ハ此ノ制限ニ依リマシテ此地帶ガ長ク綠地ノ效果ヲ維持スルコトノ出來マスルヤウニ、綠地ノ效果ヲ妨ゲルヤウナ工作物、建築物ヲ禁止スルト云フ趣旨デゴザイマス、尙ホ此ノ綠地ニ指定ニナリマシタ所ニ、將來如何ナル施設ヲシテ綠地トシテノ效果ヲ益々發揮サセルカト云フ點ニ付キマシテハ、目下各都市共ニソレソレノ慎重ニ考慮中デゴザイマス、此ノ點ハ御指摘ニナリマシタ通り、ソレソレノ都市ニ於キマシテ、ソレソレノ都市ノ實情ニ照シテ相應イ計畫ヲ立チテ來ルベキモノデアリマスシ、又復興院ト致シマシテモ出來ルダケサウ云フ趣旨ヲ以テ指導ヲ致シマシテ、是ガ利用ニ付キマシテ、畠ナリ田ナリ或ハ山林ナリ、ソレソレノ如何ナル利用ヲシテ行クカ、又ドレデカ今マデノ利用ヲ變ヘテ行クカト云フヤウナ計畫ニ付キマシテモ、出來ルダケ懇切ニ指導シタイト思

九七

ワテ居リマス、此ノ指導ニ付キマシテハ相當専門ノ調査ガ要リマスノデ、目下指定セラレタ緑地ノ將來ノ利用方法ニ付キマシテハ、當院ト致シマシテモ特ニ専門家ノ意見ヲ聽ク等ノ方法ヲ講ジマシテ、今後トモ出來得ル限リ完壁ナル研究ヲ致シマシテ、將來ノ綠地ノ活用ニ資シタイト存ジテ居ルノデゴザイマス

尙ホ綠地ニ如何ナル土地ヲ指定スルカト云フ點ニ付キマシテハ、大都市ニ於キマシテハ、大體其ノ都市ノ周邊ニ「ベルト」ヲ作り、又其ノ「ベルト」カラ都市ノ中心ニ向ツテ放射的ノ市街地ヘ綠地ガ割込シテ來ル、其ノ綠地ニ依ツテ其ノ大都市内ニ於ケル市街地ガ幾ツカノ集團ニ分レ、ソレハ「ガ獨立シタ性格ヲ持ツト云フコトノ出來マスヤウニ、計畫ヲ指導致シテ居ルノデゴザイマス、東京都、大阪等ニ於キマシテハ、或ル程度是ガ圖上ニ於テ決定セラレテ居ルノデゴザイマス、中小ノ都市ニ於キマシテハ周邊ニ「ベルト」狀ノ綠地ヲ指定スルコト云フコトノ必要ガ大都市程緊要デアリマセズ、主トシテ市内適當ナ箇所ニ綠地ヲ散在サセテ、公園、運動場、森林其ノ他適當ナ利用ヲサセルヤウニシタイ、斯ウ云フ方針ヲ持ツテ居リマス、大體綠地トシテ利用シマス面積ハ、都市ノ總面積ノ十「パーセント」内外ト云フ目標ノ下ニ土地區劃整理ノ計畫ヲ指導致シテ居リマス

○森委員長 午前ニ引續キ開議致シマス——氏原君
○氏原委員 基本ノ問題ガ一、二落チテ居リマシタカラ御尋ネ致シマス、最近ノ林業新聞ノ報道ニ依リマスト、縣ノ赤字財政補填ノ爲ニ木材稅ガ登場シタト云フコトヲ報道シテ居リマスト、是ハ戰爭中ニ於テモ所謂木材稅ト云フヤウナ構想ガ方々ノ府縣ニ於テ考ヘラレテ居リマシタケレドモ、實現ノ運ビニハ至ツテ居リマセズデシタ、此ノ木材稅ト云フモノノ内容ハ十分ニハツキリ致シマセヌケレドモ、若シ會テ戰爭中ニ構想サレテ居ツタヤウナ木材稅ガ茲ニ各府縣ニ於テ獨立稅トシテ登場シテ參リマスト云フコトハ、特ニ森林縣ニ於テハ其ノ影響ガ相當大キイ問題ダト考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、農林當局ハ此ノ木材稅ノ登場ニ付テドウ云フ御考ヘヲ御持チデアリマセウカ、御伺ヒシタイト思ヒマス

○平川政府委員 木材稅ハ、地方ニ依リマシテハ縣ノ赤字財政補填ノ爲ニ許シテ居ルヤウナ點ハ聞イテ居リマスト、未ダ正式ニ話ハゴザイマセヌ、私共ノ考ヘト致シマシテハ、現在ノ公定價格ヲ以テ出來得ル限リ安く消費者ニ木材ヲ供給シナケレバナラヌ、一面ニ於テ木材ノ生産費ハ非常ニ高ク付イテ居ルト云フ場合ニ於テ、斯ウ云フ種類ノ税金ハ困難ダハナカラウカ、斯ウ云フ點ニ考ヘテ居リマス

○森委員長 午後二時半ヨリ再開致シマスコトニ致シマシテ、ソレマデ暫時休憩ヲ致シマス
午後零時十八分休憩
午後二時四十一分開議

云ツタヤウナモノガ登場シテ參リマスト、森林縣ニ於テハ相當有力ナ財源トナルデアリマセウ、ト同時ニ、反面是ガ木材界ニ與ヘル影響ト云フモノハ相當大キナモノニナルト思ヒマス、隨ヒマシテ此ノ問題ニ付テハ特ニ農林當局ハ所謂森林行政官廳トシテ、建前カラ、地方自治體等ガ單ナル赤字補填ト云フヤウナコトノ爲ニ此ノ問題ヲ取上ゲルト云フコトト、モウツノ面ニ於テ、林業ノ振興發達ト云フ面カラ考ヘタ双方ノ重サヲ比較セラレマシテ、最モ妥當適切デアル所ノ方策ヲ取急イデ全國ノ御執リ願ヒタイト云フコトヲ此ノ際希望致シテ置キマス

次ニ本年六月八日及ビ十三日ニ和田農林大臣ト木材需給聯盟ノ幹部ノ方方トノ會合ノ際ニ、農林大臣ハ森林組合ヲ含メタ統一ノ林業團體法案ヲ來議會ニ提案スル、斯ウ云フ言明ヲサレテ居ルヤウデゴザイマスガ、此ノ森林組合ヲ含メタ統一ノ林業團體法案ト云フモノハ今回提案ニナツタ林業會法トハ全然別個ナモノデゴザイマセウカ、此ノ點御伺ヒシタイ

○平川政府委員 此ノ問題ニ付キマシテハ、大臣ガ來議會ニ必ズサウ云フ案ヲ提案スルト言明シタコトハナイト云フコトヲ申シテ居ラレタノデスガ、本林業會法案ハ其ノ御話ノ對象ニナツテ居リマシタ統一ノ林業團體法ハナインデアリマス、是ハ稍々暫定ノ注意味ヲ持ツテ居リマスノデ、將來出來得ル限リ早イ機會ニ於テ森林組合ヲ含メタ林業團體ニ關スル根本ノナ制度ト云フモノヲ確立シタイト云フ希望ヲ申述ベラレタト云フコトヲ伺ツテ居リマス

○氏原委員 七月十一日ノ日附ノアル新聞ニ、日本社ノ商會社ヘノ居残りハ、其ノ企圖スル所ガ五、六ノ點ニアルト云フコトノ中ニ、新會社ハ其ノ運轉資金二千萬圓乃至三千萬圓ヲ農林中央金庫カラ融資ヲ受ケルト云フコトガ一ツノ目的デアリ、同時ニ進駐軍用林ニ關スル中金カラノ融資約五萬圓ハ、之ヲ特別會計トスルコト云フコトヲ構想シテ居ツタヤウデゴザイマスガ、此ノ日本ノ變身ト云フヤウナ、詰リ日本ノ株主ヲ主トシテ新商會社ノ株主トスル會社ガコソニ生ジテ來ル、サウシタル場合ニ果シテ此ノ會社ニ對シ農林中央金庫カラ運轉資金ノ融通ヲナシ得ルモノデアリマスカドウカ、第二ハ進駐軍用材ノ調辦ニ關シテ日本ノ變身デアタル新シイ商會社ガ出來ナケレバ此ノ進駐軍用材ノ調辦ト云フコトハ不可能デアルト云フ見透シデアルカ、此ノ二ツノ點ヲ此ノ問題ニ關聯シテ御伺ヒシタイト思ヒマス

○平川政府委員 其ノ御話ハ現在ノ日本ガ中金カラ融資ヲ受ケル、其ノ融資ヲ受ケタ資金ヲ以テ新シイ會社ノ株券ヲ拂込ニ當テルト云フヤウナ計畫ヲ致シタヤウデアリマス、中央金庫ハ林業或ハ林産業ニ對シマシテ資金ヲ融通シ得ル譯デアリマシテ、現在ノ日本モ融資ヲ受ケテ居ルノデアリマス、サウ云フ意味ニ於ケル融資ハ受ケルコトカ出來ルト思ヒマス

○平川政府委員 此ノ問題ニ付キマシテハ、大體是ハ九月マデニ完了スルト云フ見透シヲ以テ仕事ヲ進メテ居リマス、現在急ニ切替ヘヲ致スコトハ、供出上不便ヲ來シハナイカト云フノデ、現在ノ日本ニ引續イテ是ダケハ完了サセル、九月一杯ニ大體完了サセル、其ノ以後ニ於テ續散ヲサセル積リ

○平川政府委員 此ノ法案ニ於キマシテ林業組合ニナリマスモノハ中央金庫ニ參加ヲ致サセマスカラ、今ノ御話ノ組合ノヤウモノガ、林業組合トシテ成立ヲ致シマス場合ニハ、中金カラ融資ヲ受ケ得ルコトニナリマス

○氏原委員 ソレデハ元々戻リマシテ、本法ニ直接關係ノアル事項ニ付テ御伺ヒ致シマス、森林法第六十二條、同第七十條ノ規定ハ、本法第四條第一號カラ第五條マデノ業務ヲ、森林組合ガ單獨デ當ムコトヲ得ルモノト解シテ支障ハゴザイマセヌカ

○平川政府委員 一寸條文ヲ聽キ洩ラシマシタガ、其ノ第四條ノ事業ト同ジ事業ト云フノデスカ

○氏原委員 サウデス

○平川政府委員 森林組合ハ森林所有者ノ爲ニ、此ノ第四條ノ第一項ニアリマスルヤウナ事業ヲ行ヒ得ル譯デアリマス

○氏原委員 然ラバ本法林業會法第六十七條ニハ、林業組合ガ第四條ニ依ツテナシ得マスル所ノ「林業組合は、

デ居リマス、新シイ會社ニ對シマシテハ、是ハ進駐軍用材ヲ現在ノヤウニ一手ニ請負ハセルト云フヤウナコトハ致サナイ積リデアリマス

○氏原委員 日本ノ變身トシテ生レマスル所ノ商會社ニ對シテハ、若シ假ニ農林中央金庫カラノ融資ガ可能デアルト致シマスルナラバ、今後外材輸入組合デアリマスルナラバ、色々ナ本法ニ依リマスル所ノ林業組合ノ施設ガ生レタル場合ニ於キマシテモ、ソレ等ノ總アノ團體ハ、何等ノ權利ヲ持ツア農林中中央金庫カラ其ノ運轉資金ノ融資ヲ受ケルコトガ出來ルト、斯様ニ解釋シテ宜シイデゴザイマセウカ

○平川政府委員 此ノ法案ニ於キマシテ林業組合ニナリマスモノハ中央金庫ニ參加ヲ致サセマスカラ、今ノ御話ノ組合ノヤウモノガ、林業組合トシテ成立ヲ致シマス場合ニハ、中金カラ融資ヲ受ケ得ルコトニナリマス

○氏原委員 ソレデハ元々戻リマシテ、本法ニ直接關係ノアル事項ニ付テ御伺ヒ致シマス、森林法第六十二條、同第七十條ノ規定ハ、本法第四條第一號カラ第五條マデノ業務ヲ、森林組合ガ單獨デ當ムコトヲ得ルモノト解シテ支障ハゴザイマセヌカ

○平川政府委員 一寸條文ヲ聽キ洩ラシマシタガ、其ノ第四條ノ事業ト同ジ事業ト云フノデスカ

○氏原委員 サウデス

○平川政府委員 森林組合ハ森林所有者ノ爲ニ、此ノ第四條ノ第一項ニアリマスルヤウナ事業ヲ行ヒ得ル譯デアリマス

○氏原委員 然ラバ本法林業會法第六十七條ニハ、林業組合ガ第四條ニ依ツテナシ得マスル所ノ「林業組合は、

前項の事業の外、左の事業を行ふことが出来る。ト云フ等二項ノ一、二、三ヲ認メテアリマス。森林組合ニ對シテハ、斯ウ云フ業務ヲ當然ナシ得ル所ノ法的根據何處ニゴザイマセウカ
○平川政府委員 森林組合ニ付キマシテハ、現在ノ所スウ云フ風ニハツキリ政府ノ統制ニ協力ヲ致スト云フヤウナ規定ガゴザイマセヌノデ、是ハ場合ニ依リマシテハ、勅令等規定ヲ致ス必要ガアラウカト思フヲ居リマス、現在ノ所デハハツキリト之ニ該當スル條文ハゴザイマセヌ

○氏原委員 ソコデ、先刻ノ私ノ質問ニ對スル政府當局ノ御答辯ガ非常ナ食違ヒヲ來ス譯デアリマス、先刻私ガ、政府ハ一體森林組合ヲ蛇ノ生殺シデ殺シテ行クノカ、ソレトモ之ヲモット強シテ助成ヲ加ヘルモノカト言ヒマシタ時ニ、決シテオ前ノヤウナ考ヘ方ハ持ツテ居ナイ、斯ウ云フコトヲ申シマシタガ、新シク生レマスル所ノ林産組合ト云フモノニ對シテハ、法律ニ於テナシ得ル所ノ仕事ノ範圍ト云フモノヲ、森林組合ノナシ得ル範圍ヨリモ非常ニ廣イ面ニ於テ認メテ置イテ、森林組合ニ對シテハ、法デハ之ヲ明カニシナイデ、勅令デ以テ場合ニ依ツテハ指定スル、斯ウ云フコトヲ申シマスルコトハ、本質的ニ言フナラバ、政府ハ森林組合ト云フモノヲ保護育成スルヲ主ガナイト云フコトヲ、此ノ問題ニ於テ明カニ暴露シタコトニナル譯デアリマス、所ガ林業會法第四條第二項ニ該當シマスル林業會ガシナケレバナラナイ、政府ノ指示ニ基ク林産物ノ生産及ビ配給ニ關スル政府ノ施策ニ對スル價格統制ニ關スル政府ノ施策ニ對スル協力、政府ノ指示ニ基ク林産業ニ必要

ナ物資ノ割當、是等ノ事柄ハ少クトモ林産組合ニ於テ非常ニ重要ナ問題デアリト同様ニ、森林ノ資材ノ直接生産者デアリ、根本デアリマスル所ノ森林組合ニ於テハ、更ニヨリ以上ハ必要デナケレバナラナイト云フコトニナルノデアリマス、然ルニ本法ニ於テ林産組合ニ對シテハ、是等ノ廣イ仕事ヲナシ得ル所ノ條文ヲ設ケテ置キナガラ、森林組合ニ對シテハ、場合ニ依ツテハ之ヲ勅令ニ依ツテ認メルト云フヤウナコトハ、是ハ森林組合ヲ纏子扱ヒニスルト言ツテモ一言ノ抗辯ノ餘地ハナイト思ヒマス、此ノ點ニ付テモツト具體的ニ、ドウ云フ譯デ林産組合ニハ斯ウ云フコトヲ認メルガ、現行森林法ニ斯ウ云フ條項ガナイトスルナラバ、同時ニ森林法ノ改正ヲ行ツテモ、林産組合ト森林組合トガ平等ノ立場ニ立ツテ仕事ヲ行ツテ行ケルト云フヤウニナサラナイノカ、此ノ點ヲ明確ニシテ戴キタイト思ヒマス

○平川政府委員 森林組合ノ本來ノ目的ガ森林ノ維持造成ニアルト云フ關係カラ致シマシテ、森林組合ニ付キマシテハ、斯様第二項ニアリマスヤウナ事業ヲ行ヒマスコトハ、寧ロ此ノ第二項ハ林産物ニ對シマシテ自主統制ヲ行ヒマス所ノ、何レカト申セバ臨時のナ立法デアリマス、第一項ノ方ノ恒久的の本來ノ組合ノ目的トスル事業トハ、多少性質ヲ異ニ致シテ居リマス、森林組合ニ付キマシテハ、森林ノ維持造成ト云フ點ニ主眼ガアリマス爲ニ、其ノ點ヲ規定シマシタ現在ノ森林法デ一應満足ヲ致シタ譯デアリマス、但シ共同施設ノヤウナ事業ニ依リマシテ、出資森林組合ガ林産物ノ運搬、加工、販賣等ヲ致シマス場合モアル譯デア

アリマス、サウ云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、森林組合ノ運用ニ依ツテ是等ニ付テノ政府ノ施策ニ關スル協力ハ、固ヨリ出來ルト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス
○氏原委員 益、議論ガ皆迷ニ陥リマシタガ、森林法ノ規定ノ上ニ於テハ、森林組合ハ明カニ茲ニゴザイマス通り第七十條ニ依リマシテ、組合又ハ組合員ノ生産シタル森林産物ノ運搬、加工、保管及販賣ニ關スル施設ヲナスコトガ出來ルト云フ風ニ明確ニサレテ居リマス、之ヲ今ノ平川サンノ仰シヤルヤウニ、森林組合ト云フモノハ、唯單ニ森林ノ維持造成ト云フモノガ基本ノ目的デアツテ、ソレ以外ノ森林産物ノ運搬、加工、保管販賣ト云フヤウナコトハ主タル目的デハナイト云フコトハ、洵ニ怪シカラシ議論デハナイカト思フ、森林法ト云フ基本ノ法律ノ上ニ森林組合ガナシ得ル限度ヲ決メテ置イテ、法律ニハサウ決メテアルケレドモ、森林組合ハソコマデ事業ヲスベキモノデハナイト云フ御答辯ハ、洵ニ其ノ意ヲ解スルニ苦シム所デアリマス、隨ヒマシテ森林法第七十條ガ單ナル運搬、加工、保管及販賣ニ關スル施設ヲナスコトガ出來ルト云フコトニナリマスレバ、政府ノ指示ニ基ク林産物ノ生産及ビ配給ニ關スル割當、林産物ノ價格統制ニ關スル政府ノ施策ニ對スル協力、及ビ政府ノ指示ニ基ク林産業ニ必要ナ物資ノ割當、是等ノ事柄ニ對シテハ森林組合モ林産組合ト同一ノ權利ヲ持ツテ同ジ壓力ヲ持ツテ、經濟安定本部ノ指示ニ對シテ、場合ニ依リマシテハ之ヲ異議ヲ唱ヘ、或ハ場合ニ依リマシテハ之ヲ是正スルト云フヤウナコトマデノ力ヲ、林産組合ダケデナク、森林組合モ

是ハ持つツガ當然ダト私ハ考ヘル、斯ウ云フ點カラ考ヘマスルト云フト、第一項ノ林業會ノ目的ト云フモノハ副次的ノモノデアルト云フコトソレ自體ガ、是ハ森林組合モ林産組合モソレ程自主的ナ統制ヲシナイデアツテ、經濟安定本部ノ基本ノ方針ヲ天降リ的ニ押付ケルモノデアルカラシテ、森林組合、林産組合ガソレ程ノ權力ヲ持つテ居ラナクテモ宜イ、法の根據ヲ持つテ居ラナクテモ宜イト云フコトヲ、反面ニ於テ言ハウシテ居ルモノデハナイカト云フ風ニ私共ハ考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ私ハ少クトモ林産組合ガ此ノ法第四條ノ第一項ニ掲ゲテアリマスル事柄ヲ事業ノ目的トシテ擧ゲラレマスル以上ハ、森林組合ニモ同様ニ此ノ法第四條ノ第二項ニ屬シマスル所ノ業務ヲ執行行ヒマスル法の根據ヲ示シテ置クコトガ當然デアリマスガ、此ノ點ニ對シテハシツコイヤウデアリマスルケレドモ、尙ホ重テ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○平川政府委員 是ハ副次的ノ目的デアルト云フ譯デアハナイデアリマシテ、臨時のナ仕事デアリマス爲ニ、第二項ノ方ニ掲ゲテアル譯デアリマス、森林組合ニ於キマシテハ、固ヨリ森林法ノ中ニ何レモノ事業ガ出來ルヤウニ相成ツテ居リマスガ、是ハ法律ノ文面上サウオツテ居リマス、併シ本來ノ目的ハ森林ノ造成ニアルト云フコトヲ申上ゲタニ過ギナイノデアリス、併シナガラ此ノ森林組合ガ斯様ナ事業ヲ、販賣等ノ事業ヲ行ヒ得ルコトハ、明カニ森林法ニ認メラレテ居ル所デアリマスカラ、之ニ付ツテ實際上ノ組合員ニ對スル林産業ニ必要ナ物資ノ割當ヲ致シマスルカ、或ハ價格統制ニ關シテ政府

ノ施策ニ協力ヲ致シマスルカ、配給ノ割當ヲ致シマスルカ云フコトハ、實ハ私共ハ此ノ森林法ノ七十條ノ根據ニ依リマシテ、定款等ヲ以テモ定メ得ルト考ヘテ居リタノデアリマス、併シ御話ノ如ク、之ヲ法的ニ明カニスル必要ガアルト云フコトモ御尤モト思ヒマスデ、ソレハ勅令等ヲ以テ規定ヲ致シタリ、斯様ニ先程申上ゲタ譯デアリマス
○氏原委員 此ノ問題ニ關聯シテ、私ハ實際問題トシテ、森林組合ガ本法ニ依ツテ、斯ウ云フ仕事ヲナシ得ルコトノ法的根據ヲ持タナイト云フコトガ、實際問題トシテ將來障礙ニナルコトヲ豫想シテ居リマス、現ニサウ云フ情勢ガ現ハレテ居リマス、ト申シマスノハ府縣ニ依リマシテハ、此ノ製材業ノ企業許可ト云フヤウナ場合ニ當リマシテ、府縣ノ林務課或ハ林業課ガ之ニ對スル所ノ調査ヲスル前ニ、製材業者ト木材業者ヲ以テ組織セツレテ居リマスル所ノ團體ニ對シテ、先ヅ此ノ出願ニ對シテ之ヲ許可スルノ方妥當デア

ルカドウカト云フコトヲ語リマス、サウシテ高知縣ノ方デハ木材生産組合ト申シテ居リマスガ、其ノ木材生産組合ガ裏書ヲ致シマセヌ限リハ、例ヘバ森林組合ガ、豫算其ノ他ノ關係上之ヲ製品化シテ搬出スルト云フヤウナコトノ便宜カラ、山元ニ於テ製材ヲヤラウ、製材工場ヲ新設シヨウト云フ場合、常ニ木材生産組合、今度新シク法律ガ出來マスレバ、當然林産組合ニナルノデアリマスガ、サウ云フモノニ依ツテ牛耳ラレテ居リマス所ノ團體ガ、故ラニ森林組合ノ共同施設ニ對シテハ、之ヲ背定シナイヤウナ問題ガ澤山起ツテ居ルノデアリマス、實際問題トシテ言フナラバ、私ハ今日ノ日本ノ機運狀況カラ

○平川政府委員 是ハ副次的ノ目的デアルト云フ譯デアハナイデアリマシテ、臨時のナ仕事デアリマス爲ニ、第二項ノ方ニ掲ゲテアル譯デアリマス、森林組合ニ於キマシテハ、固ヨリ森林法ノ中ニ何レモノ事業ガ出來ルヤウニ相成ツテ居リマスガ、是ハ法律ノ文面上サウオツテ居リマス、併シ本來ノ目的ハ森林ノ造成ニアルト云フコトヲ申上ゲタニ過ギナイノデアリス、併シナガラ此ノ森林組合ガ斯様ナ事業ヲ、販賣等ノ事業ヲ行ヒ得ルコトハ、明カニ森林法ニ認メラレテ居ル所デアリマスカラ、之ニ付ツテ實際上ノ組合員ニ對スル林産業ニ必要ナ物資ノ割當ヲ致シマスルカ、或ハ價格統制ニ關シテ政府

ノ施策ニ協力ヲ致シマスルカ、配給ノ割當ヲ致シマスルカ云フコトハ、實ハ私共ハ此ノ森林法ノ七十條ノ根據ニ依リマシテ、定款等ヲ以テモ定メ得ルト考ヘテ居リタノデアリマス、併シ御話ノ如ク、之ヲ法的ニ明カニスル必要ガアルト云フコトモ御尤モト思ヒマスデ、ソレハ勅令等ヲ以テ規定ヲ致シタリ、斯様ニ先程申上ゲタ譯デアリマス
○氏原委員 此ノ問題ニ關聯シテ、私ハ實際問題トシテ、森林組合ガ本法ニ依ツテ、斯ウ云フ仕事ヲナシ得ルコトノ法的根據ヲ持タナイト云フコトガ、實際問題トシテ將來障礙ニナルコトヲ豫想シテ居リマス、現ニサウ云フ情勢ガ現ハレテ居リマス、ト申シマスノハ府縣ニ依リマシテハ、此ノ製材業ノ企業許可ト云フヤウナ場合ニ當リマシテ、府縣ノ林務課或ハ林業課ガ之ニ對スル所ノ調査ヲスル前ニ、製材業者ト木材業者ヲ以テ組織セツレテ居リマスル所ノ團體ニ對シテ、先ヅ此ノ出願ニ對シテ之ヲ許可スルノ方妥當デア

ルカドウカト云フコトヲ語リマス、サウシテ高知縣ノ方デハ木材生産組合ト申シテ居リマスガ、其ノ木材生産組合ガ裏書ヲ致シマセヌ限リハ、例ヘバ森林組合ガ、豫算其ノ他ノ關係上之ヲ製品化シテ搬出スルト云フヤウナコトノ便宜カラ、山元ニ於テ製材ヲヤラウ、製材工場ヲ新設シヨウト云フ場合、常ニ木材生産組合、今度新シク法律ガ出來マスレバ、當然林産組合ニナルノデアリマスガ、サウ云フモノニ依ツテ牛耳ラレテ居リマス所ノ團體ガ、故ラニ森林組合ノ共同施設ニ對シテハ、之ヲ背定シナイヤウナ問題ガ澤山起ツテ居ルノデアリマス、實際問題トシテ言フナラバ、私ハ今日ノ日本ノ機運狀況カラ

○平川政府委員 是ハ副次的ノ目的デアルト云フ譯デアハナイデアリマシテ、臨時のナ仕事デアリマス爲ニ、第二項ノ方ニ掲ゲテアル譯デアリマス、森林組合ニ於キマシテハ、固ヨリ森林法ノ中ニ何レモノ事業ガ出來ルヤウニ相成ツテ居リマスガ、是ハ法律ノ文面上サウオツテ居リマス、併シ本來ノ目的ハ森林ノ造成ニアルト云フコトヲ申上ゲタニ過ギナイノデアリス、併シナガラ此ノ森林組合ガ斯様ナ事業ヲ、販賣等ノ事業ヲ行ヒ得ルコトハ、明カニ森林法ニ認メラレテ居ル所デアリマスカラ、之ニ付ツテ實際上ノ組合員ニ對スル林産業ニ必要ナ物資ノ割當ヲ致シマスルカ、或ハ價格統制ニ關シテ政府

ノ施策ニ協力ヲ致シマスルカ、配給ノ割當ヲ致シマスルカ云フコトハ、實ハ私共ハ此ノ森林法ノ七十條ノ根據ニ依リマシテ、定款等ヲ以テモ定メ得ルト考ヘテ居リタノデアリマス、併シ御話ノ如ク、之ヲ法的ニ明カニスル必要ガアルト云フコトモ御尤モト思ヒマスデ、ソレハ勅令等ヲ以テ規定ヲ致シタリ、斯様ニ先程申上ゲタ譯デアリマス
○氏原委員 此ノ問題ニ關聯シテ、私ハ實際問題トシテ、森林組合ガ本法ニ依ツテ、斯ウ云フ仕事ヲナシ得ルコトノ法的根據ヲ持タナイト云フコトガ、實際問題トシテ將來障礙ニナルコトヲ豫想シテ居リマス、現ニサウ云フ情勢ガ現ハレテ居リマス、ト申シマスノハ府縣ニ依リマシテハ、此ノ製材業ノ企業許可ト云フヤウナ場合ニ當リマシテ、府縣ノ林務課或ハ林業課ガ之ニ對スル所ノ調査ヲスル前ニ、製材業者ト木材業者ヲ以テ組織セツレテ居リマスル所ノ團體ニ對シテ、先ヅ此ノ出願ニ對シテ之ヲ許可スルノ方妥當デア

考ヘテ、山元ノ生産地ニ於テ之ヲ製品化スル、又先日本井君ノ質問ニモアリマシヤウニ、森林加工設備ノ配置轉換ト云フヤウナコトカラモ、是ハ眞劍ニ取上ゲテ考ヘナケレバナラヌ問題デアリマスルガ如クニ、ドウシテモ此ノ場合ニ於テ森林組合ト云フモノガ森林法ノ第七十條ニ依テ當然認メラレマシタ所ノ事業ヲ今後擴充シテ行キマスル場合ニ此ノ規則ガナイト云フコトハ、非常ナリ利益ヲ損クツ云フコトガ豫想サレルノデアリマス、此ノ點ニ付テ私共ハ飽クマデモ林産組合モ森林組合モ一ツノモノニシテ、兩者ガ相倚ツテ日本ノ林業ノ發展ノ爲ニ、森林資源ノ造成ノ爲ニ努力シナケレバナラナイト云フナラバ、一方ニ對シテハ事業ノ目的ガ法律ニ明示セラレテ居リ、一方ニ對シテハ、ソレノ事業目的ガ明示サレタナイト云フ行キ方ハ、是ハ甚ダシク面白クナイ結果ヲ招クト云フコトヲ考ヘマスルガ故ニ、此ノ點ニ付テハ深ク御考ヘテ願ヒタイと思ヒマス。

次に第九條ニ關聯シテデゴザイマスガ、此ノ問題ニ付キマシテハ、同僚ノ委員ノ方カラ既ニ發言ガゴザイマシテ、當局ノ答辯モ伺ツタノデアリマスルケレドモ、本質的ニ是ハ私共諒解ヲシ難イノデアリマス、即チ都道府縣ヲ區域トスル森林組合ノ聯合會ト、都道府縣ノ區域ヲ地區トスル林産組合、サウシテ前二號ニ掲ゲル者ヲ除ク外林業ヲ營ム者、若シハ林業ニ密接ナ關係ヲ有スル事業ヲ營ム者、又は是等ノ者ノ團體ヲ定數ヲ定メルモノ、之ヲ會員ノ資格トセラレテ居リマスガ、此ノ會員ノ中ニ至森林勞務者ノ團體ヲ何ガ故ニ正式ニ構成員トシテ認メナカッタノデアルカ、諄イコトハ申上ゲマセヌ

ケレドモ、木材價格ノ決定ニ致シマシテモ、木炭價格ノ決定ニ致シマシテモ、尙又本法第四條ノ林業ノ指導獎勵ニ關スル施設、會員ノ林業ノ改良發達ヲ圖ルタメ必要ナ共同施設、林産物ノ検査、林業ニ關スル調査及ビ研究等々ノ本法ノ目的ヲ達成致シマスルガ爲ニ、果シテ森林組合聯合會若シハ林産組合ダケノ力ヲ以テ今日ニ是ガヤレルカドウカ、木材價格ノ八五%以上ハ勞銀デナイカト云フコトサヘ言ハレテ居ル、而モ其ノ林業ノ改良發達ヲ圖ルト云フコトハ、如何ニシテ生産「コスト」ノ中ニ含マレテ居ル所ノ勞働賃金ヲ安クアゲルノカ、言換ヘテ言フナラバ、能率ヲ高クシ得ルノカ、或ハ技術ノ練磨ヲドウスレバウマイコトニナルノカト云フヤウナ事柄ガ、ドウシテモ根本的ナ問題ニナルト思ヒマス、ソレバカリデナク、本法ノ目的ハ「マツカール」司令部ノ指令ニ依リマシテ、木材統制法ト云フ戰時中ノ官僚統制ノ機構ヲ打破致シマシテ、新シイ時代ニ即スル所ノ産業民主化ノ建前カラ自主的ナ民主的ナ統制ヲ一應ヤツテ行カウト云フノガ、本法ノ根本目的デアルト云フコトヲ私共ハ肯定致シマス、左様致シマスナラバ、産業民主化ノ建前カラ申シマシテモ、此ノ林業ニ從事致シテ居リマス所ノ百七十萬人以上ノ兼業或ハ專業ノ勞務者ノ意思ト云フモノガ、此ノ林業會ノ組織ノ中ニ浮キ出テ居ナイト云フコトハ、是ハ私ハ非常ナ缺點ダト思フ、先日平川政府委員ハ、是等ノ勞務者ノ團體ニ付テハ特別議員ノ制度ガアルカラ、其ノ中デ考慮スルト申シテ居リマス、是ハ今マデノ官僚ハ何時ノ場合モ勤勞階級ニ對シテ其ノ場ヲ胡麻化ス爲ニ御使ヒニナツタ言葉デアリ

マシテ、少クモ本法ノ制定目的デアリマス所ノ産業民主主義ノ基本的原則ノ上ニ立ツテ考ヘマスルナラバ、百七十萬ノ勞務者ノ意思ヲ反映シ得ナイヤウナ林業會デアツテハ絕對ニイケンナイト私ハ考ヘル、政府ハ此ノ際第九條ノ第三項ノ林業勞務者ノ團體ヲドウ云フ譯デ資格アル會員トシテ認メルコトガ出來ナイカ、認メルコトガ出來ナイトスルナラバ、何ガ故ニソレヲ認メルコトガ出來ナイノカ、此ノ點ヲ一ツ十分ニ納得ノ行キヤウニ御説明願ヒタイと思フ

○平川政府委員 先程ノ森林組合ニ對スル統制事業ノ權限ニ付テ、法規ニ明文ガナイト、實際ノ運用上間違ヒラ來スデヤナイカト云フ點ハ非常ニ御尤モト存ズルノデアリマス、私共モ實ハ之ニ付キマシテハ本案ガ假ニ通過致シテ施行致シマス場合ニ於キマシテハ、明確ニ森林組合ガ是等ノ事業ヲナシ得ルコト云フコトヲ各地方ニモ周知セシメタイト考ヘテ居ツタノデアリマス、之ヲ法文ニ明記スルト云フコトニ付キマシテハ、先程申シマシタヤウニ勅令等デ考慮致シタイ、尙ホ其ノ運用ニ付キマシテハ御話ノ點十分誤リノナイヤウニ致シタイト思ヒマス

ソレカラ第九條ノ第三項ニ勞務者ノ團體ヲ入レヨト云フ御意見デゴザイマスガ、本案ハ從來森林ノ造成或ハ林産物ノ生産、販賣ニ從事致シテ居リマシタ事業主ノ團體ヲ結成致シマシテ、此ノ事業主ノ間ノ自主的ナ調整ヲ圖ルコトニ依リマシテ是等ノ目的ヲ達シタイ、斯様ニ考ヘタ法案デアリマシテ、勞務者ノ立場ニ付キマシテハ、別途勞働組合ナリ、或ハ之ニ對スル福利施設ナリデ片ヲ付ケテ行キタイト差當リハ

考ヘテ立案致シタ譯デアリマス、併シナガラ勞務者ノ問題ハ森林生産上非常ニ重要ナル地位ヲ占メルコトハ御説ノ通りデアリマス、此ノ林業會ニ對シマシテモ、差當リ特別議員ノ制度ノ運用ニ依リマシテ、其ノ意向ガ反映致シヤウニ致シタイト云フコトヲ御説明申シタノデアリマス、勞務者ノ團體ヲ之ニ參加セシメルコトニ付テハ、從來サウ云フ考ヘノ下ニ地方ノ組織ガ出來テ居リマセヌノデ、急速ニソコマデ規定致スコトハ控ヘタノデアリマス、尙ホ今後十分研究致シマシテ、勞務者ト事業主トノ間ノ調整ニ付キマシテハ考慮致シタイト斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○氏原委員 基本的ニ「スタンド・ポイント」ガ違ヒマス、政府委員ノ御答辯ハ甚ダ不満足デアリマスガ、從來ノ事業主團體ト申シマスルケレドモ、成程森林組合聯合會ト云フモノハ以前カラ法的ニ存在シテ居ツタ、所ガ本法ニ依リ林産組合ハ、本法ガ施行サレテ初メテ法的ニ生レル團體デアリマシテ、是ハ元カラアツタ團體デハナイ、今マデアツタ團體ハ、恐ラク本法ガ生レル同時ニ解消サルベキモノデアアル、勞働組合ハ既ニ勞働組合ニ依ツテソレゾレ其ノ結成ヲ終ツテ居ル、私ガ言ヒタイノハ、本法ハ團體法デアアルガ林業ニ關係ノアル凡ユル業者及ビソレ等ノ團體ガ協力シテ本法ノ第一條ニ明記致シマシタ所ノ會員ガ協同シテ自主的ニ林業ノ改良、發達致シ林産物ノ生産ノ確保、及ビ配給ノ適正ヲ圖ル目的ノ爲ニ新タニ生レタノデアリマス、何モ元カラアツタ團體デハナイ、古イトカ新シイトカ云フコトヲ言フナラバ、勞働組合ハ既ニ法的根據ニ立ツテ生レ

テ居ル、農林省ノ職員組合ガ農林省ノ人事ノコトニ付テマデ、職員組合ノ參加ヲ要求スルト云フコトヲ考ヘルト同様ニ、林業關係ノ勞働組合ガ、林業ノ改良、發達及ビ生産ノ確保ノ爲ニ出來ル團體ニ對シテ、産業民主主義ノ建前カラ勞働組合ノ都道府縣別ノ一ツノ聯合會ヲ以テ參加ヲ要求スルトハ私ハ當然ノコトデハナイカト思フ、又ソレダケノコトヲシナケレバ本當ニ林業會法ノ目的ハ達成出來ナイノデハナイカ、相モ變ラズ事業主ダケト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ツタノデハ私ハイケンイト思フ、殊ニ政府ノ指示ニ基キ林業ニ必要ナ物資ノ割當ト云フコトガゴザイマスガ、ブチマケテ申シマスルト、從來林業勞務者ニ對スル物資ノ割當等ハ、例ヘバ春山増産、冬山増産ト云フ名目ノ下ニ、政府ガ非常ナル困難ヲ切抜ケテ酒ノ配給ヲスル、地下足袋ノ配給ヲスル、ソレガ林産物検査員等ノ手ヲ通ジテ實際ニ勞働者ニ渡サレテ居ル、所ガ冬山増産ノ勞働者ニ渡ルベキ酒ガ、林産物検査員ノ手カラ横流シヲサレ、或ハ地下足袋ガ林業勞働者ノ手ニ入ラナカツタト云フ事實ハ、私ハ隨分澤山押ヘテ居ル、隨ヒマシテ斯ウ云フ面カラ言ツテ、若シモ少クモ本法ガ暫定的ナモノデアアル、殊ニ「林業會」ハ前項ノ事業の外、左ノ事業を行ふことができる。一ト云フ第四條第二項ノ事業ガ、經濟安定本部存続期間中ノ暫定的ナ仕事デアルト致シマス、ソレバ、ソレダケドウシテモ仕事スルニ付テ勞務者ノ參加ト云フコトヲ圖却スルコトハ、絕對出來マセヌ、是ハアナタ方東京ニ居ラレマスカラ御分リニナラヌデセウケレドモ、四國ノ山ノ中デ默黙トシテ木ヲ伐ツテ、炭ヲ焼イテ居ル

勞務者ニ政府が適當な物資が何「バーセント」著イテ居ルカ、製炭用加配米ガ凡ソドウ云フ風ニ著イテ居ルカ御存ジナイノガ本當デアル、ソコ今後ノ日本ノ産業民主主義ト云フ公式論的ノ建前デナイ、本當ニ此ノ法律ニ依ツテ目的ヲ現實ニ達成スル爲ニハドウシテモ勞務團體ノ參加ト云フコトガ絕對ノ條件デナレバナラスト思フ、ソレデ私ノ意見ト政府ノ意見トガドウシテモ食糧ト云フナラバ已ムヲ得マセズガ、政府ハ勞務團體ノ參加ヲ認メルコトガ何カ差支ヘデゴザイマセウカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス、出來マスナラバ農林大臣ガ御見エデアリマスカラ、大臣カラデモ御答辯願ヒタイト思ヒマス

○和田國務大臣 此ノ林業團體ヲ作リマス時ニ、御話ノヤウナ勞務者ノ問題ハハ林業全體ヲ考ヘマスル時ニ、ヤハリ一ツノ問題トシテ當然考フベキ問題ダト思フデアリマスガ、唯斯ウ云フヤウニコ、デハ老々タノデアリマス、勞務者ノ團體ハ此ノ林業會ヘノ參加ト云フ形ヲ、我々ト致シマシテハハ特別議員ト云フモノガアリマスノデ、ソレ等ノ特別議員ト致シマシテ、勞務者ノ團體ノ代表者ト云ツタヤウナモノニ入ツテ戴イタラドウダラウカ、斯ウ云フヤウニ上ノ方デハ考ヘタ譯デアリマス、ソレカラ個々ノ製材ナリ何ナリニ付キマシテハ、是ハ製材工場其ノモノニ居リマス勞務者ガ、勞務組合カ何カアルノデアリマスルナラバ、ソレハ一ツノ經濟協議會ト云フヤウナ形ニ於テ、其ノ業態自體ノ改良發達、又勞務者ノ地位向上、生産能率ノ増進ト云フヤウナコトヲ經營協議會ノ形デ、ソコデ寧ロヤツテ行ケバ宜イノデハナ

イダラウカ、斯ウ考ヘタ譯デアリマス、ソレカラ一番下ノ森林ニ直接働イテ居リマス林業勞務者ニ付キマシテハ、是ハ兼業ノ者ガアリ、又專業ノ者ガアリ、其ノ形態ガ中々是ハ御承知ノヤウニ色々アリマスルノデ、是等ノ點ニ付キマシテハ、今暫クサウ云フ者ノ自然ノ組織化又ハ其ノ發達ト云フコトト見合セマシテ、サウシテ、是ハ今後ノ問題トシテ、政府ニ於テモ研究ヲ怠ラズニ、適當な施策ヲ必要デアリマスレバ、將來ニ於テ考ヘタラドウデアラウカ、斯ウ云フ實ハ態度ヲ執リマス譯デアリマス、何モ勞務者團體其ノモノデアリカラスト云フコトデ一應之ヲ列外ニ置イタノデアリゴザイマセズデ、現在ノ木材ナリ何ナリノ生産配當其ノ他ノ點ヲ圓滑ニヤリマス上ニ於テキナシテ、先ツ差當ツテソレニ從事シテ居ル業者ト森林消費者トノ協力ト云フコトヲ主體ニ致シマシテ、勞務團體ノ方ハ、今私ガ言ヒマシタヤウナ形ニ於テキマシテ、之ニ參加シテ協力ヲ願ツテ居ルノデアリマス、又ソレハノ林業會部内ニ於テ實際上ノ改善ヲ圖ツテ行クト云フヤウニ、一應此ノ法案トシテハ考ヘタヤウナ譯デアリマスカラ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○氏原委員 今農林大臣ハ勞務團體ガ十分ニ全國ノ組織モ出來テ居ナイ、或ハ特ニ所謂林業勞務者等ニ付テハ專業勞務者ガ多イノデ、中々急速ニサウ云フ組織モ確立スルコトガ考ヘラレナイ、サウ云フヤウナコトヲ考ヘテ、勞動團體ト云フモノヲ此ノ會員タル資材ヲ有スルモノノ中カラ一應見送ツタ、斯ウ云フ御話デアリマスルケレドモ、現實ノ問題ト致シマシテハ、一、二ノ府縣ニ於テサウ云フ事實ハアルカモ分

リマセスケレドモ、大體ニ於テ木材生産縣、林業ノ非常ニ盛ンナ府縣ニ於テキマシテハ、非常ニ急速ナ勢ヒデ勞務團體ノ全縣ノ組織ガ進シテ居ルと思ヒマス、サウシテ個々ノ工場等ニ於ケル經營協議會等デ勞務問題ナドハ、勞務條件等ノ事務或ハ能率ノ増進ト云フヤウナ事務ハ、協議ヲシテ行ツタラ宜シイ、ソレハオナカカ御聽キスルマデモナイ、私共モ一應ソレハ認メマスルガ、併シ道府縣林業會等ニ於テキマシテハ、是ハ斯ウ云フ定款ニアルガドウカ分リマスレドモ、政府ハ資料トシテ私共ニ御配リニナツテ居リマスルガ、其ノ第二條ニ於テ目的ヲ達スル爲ニ次ノ仕事ヲスル、其ノ第五ニ「林業勞務者ノ確保、養成、訓練又は福利厚生ノ増進ニ關する施策」斯ウ云フ一項ヲ掲ゲラレテ居リマス、恐ラク私ハ各府縣林業會ガ成立ヲ致シマスル時ニハ、此ノ政府ノ例案トシテ示サレタモノガ一應基礎トナツテ生レルノデアラウト云フコトヲ豫想致シマス、左様デアリマスルナラバ、此ノ林業勞務者ノ確保、養成、訓練ト云フヤウナコトハ、林業組合ヲ組織スル所謂事業家ト云フ人々、或ハ森林組合ヲ結成シテ居リマスル所ノ森林所有者、サウ云フ人達ダケデ出來ルデアリマセウカ、實際問題トシテハ斯様ナ仕事ハ林業勞務者自體ガ自發的ニ積極的ニ是ハヤラナレバ、目的ハ達セラレナイト云フコトガ考ヘラレ

ルノデアリマス、隨ヒマシテ、私ハ飽クマデモ此ノ法第九條ノ中ニ林業關係ノ勞務者ノ團體ガ會員トシテ入ルベキモノデアルト云フコトヲ主張致シタイノデアリマスガ、併シ之ニ對シテ、是レ以上御答辯ヲ要求致シマスルコトハ困難カト存ジマスルノデ、御答辯ガゴ

ザイマセネバ、ソレデ宜シウゴザイマス

○和國務大臣 大體政府委員ノ答辯デ宜イト思ヒマス
○氏原委員 最後ニ、此ノ林業會ニ對シテ或ハ府縣ニ於テ森林組合聯合會ガ都道府縣ノ森林會ニ加入シナイ、或ハ又或ル一ツノ森林組合ガ此ノ森林會ニ加入シナイ、サウ云フヤウナ場合ニ於テキマシテ、法第四條ノ第二項ニアリ

マスル色々ナ經濟安定本部ヲ通ジテ致シマスル所ノ所謂統制デスキ、是等ノコトハドウ云フコトニナルカ、全部ガ入ラナイノデハナイ、林業會ハ林業組合ノ一部ガ入ラナイ、或ハ森林組合ダケガ之ニ參加ヲ拒ム、斯ウ云フヤウナコトニナリマス時ニ、其ノ府縣ノ林業會ト云フモノハ成立シナイト見テ、所謂官治統制ヲヤツテ行クノカ、ソレトモ一部ダケノモノガ入ラナクテモ、其ノ入ツタモノノミノ林業會ヲ合法的ナモノト認メルカ、モウ一ツハ、サウ云フ森林組合ノ一部ナリ林業組合ガ加入シナイモノニ對スル物資ノ配當ト云ツタヤウナ事務ハ、ドウ云フ手ヲ通ジテ之ヲヤツテ行クノデアリカ、此ノ問題ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○平川政府委員 此ノ林業會ハ、森林組合聯合會ト、道府縣ヲ單一區域ト致シマス林業組合ト、此ノ二ツノモノハドウ致シマシテモ林業會ノ成立ノ要件デアリマス、森林組合聯合會ガ加入シナイト云フ場合ニハ、林業會ハ出來ナイ譯デアリマス、ソレカラ林業組合ノ方ガ一部ノ林業組合ガ參加シナイト云フヤウナ場合ニ於テキマシテハ、林業會ハ成立ヲ致シマス、ソレカラ其ノ成立ヲ見ナイ場合若シハ參加シナイモノニ對スル物資ノ配當等ノ統制ヲ如何ニスルカト云フ點ニ付キマシテハ、此ノ參加シナイ或ハ成立致シマセヌ分ニ對シマシテハ、臨時物資需給調整法ガ成立致シマスレバ、之ニ基イテ直接ニ官治統制ヲヤル、斯ウ云フコトニナリマス

○氏原委員 尙ホ質問ガアリマスガ、農林當局ノ分ハ一應之ヲ以テ打切りマ

○森委員長 木島義夫君

○木島委員 木島義夫君
ガ、本法ノ基本トスル精神ニ付テ私ハ疑問ヲ持ツテ居リマス、手取早ク言ヘバ、此ノ法案ハ林業法ト謂フテ居ルケレドモ、一種ノ木材需給法若シハ林産物ノ需給法ニ過ギナイと思フノデアリマシテ、我々農民ガ最も關心ヲ持ツテ居ル所ノ森林組合ト云フヤウナモノハ寧ろ除外サレテ居ルヤウナ感ガアリマス、サウシテ本法ノ施行ニ依ツテ森林組合ト云フモノハ、場合ニ依レバ略形兒ニナツテシマフ虞ガアルト云フコトヲ心配シテ居ルノデアリマス、仍テ二、三ノ項目ニ付テ先ヅ大臣ノ意向ヲ伺ツテ見タイと思ヒマス

農林大臣ハ豫算委員會デ農林工業ニ言及セラレマシテ、其ノ必要ヲ強調セラレタヤウデアリマス、私モ此ノ點ニ付テ大ニ敬意ヲ表シテ居ル次第デアリマス、日本ノ農業ハ今回ノ農地法ニ依リマシテ一層細分化サレタノデ、ドウシテモ今後多角立體的ノ經營ヲ益々必要トスル次第デアリマス、仍テ農山村ニ於キマシテモ、此ノ農山村ノ工業化ト云フヤウナ意味合ニ於キマシテ森林組合ノ力ヲウント附ケテ、サウシテ此ノ森林組合ヲ、先程ノ政府委員ノ説明デハ、單ニ樹木ノ撫育植林等ガ森林組合ノ使命デアリカラ、他ノコトハ多ク規定シナカッタト云フヤウナ御答辭モアツタノデアリマスガ、今日ノ情勢ニ於キマシテハ、其ノヤウナ考ヘデハ到底農村ハ立チ行カナイノデアリマスカラシテ、森林組合ニ對シテ製材業ハ勿論、更ニ木材ノ加工業等ヲドシノ許可シ又之ヲ助成シ、益々發達サセナケレバナラスト私ハ信ジマスガ、農林大臣ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイと思ヒ

○和田國務大臣 御答ヘ致シマス、此

○和田國務大臣 御答ヘ致シマス、此ノ法律ニ依リマシテ森林組合ノ發達ヲ私共ハ決シテ抑ヘテ行ク積リハ毛頭アリマセヌノ、御話ノヤウナハ又御意見ニ現ハレマシタヤウナ點ニ付キマシテ、森林組合ト云フモノヲ今後助成シ助長シテ行クト云フコトハ當然老ヘテ居ルコトデアリマス

○木島委員 大臣ニ於カレマシテサウ云フ御考ヘヲ御持チニナツテ戴イテ居ルコトハ大ニ意ヲ強ウスル所デアリマス、併シナガラ過般ノ農林大臣ノ本法制定ノ理由ハ此ノ委員會ニ於ケル御説明ニ於テモ、本法ハ造林或ハ木材ノ需給ノ適正ヲ圖ル爲ニ設ケタモノデア

マス
○和田國務大臣 御答ヘ致シマス、此ノ法律ニ依リマシテ森林組合ノ發達ヲ私共ハ決シテ抑ヘテ行ク積リハ毛頭アリマセヌノ、御話ノヤウナハ又御意見ニ現ハレマシタヤウナ點ニ付キマシテ、森林組合ト云フモノヲ今後助成シ助長シテ行クト云フコトハ當然老ヘテ居ルコトデアリマス
○木島委員 大臣ニ於カレマシテサウ云フ御考ヘヲ御持チニナツテ戴イテ居ルコトハ大ニ意ヲ強ウスル所デアリマス、併シナガラ過般ノ農林大臣ノ本法制定ノ理由ハ此ノ委員會ニ於ケル御説明ニ於テモ、本法ハ造林或ハ木材ノ需給ノ適正ヲ圖ル爲ニ設ケタモノデア

業ヲヤラウト思ヘバ直ぐ反對スル、サ

ウシテ地方ニ於ケル林政當局ハ法規ニ根據ガアルカドウカ我々ハ詳シイコトハ知りマセヌガ、何時モ業者ノ意向ヲ聽イタリ何カシテ居ル爲ニ中々歩々シク行カナイノデアアツテ、我々千葉縣等ニ於テモ屢々其ノ苦状ヲ言メサレテ居ルヤウナ次第デアリマス、是ハ一體農林省ノ指導ガ宜シキヲ得ナイ爲デアリマセウカ、聞ク所ニ依レバ山林局長ハ十五割以下ノモノハ森林組合デ

○木島委員 大臣ニ於カレマシテサウ云フ御考ヘヲ御持チニナツテ戴イテ居ルコトハ大ニ意ヲ強ウスル所デアリマス、併シナガラ過般ノ農林大臣ノ本法制定ノ理由ハ此ノ委員會ニ於ケル御説明ニ於テモ、本法ハ造林或ハ木材ノ需給ノ適正ヲ圖ル爲ニ設ケタモノデア

業ヲヤラウト思ヘバ直ぐ反對スル、サウシテ地方ニ於ケル林政當局ハ法規ニ根據ガアルカドウカ我々ハ詳シイコトハ知りマセヌガ、何時モ業者ノ意向ヲ聽イタリ何カシテ居ル爲ニ中々歩々シク行カナイノデアアツテ、我々千葉縣等ニ於テモ屢々其ノ苦状ヲ言メサレテ居ルヤウナ次第デアリマス、是ハ一體農林省ノ指導ガ宜シキヲ得ナイ爲デアリマセウカ、聞ク所ニ依レバ山林局長ハ十五割以下ノモノハ森林組合デ

格、生産費ヲ價ハナイ價格デ之ヲ取上

格、生産費ヲ價ハナイ價格デ之ヲ取上ゲタノデアリマシテ、政府ハ時局ニ依ル木材ノ急遽ナル需要ヲ充ス爲メトハ言ヘ、是等特權機關ニ依リ林業ニ對シ掠奪搾取ノ政策ヲ實行セシメタノデアリマス、需給ノ圓滑ヲ缺キ林源ヲ荒廢シ、國民ノ怨怒ヲナツタノモ當然ノ歸結ト云ハナケレバナラスト思フノデアリマス、昔カラ十年ノ計ヲナス者ハ先

○木島委員 大臣ニ於カレマシテサウ云フ御考ヘヲ御持チニナツテ戴イテ居ルコトハ大ニ意ヲ強ウスル所デアリマス、併シナガラ過般ノ農林大臣ノ本法制定ノ理由ハ此ノ委員會ニ於ケル御説明ニ於テモ、本法ハ造林或ハ木材ノ需給ノ適正ヲ圖ル爲ニ設ケタモノデア

格、生産費ヲ價ハナイ價格デ之ヲ取上ゲタノデアリマシテ、政府ハ時局ニ依ル木材ノ急遽ナル需要ヲ充ス爲メトハ言ヘ、是等特權機關ニ依リ林業ニ對シ掠奪搾取ノ政策ヲ實行セシメタノデアリマス、需給ノ圓滑ヲ缺キ林源ヲ荒廢シ、國民ノ怨怒ヲナツタノモ當然ノ歸結ト云ハナケレバナラスト思フノデアリマス、昔カラ十年ノ計ヲナス者ハ先

ニ於テ啓示トナリ農民ノ方向ヲ失フコ

ニ於テ啓示トナリ農民ノ方向ヲ失フコトガナイヤウニ、完全ナ立法ヲサレンコトヲ希望シ、又其ノ御提出ニ對シテ確信ガアルナラバ言明ヲ賜ハレバ非常ニ幸ヒダと思フノデアリマス
○和田國務大臣 御答ヘ致シマス、此ノ法案ハ私ハ提案理由ノ時ニ詳シク御説明申上ゲタノデアリマスガ、此ノ法案自體ノ中ニハ森林組合ノ得ル事柄ノ規定ハ勿論ガザイマセヌ、ト申シマスノ

○木島委員 大臣ニ於カレマシテサウ云フ御考ヘヲ御持チニナツテ戴イテ居ルコトハ大ニ意ヲ強ウスル所デアリマス、併シナガラ過般ノ農林大臣ノ本法制定ノ理由ハ此ノ委員會ニ於ケル御説明ニ於テモ、本法ハ造林或ハ木材ノ需給ノ適正ヲ圖ル爲ニ設ケタモノデア

ニ於テ啓示トナリ農民ノ方向ヲ失フコトガナイヤウニ、完全ナ立法ヲサレンコトヲ希望シ、又其ノ御提出ニ對シテ確信ガアルナラバ言明ヲ賜ハレバ非常ニ幸ヒダと思フノデアリマス
○和田國務大臣 御答ヘ致シマス、此ノ法案ハ私ハ提案理由ノ時ニ詳シク御説明申上ゲタノデアリマスガ、此ノ法案自體ノ中ニハ森林組合ノ得ル事柄ノ規定ハ勿論ガザイマセヌ、ト申シマスノ

研究ヲ意ツテ居ナイ點デゴザイマス、
デ、是非ヤリタイト思ッテ居リマス、
ト申シマス、ハ、御承知ノ通り、林業
ト云フモノハ非常ニ關係スル所ガ廣
ク、又複雑ナモノデゴザイマス、ソ
レ、團體法其ノモノヲ考ヘル上ニ於キマシ
テモ、可ナリ色々點ニ考慮ヲ運ラス
必要ガゴザイマス、我々ノ方トシ
テハ只今ノ所サウ云フ心構ヘデ居ル譯
デアリマス、ソレカラ森林組合ノ行
コトノ出來マス加工其ノ他ニ付テハ、
來ノヤリ方ノ拙カッタ點ニ付テハ、
ハ御指摘ノヤウナコトガアリマスナラ
バ、我々トシテハ今後十分氣ヲ付ケテ
行キタイト思フデアリマスガ、ソレ
等ノ事情ニ付テハ私餘リマデ存ジマセ
ス、政府委員カラ答ヘサセマス
○木島委員 只今ノ農林大臣ノ御
答辯デ大體満足スルモノデアリマス、
殊ニ私ハ審議會ノヤウナモノヲ設ケテ
根本ノ三國家ノ重大問題タル森林業ニ
付テノ法規ヲ作ルヤウニト云フコトヲ
大ニ申上ゲタイト思ッテ居タ所デアリ
マスガ、先ニ大臣ノ言明ヲ得マシテ非
常ニ満足スルモノデアリマス、併シナ
ガラ此ノ法案ハ政府ノ仰シヤル如ク、
全ク過渡的ノモノデ、極端ナ言葉ヲ以
テスレバ、恐ラク穴だらケノ案ト思
フノデアリマス、隨之ヲ早ク改正シ
ナイト其ノ弊害面ガ多ク現ハレテ來ル
ト云フコトヲ私ハ懸念スルモノデアリ
マス、私ハ來ルベキ通議會ニト敢テ
申上ゲタノハ、恐ラクハ政府ノ御都合
モアルカト思ヒマシタガ、サウ云フ意
味ヲ考慮シテ上デアッタ、敢テ無理
ヲ求ムルハ云フ意味デナイト云フコト
ヲ御察願ヒマス
次ニ私ハ二、三小サイコトデスガ、
御伺ヒシテ見タイト思ヒマス、此ノ間

農林大臣ハ薪炭ノ問題ニ付テ御話ガア
リマシテ、是ハ何レニシテモ實績ガ上
ル方ガ宜イノダト云フ意味ノ御答辯ガ
アツタヤウニ記憶シテ居リマス、併シ
私ハ此ノ第一條ノ末項ニ「林産物ト
ハ、木材その他森林から產出する物で」
ト云フ規定ガアリマスガ、木材其ノ他
ノ間ニ薪炭ト云フモノヲ入レタ方ガ宜
シイノデハナイカ、唯其ノ時ノ御答辯
デ私ノ記憶ニ依リマス、薪ニ付テハ
出荷組合ノヤウナモノガアル、炭ハ農
業會ガ振付ト云フヤウナコトヲ考慮サ
レタヤウデアリマスガ、此ノ出荷組合
ガ勞セズシテ多大ノ利益ヲ得テ居ルガ
爲ニ、又農民ガ悉クソレヲ知ッテ居ル
ガ爲ニ、却テ薪ノ生産ニ支障ヲ來シテ
居ルヤウナ事情ガ、農林ニ現在アリノ
振ハセ、又木炭モ農業團體タル森林組
合ト農業會ノコトデアリマスカラ、何
時デモ話合ガ付クシ、又政府ニ於テ適
當ニ處理ガ出來ルト思ヒマスカラ、是
等ノモノハ第一義トシテ森林組合ニ振
ハセ、サウシテ森林組合ノ未設置ノ町
村ニ於テハ農業會ガ振付ト云フコトニ
イカト思フノデアリマス、本法ニ於キ
マシテ木材ト云フコトニミ重點ヲ置
イテ、薪炭ヲ少シク輕ク扱ッタヤウニ
モ考ヘラレリノデアリマシテ、其ノ他
ノ中デ十把一絡ゲニシタヤウニモ見
ルシ、此ノ點ハ木材ニ次グ今日ノ燃料
問題トシテ食生活ト不可分ナ大問題デ
アリマスカラ、之ヲサウ云フ工合ニ規
定サレタ如何ナモノデアアルカト思フ
ノデアリマスガ、此ノ點ヲ御聽キシマ
ス
○和田國務大臣 是ハ私實ハ薪炭ヲ輕
視シタ譯デハ毛頭ナイノデゴザイマシ

テ、薪炭ニ付キマシテハ現在農業會、
ソレカラ薪炭統制組合デスカ、配給統
制組合デスカアリマシテヤツテ居リマ
ス、ソレ等ノ間ノ關係ガ旨ク十分
ニ付キマシタ場合ニハ、ソレハ木材
ケデナシ、薪炭其ノ他ノモノモ指定
スルト云フ積リデアルノデアリマスガ
差當ツテハマア木材ト云フコトニ實ハ
致シタ譯デアリマシテ、薪炭ニ付キマ
シテハ、是ハ現在ヤツテ居リマスルヤ
リ方ニ依リマシテ生産、配給其ノ他ノ
統制ヲ圖シテ行ク、斯ウ云フ建前デゴ
ザイマシテ、此ノ林業會法ニ規定サレ
マシタ方式ニ於テヤツテ行クガ、差當
ツテハ木材、斯ウ云フヤウニ御諒解ヲ
御願ヒシタイノデアリマス
○木島委員 私ハ大臣ノ御考ヘハドウ
モ薪炭ニ付テハ木材程ノ御關心ガナイ
ヤウニ思ハレテナラヌノデアリマス、
木統法ガ惡法デアアル、地本社、日本社
ガ害毒ヲ流シタト云フノト、規模ガ小
サカタカラ世間ニソレ程言ハレナイ
ケレドモ、此ノ薪ノ統制會社ガ幾多ノ
害惡ヲ流シタト云フコトハ天下周知ノ
事實デアリマス、是等ノモノト地方ノ
團體ガ話合スルト云フヤウナコトハ
餘地ノナイコトデ、又向フガ譲ルベキ
モノデモナイノデアリマシテ、是ハ國
家ニ於テヤハリ木統法ヲ廢シタ如ク此
ノ戰時ノ方便の官僚統制ヲ私ハ廢止
スベキモノト、斯ウ云フ見地カラ以上
ノコトヲ御願ヒシタヤウナ次第デアリ
マス、尤モ之ニ付テハ議論ニ互リマセ
カテ是レ以上御答辯ノ要ハアリマセ
ヒマス、次ニ林業ノ重要産業ニ加ヘ
テ、鐵、石炭、肥料ナドト同様、資材並
ニ勞務者ノ待遇ニ關シテ最優先の措置
ヲ講ゼラレリ御意思ハ當局ニ於テアリ

マセヌデスカ、ソレヲ御伺ヒシマス
○和田國務大臣 是ハ私ハ木材ト云フ
モノガ「薪炭モ含メテ」モ宜イノデアリ
マスガ、木材ト云フモノハヤハリ日本
ノ石炭ナリ鐵同ジヤウニ基本的ナ物
資ト考ヘテ居リマス、御話ノヤウ
ナ線ニ沿ツテ是非一貫シタ政策ヲ立テ
テ行キタイ、斯ウ思ッテ居リマス
○木島委員 次ニ價格ノ面デスガ、是
ハ屢々同僚議員カラ質問モアツタヤウ
デアリマスガ、儲力木炭、薪等ニ於テ
ハ庭渡價格ト云フヤウナモノガアルヤ
ウニ私モ記憶シテ居リマスガ、木材ニ
付キマシテハ假ニ價值ガ上ツテモ運賃ノ
方ハ更ニ上リマスカラ、出シノ惡イ所
デハ却テ價值ガ上ツタ爲ニ損ガ多クナル
ト云フヤウナ實情ガ、是ガヤハリ出材
ガ容易デナイ理由ニナツテ居ルト思フ
ノデアリマシテ、茲ニ逆算計算ガ宜ク
ハナイカト云フコトガ専ラ唱ヘラレテ
居ル理由ト私ハ考ヘマス、仍テ私ニモ
茲ニ決定の案ハゴザイマセヌケレド
モ、政府ニ於テ研究サレマシテ、丁度
薪炭ニ於ケル庭渡價格ノヤウナ制度ヲ
何カソコニ設ケタナラバ不便ナ所カラ
モドン、木材ガ出テ來テ應急ノ用ニ
立ツコトニナルト思フノデアリマス
ガ、之ニ付テノ御所見ヲ伺ヒタイ
○和田國務大臣 木材ノ價格ト云フモ
ノハ山元ト消費地トノ間ノ關係ハ中々
厄介デアリマシテ、御話ノヤウニ運賃
關係ガ非常ニ大キナ要素ヲ成スノデア
リマス、御話ノ點ハ今後能ク研究シテ
見タイト思ヒマス
○木島委員 ソレカラ地本社ノ清算ニ
關シテノコトデアリマス、先般千葉縣
ニ起ツタコトデスガ、尤モ是ハ清算人
ガ多過ギタト云フコトモアツタカモ知
レマセヌガ、政府ニ於テ株主總會デア

法上合法的ニ選出サレタ清算人ヲ認メ
ナイ、其ノ數モ極端ニ少クスルト云フ
ヤウナ、一口ニ言ヘバ非常ニ干涉シテ
來タ事實ガアルノデアリマスガ、是ハ
ドウ云フモノデアアルカ我々ハ諒解ニ苦
シムノデアリマシテ、先般其ノ方ノ係
ノ方ニ御伺ヒモシタノデアリマスガ、
何カ能ク考慮スルト云フヤウナコトデ
アツタガ、如何ニ統制會社ニシテモ、
是ハ少シ度ノ過ギタ行キ方デハナカラ
ウカト思ヒマス、尤モ政府ニ於テ此ノ
清算ニ對シテ嚴正ニ勉メガナイコトヲ
期スル爲ニ出タコトデアアラウトハ思
ヒマスガ、此ノ點ヲ一ツ御伺ヒシマス
尙ホ此ノ清算ニ付テモウ一ツ御伺ヒ
シタイコトハ、我々ノ手許ニ地本社ノ
清算書若シクハ決算書ガ出テ居ルヤウ
デアリマスガ、多クハ赤字ノヤウニ思
ヒマス、所ガ巷間傳ヘル所ニ依レバ、
無理ニ赤字ニシタノダト云フヤウナコ
トモ言ハレテ居リマス、其ノ中デ製材
所等ヲ數年前ニ買ツタ安イ價值デ元ノ
所有者ニ返スト云フヤウナ名目ノ下ニ
清算前ニ非常ニ急イデ處理サレタ事實
ガアルノデアリマス、清算人ニマデ、
斯クノ如ク關心ヲ持タシテ居ル當局ト
致シマシテ、統制會社ノ立場上此ノ製
材所等ヲ清算ニ先立ツテ勝手ニ役員ナ
ドガバラ、ニシテシマツタト云フコ
トニ對シテハ、相當責任ガアルノデハ
ナイカト考ヘテ居ルノデアリマスガ、
是等ニ對スル御所見ヲ承リタイ
○平川政府委員 地本社ノ清算人ノ選
定ニ付キマシテハ、是ハ株主總會ニオ
任セスル積リデ居ルノデアリマス、唯
非常ナ弊害デモ起リサウナ場合ニ監督
ヲ致スト云フ程度ニ考ヘテ居ルノデア
リマス、今ノ御話ノ場合ニ於テハ、何
カ非常ニ澤山ノ清算人ヲ御選ビニナツ

タト云フコトデ、ソレデハ運行ガ旨ク
行カナイト云フヤウナコトヲ縣廳ノ方
デ考ヘタノカト思ヒマス、原則トシテ
サウ云フ干涉ハ致サナイコトニ致シテ
居リマス、尙ホ地木本社ノ財産處分ニ付
キマシマス、御話デゴザイマスガ、是モ
會社ノ總會ノ方ニ考ヘ方ニ任セテ居ル
ノデアリマス、唯地木本社ノ解散ニ際シ
マシテハ、工場等ニ付キマシテハ原則
トシテ元ノ所有者ニ返ス機會ヲ與ヘ
ル、併シ其ノ價格等ニ付キマシテハ、
現在ノ統制價格ヲ基礎ニスルト云フヤ
ウナコトヲ示シテアリマス、御話ノ如
ク解散ニ至リマス前ニ理事者ガ處分ヲ
シタト云フコトニ付テ、甚ダ不當デア
ルト云フヤウナ判定ガ下セルヤウナ場
合ニ於キマシテハ、之ヲ監督モ致サナ
ケレバナラスカト思ヒマス、先ツ總會
等ニ於テ十分理事者ノ監督ヲヤツテ裁
キタイ、斯ウ云フ建前デゴザイマス

○木島委員 私ノ考ヘデハ、赤字マ
出シテ居ル會社ガ、假令元ノ業者ニ對
スル顧客トハ云ヘ、今日機械等ハ數倍
或ハ數十倍ノ價格ニナツテ居ルニ拘ラ
ズ、ソレヲ元値デ返シテ、サウシテ其
ノ株主ニ損害ヲ與ヘルト云フコトハ、
社會ノ體義上カラ言ツテモ、又法律上
カラ言ツテモ、如何ナモノカト思ヘル
ノデ御伺ヒシタ次第デアツテ、政府ニ
於テ之ヲ適當ニ監督シ、又場合ニ依ッ
テハ斯クノ如キモノハ再び地木本社ニ返
還サスベキモノデアリト思フノデアリ
マス、是ハ政府ガ今後統制會社等ヲ作
ツタ時、又ゾロアノ手カナドト云フコ
トデ、非常ニ民心ニ對シ惡影響ヲ與ヘ
ルモノト私ハ考ヘマス、社會道義ノ上
カラモ看過シ得ザル問題デアルト思フ
ノデアリマス、此ノ點ハ一ツ重キテ何
カ御監督ナリ、御指示ナリアルコトガ

私ハ適當デハナカラウカト考ヘマス、
又千葉縣ニ於ケル清算人ノ實例ハ更ニ
小委員ノヤウナモノヲ選シデアリマシ
テ、員數ノ多イ爲ノ弊害ハ何等ナイノ
デアリマス、ニモ拘ラズ突然サウ云フ
指示ガアツタト云フコトデ、非常ニ驚イ
テ慌テアツタナ譯柄デアリマシテ、唯
ヤタラニ上カラバカリ命令スルコトモ
時節柄如何カト思ヒマシテ、此ノ點ヲ
申上ゲタノデアリマス

次ニ、農地ニ付テハ、云フ劃期的ノ
制限ガアリマシタカラ、山林ニ付テモ
色々農村デハ心配サレテ居リマス、又
一部ノ主張ヲ持ツタ者ハ、之ヲ制限ス
ベキデアリナドト云フ論議モ行ハレテ
居ルト云フヤウナ次第デアリマスガ、
過般農林大臣ハ山林ハ農地ト異ナルガ
故ニ、未ダサウ云フ方面ニ對シテ當局
ハ意見ヲ持タナイト云フコトヲ聲明サ
レタヤウデアリマシテ、私モ大體同感
ニ思ツテ居リマス、ソコデ私ハ此ノ際
山林ノ面積ト云フコトニ付テハ見邊シ
ニ付テ、若シ政府當局ニ於テ何カ根據
ガアルナラバ參考ニ承ツテ置キタイト
思フ點ガアルノデアリマス、學者ニ依
ツテハ山林ノ理想的經營ハ少クモ三百
町歩ヲ要スル、尤モ是ハ老ヘテ見マス
ルト、山林ヲ專門ニ業トスル場合ニ於
テハ、木材ト云フモノハ之ヲ使用シ得
ル樹齡ハ約三十年ト考ヘラレマスガ
ラ、毎年十町歩ヲ伐採シ、又植林スル
ト云フコトニ依ッテ、三十年デ一回一
巡スル、斯ウ云フコトデ、三百町ト云
フコトハ或ハ經濟的、合理的ノ經營カ
モ知レマセヌ、併シ現在ノ制限サレタ
事情ニ於テ斯クノ如キ大キナコトヲ夢
見テ居ル譯ニモ行カズ、一般ノ通則ト
スルコトモ出來ナイノデアリマスガ、
私ノ愚見ニ依レバ、最小限度山林ノ經

營ハ經濟的經營ニ於テ三十町歩位要ス
ルモノデハナカラウカ、即チ毎年一町
歩ツツ植林伐採シテ、三十箇年ノ中ニ
輪伐スルト云フヤウナコトガ宜シイデ
ハナイカト云フヤウナ考ヲ自分シテハ
ハ持ツテ居リマスガ、當局トシテハ、
若シ此ノ際最初ニ制限ナリ、何等カ目
標ヲ設ケル時ニハ何カ目安ヲ持チニ
ナツテ居ラレルト思フモノデアリマス
ガ、今日ノ山村ニ於ケル農民ハ安心ヲ
與ヘル上ニ於テモ、或ル程度私ハ是ハ必
要ナコトデハナイカト思フ、若シアリ
マシタラ參考ニ御聽キシタイト思ヒマ
ス

○和田國務大臣 山林ニ付キマシテハ
御話ノヤウニ、之ヲ農地ト同シヤウニ
考テ行クト云フ考ヘハ今ノ所持ツテ居
リマセヌ、唯併シ此ノ山林ニ付テ、ヤ
ハリ合理的ナ經營ヲヤツテ行クト云フ
經營ノ面カラハ森林經營ノ面積ニ付テ
ハ、相當考ヘルベキ問題ダト思ツテ居
リマス、併シ今ノ程度ノモノガ宜イカ
ト云フコトニナリマス、私大シタ見
當ハナイノデアリマスガ、是ハ恐ラク
森林經營ノヤリ方ナリ何ナリデ以テ、
面積モ一律ニハ決メル譯ニハ行カヌト
思フノデアリマスガ、是ハ技術的見地
カラ、又經濟自體ノ方カラモ十分農林
省トシマシテハ檢討シテ、將來ノ大キ
ナ森林經營ノ育成ト云フ問題カラ考ヘ
テ見タイト思ツテ居リマス、農林省ト
シテ決マツタ面積ト云フモノハ、決定
シタモノハアリマセヌ

○木島委員 農林省トシテハ、耕地ニ
付テハ適正農家ト云フヤウナコトデ色
色標準ヲ發表サレテ居ルノデアリマ
ス、唯林業ニ對シテハ今日マデ餘リ多
クノ關カナイノデアリマス、所ガ今度
ノ農地制限デ、色々センセーション
ヲ起シテ居ルノデアリマスカラ、此ノ
際別ニ法規デトカドウトカ云フモノデハ
ナカラウガ、經濟的見地、社會的情勢
カラ見タ何等カノ結論ヲ得ラレタナラ
バ、非常ニ農民モ安心スルデラウシ、
又今後ノ用意モアウツ思ヘルノデア
リマシテ、適當ノ機會ニサウ云フコト
ガ出來タナラバ御願ヒシタイ、斯ウ云
フコトデアリマス、以上ヲ以チマシテ
私ノ質問ハ終リマス

○森委員長 井出一太郎君
○井出委員 大臣ガイラツシヤイマス
ノデ、最初ニ林政ノ一般の問題ヲ御尋
ネ致シ、尙且後デ本法案ニ付テモ、細
カナ問題ニ各論的ニ觸レテ見タイト思
フノデアリマス

最初ニ御尋ネシタイノハ、敗戦ノ結
果、外地ヲ喪失スルコトニ依ツテ、今
後ノ林業ト云フモノハ内地ダケニ賴ラ
ナケレバナラス、斯ウ云フコトニ相成
ツタノデアリマスガ、此ノ朝鮮、臺
灣、樺太ノ喪失ニ依ツテ、非常ニ我が
國ノ林業ニ大キナ影響ガアル譯デアリ
マス、過般配付サレマシタ資料ニ依リ
マス、化學「バルブ」ト云フヤウナモ
ノハ、殆ド三分ノ二ガ外地ニ依存シテ
居ツタ、斯ウ云フヤウナモノガ今後果
シテ内地材デ賄ヒ得ルカドウカト云フ
ヤウナ點ニ對シテドシナ御見込デイヤ
ツシヤルカ、伺ヒタイノデアリマス、
サウシテ又ハ、外材輸入ト云フ問題
トモ絡ンデ來ルカト思ヒマスガ、内地
デ以テ何トカ自給ノ途ガアルモノカド
ウカ、此ノ一點ヲ最初ニ伺ヒタイト思
ヒマス

○和田國務大臣 恐ラク是ハ今後日本
ノ文化ガ進ンデ行キマスレバ、「バル
ブ」材ニ對シマスル需要ト云フモノハ
ヤハリ殖エテ來ルノデアリマシテ、ソ

コニ特ツテ來テ又日本デハ樺太ト云フ
大キナ資源ヲ失ツタ譯デアリマス、
「バルブ」材ニ付テ内地デ之ヲ自給シ得
ルト云フ何ハゴザイマセヌ

○井出委員 其ノ次ニ、林地ト開墾ノ
關係ヲ少シ御尋ネ致シマス、治山治水
ト云フヤウナ立場、或ハ林產資源ヲ造
成スルト云フ立場カラ森林ガ非常ニ重
大ダト云フコトハ、是ハモウ申サマデ
モナイノデアリマス、一方食糧ノ絕對
的不足ヲ緩和致シ、人口問題或ハ失業
問題ヲ解決スル、斯ウ云フ風ナ立場カ
ラ大規模ナ開墾事業ガ開始サレテ居ル
ヤウデアリマス、是レ亦重大ナ國家的
要請デアアルコトニハ間違ヒナイノデア
リマスガ、林地ノ中デ所謂絕對的林地
ト申シマセウカ、森林ハ是ハ外ニ仕
樣ガナイノドト云フ部分ハ、是ハ問題
ナイトシテ、林地ニモナレバ農地ニモ
ナリ得ルコト云フ所謂相對的林地ト云フ
風ナ面ニ於テ、競合關係ガ出來ルダラ
ウト思ヒマス、此ノ場合ニ當ツテ考慮
ヲ要スルコトハ、開墾ノ適地ト森林ノ
適地トヲ能ク見分ケルコト云フコトガ大
事デアリマシテ、往々ニシテ美林ガ切
倒サレタ儘デ、開墾ヲシテ見ルト、ソ
コハサツバリ耕作地ニハ適シナイト云
フ風ナ關係デ、裸ノ儘デ放置サレテ
居ルト云フヤウナ例ガ幾多アルヤウデ
アリマス、此ノ兩方ノ要求ヲ調和スル
ト云フ點ニ於テ、是ハ丁度兩方トモ幸
ヒ農林省管轄トニアルノデアリマスガ
ラ、是非慎重ヲ期シテ誠心カケレバナ
ラヌト思フノデアリマス、之ニ關聯致
シマシテ開墾ヤ々ト云フ聲ガ非常ニ高
イノデアリマスガ、謂ハバ現在ノ耕地
ノ限界ト云フコトガ言ハレテ居ル譯デ
アリマスガ、斯ウ云フ所ニ於ケル農業
ハ、當然高イ生産費ヲ伴ツテ來ルト云

フコトハ無論アリマシテ、是ガ將來「コスト」ノ安イ外國ノ農産物トノ競争ト云フ風ナコトニナツテ参リマス、手放シテ開墾ヲ獎勵スル譯ニハ行カヌト思フノデアリマス、コ、ラニ關スル集合ヒトデモ申シマス、其ノ邊ヲ伺ヘレバ幸ヒト存ジマス

○和田國務大臣 御話ノヤウニ開墾ヲヤリマスニ付テハ、森林ト山林トドウシテモツカル所ガアル譯デアリマシテ、其ノ場合其ノ土地ヲ山林トシテ置イテ置ク方ガ國家ノ見地カラ一體良イカ思イカ、或ハソレヲ農地トシテ耕ヤス方ガ國家經濟ノ立場カラ見テ實際良イカドウカト云フ點、ソレカラ今御話ノヤウニ技術的ナ點カラ言ツテ、果シテドウカラ「ベター」デアルカト云フヤウナ色々ノ觀點カラ其ノ點ハ勘案シナケレバナリマセヌノデ、開墾地ニ付キマシテハ、其ノ決定ニ付テ慎重ナ手續ヲ執ラウト思ツテ居リマス、唯官廳ガ一方的ニ決メルノデハアリマセヌデ、委員會ヲ作リマシテ、ソレデ開墾關係ノ人達及農地ノ關係ノ人達ヲ以テ、ソコニ十分連絡ガ出來ルヤウナ組織ヲ一ツ拵ヘマシテ、ソコデ決定シテ行ク、斯ウ云フヤウニ致シタイト思フノデアリマス、ト申シマスノハ是ハサウ云フ大キナ見地カラ見ルト同時ニ、ヤハリ村ナラ村デ果シテソコガ開墾地トシテ假リニ適地デアルトシテモ、ソコガ實際治水水利ト云フ點カラ行ツテハ、ソコヲ開墾スルト、水ノ上カラハ非常ニ困ツタ結果ニナルト云フ場合ガヨクアリ得ル譯デアリマスカラ、ソコヲ點ハ十分考慮シマシテ、開墾スルコトニ依ツテ、國家ノ土地利ヲ用ノ上デハ何等利益ニナラナイト云フヤウナコトノアリマセヌヤウニ十分考

慮致シテ、サウ云フ點ヲ決定致シマスル爲ニ、ヤハリ農地委員會ナリ開墾委員會ナリ以テ、ソレ等ノ點ヲ十分協力サシテ、決定サレテ行クト云フコトニ實ハ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

ソレカラ耕作境界ノ問題ハ、是ハ御話ノヤウニ現在開墾ヲ非常ニヤカマシク言ツテ居リマスルコトハ、一面カラ言ヒマスレバ、日本ノ耕地ノ境界ヲ擴ゲテ行クコトデゴイザマスノデ、其ノ擴ゲテ行ツタ耕地ニ入ツタ農家ガ、十分將來モ農家トシテ成立ツテ行クト云フ農家ノ點ニ付テハ、農林省トシテモ營農ノ指導ト云フ點ニ付テハ、施設ハ十分講ジマシテ、其ノ點ニ付テ遺憾ナキテ其ノ村ノ農耕地ヲ擴ゲル意味ノ開墾デアリマスレバ、是ハ其ノ村ノ農耕地デアリマスカラ、能ク知ツテ居リマスノデ、サウ營農上ノ指導ハ要リマセヌガ、復員者デアルトカ歸還者、失業者ガ入ツテ行キマス場合ハ、ドウシテモ是ハ素人ガ入ツテ行クコトデゴイザマスノデ、其ノ點ニ付テハ營農ノ指導ヲ十分ニ致シタイト思ヒマス、ソレ等ノ點ニ付テハ具體的ナ事情モ考ヘテ居ル次第デアリマス、勿論入ツテ行キマス農家ノ經營ニ付キマシテハ、是ハ平地ト違ツテ山地ヘ行キマスレバ、山地ニ適シタ平地トハ違ツタ經營型ト云フコトガヤハリ成立テ得ル譯デアリマスノデ、其ノ耕作スル境界、殊ニ日本ニ於キマシテハ、今後ハ主ニ水田デナク畑作ノ方ニ伸ビテ行クコトニナル譯デアリマスカラ、謂ハバ日本ノ農家トシテハ新シイ分野ガ開カレタドモ言ヘルノデアリマスノデ、ソレ等ノ點ニ付キマ

シテハ、農林省トシマシテモ民間トモ連絡ヲ執ツテ、大山ノ麓デ色々ノ經營研究ヲヤラセテ居ル譯デアリマス、サウ云フ點ニ付テハ凡ソ各方面ノ智能ヲ集メテ、遺憾ナキヲ期シテ行キタイト自分トシテハ考ヘテ居ル譯デアリマス

○井出委員 「アメリカ」人ノ先祖達ガ西部邊境ヲ開クニ當ツテ「フロンティア」スピリットト云フ高イ精神の目標ヲ決メテ、漸次開イテ行ツタコトヲ私共ハ承知致シテ居ルノデアリマス、日本ノヤウナ場合、之ヲ今後致スニ付テモ、サウ云フ精神の目標ヲ持タセルコトハ勿論デアリマスガ、ト同時ニ相當ノ文化的ナ施設ト云フモノニ付テ、國家の配慮ヲシテヤル必要ガアルト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テハ御見解ハ如何デアリマセウカ

○和田國務大臣 全ク其ノ點ハ同感デアリマス、日本ハ謂ハバ平地ト多少違フト言ヘバ違ヒマスガ、「アメリカ」ノヤウニ「ニュー・フロンティア」ヘ行ク程、文明ガ野蠻ニ觸レルト云フコトハナインデアリマスガ、日本ノ開墾ニ付テ一ツノ重キ點ヲ置クノハ、日本ノ民族ガ兎ニ角一ツノ新シイ困難ト闘ヒ、其處ニ新シイ天地ヲ開クト云フ意味デ、「丁度」アメリカノ「ニュー・フロンティア」ノ「スピリット」ガ連續トシテ、其ノ後「アメリカ」ノ「デモクラシー」ノ發展ハ上ニ大キナ役割ヲ演ジテ居リ、「アメリカ」民族ノ一ツノ非常ニ進取の氣性ノ基礎ヲ成シテ居ルヤウナ歴史カラ考ヘマシテモ、是ガ開拓ト云フモノハ唯經濟的ナ面カラダケデハ見ラレナイデアリマシテ、是ハ御話ノヤウナ點ハ私ハ十分高く評價シテ、居ルノデアリマス、其ノ場合ニドウシテモソコニ文化的ナ施設ヲ講ズルコト、

官換ヘレバ日本ノ現在ノ文化デ育ツタ人ガ、新シイ所ヘ其ノ體、文化ヲ移植シテ行クト云フ形ニナリマスノデ、文化的ノ設備ト云フ點ニ付キマシテモ、今度ノ開墾ニ付テハ我々トシテモ是非ヤツテ行キタイト考ヘテ居ル譯デアリマス、ヤハリサウ云フ面カラ行キマセヌト、永ク其處ニ永住シテ、農家トシテ落付イテヤル事業ハ中々完成シナイト思ヒマスノデ、御意見ノ點ハ私共トシテモ全ク同感デアリマス

○井出委員 只今ノ御答辯ヲ承致シマシタ、其ノ次ニ農林省ノ豫算ノ中ニ森林ニ關スルモノトシテ、先般平野委員ノ御質問ニ對シテ造林費ガ凡ソ九千萬圓程度計上サレテ居ルト云フコトデアリマスガ、事實頂戴致シマシタ參考文獻ヲ見マスト、八千七百萬圓餘ト云フ風ニゴザイマス、ソレ造林開設ニ關シテハ他ニ豫算ガアルト云フコトヲ豫テ伺ツタコトガアルノデマスガ、ソレハ此ノ他ニ屬スルモノデゴザイマセウカドウカ、ソレガ一點、又其ノ時デアリマシタカ、大臣カラノ御答辯ノ中ニ民生安定費ノ中カラデアリマシタカ、失業救済費トシテ八億位ノモノガ取レサウデアルト云フ風ナコトヲ漠然ト伺ツテ居リマス、是ガ森林關係ニ向ケラレルト云フ風ニ伺ツタヤウデアリマシタガ、語尾ガ少シク濁ツテ、龍頭蛇尾ニナツテシマツタヤウナ感ヲ持ツタノデアリマス、私ハ大體省ノ河野豫算課長ノ口カラ斯ウ云フコトヲ聴イタコトガアルノデス、經濟再建費ノ中デ、公共事業費ガ六十二億何ガシアルノダガ、其ノ中半分ハ食糧増産、ソレカラ四分ノ一ガ治山治水、残りノ四分ノ一ガ戰災復興、極大ニ維ニ分ケレバ、公共事業費六十二億ハコンナ風ニ分ケラレ

ルト思フト云フコトヲ非公式ニ伺ツタコトガアルノデス、サウスルト此ノ四分ノ一ガ治山治水ニ向ケラレテ、約十五億圓餘ガ計上サレルノデアリマス、勿論治山治水ト云フ以上ハ、内務省トモ共管ト云フコトニナルデアリマセウ、是非公式ニ伺ツタ數字デアリマスケレドモ、農林省ノ見解ハ如何デゴザイマセウカ、斯ウ云フ處大ナ數字ヲ信憑スルコトガ出來マセウカドウカ、ソレヲ伺ヒタイ

○平川政府委員 此ノ公共事業ノ方ガハツキリト確定ヲ致シテ居リマセヌ爲ニ、稍々漠然タル御説明ニナツタノデアリマス、山林局關係ノ本年度ノ全體ノ豫算ハ約十一億位ニナルノデアリマスガ、其ノ中デ新伐、造林、林道、治水ト云フヤウナ主ナル事業ニ關スル費用ガ大體十億位デアリマス、其ノ中デ約八億ガ公共事業費ノ方ニ載ツテ居リ、約二億バカリガ農林省ノ本來ノ豫算ニ載ツテ居ルト云フ内譯ニナリマス、是ハ事業別ニ觀メテ申上ゲタ方ガ分リ宜イト思ヒマスガ、約十億ノ事業費ノ内譯ヲ申上ゲマスト、約六億八千萬バカリガ新伐ノ事業ニナリマス、ソレカラ造林ガ九千萬圓弱デアリマス、林道土木ノ關係ガ二億圓、治水關係ガ約一億圓、其ノ外ニ施業案ニ關スル費用ガ七百數十億圓デゴザイマス、大體サウ云フヤウナ内譯ニナツテ居ルノデアリマス

○井出委員 サウ致シマスト、治山治水ト云フ風ナ面カラ、是ハ一體内務省ニナルカ、農林省ニナルカ、一應内務省豫算ニ出テハ居ルケレドモ、一寸見極メガ付カヌ、併シ日本ノ林業ノ爲ニ其ノ省ニナツテ居ルノダト云フ經費モ相當アルト見テ宜シウゴザイマセウカ

○平川政府委員 ソレハ内務省ノ方デ、砂防其ノ他ノ事業費ハ組ンデ居リマス、ソレト合セテ考ヘテ宜シイ課デアリマス

○井出委員 御料林ノ問題ガ既ニ幾度カ出マシタケレドモ、此ノ點少シ同シテ見タイト思ヒマス、或ハハ宮内省ノ所管ト云フコトニナルカモ知レマセヌ、今朝ノ毎日新聞デアリマシタカ、所謂世傳御料普通御料ニ分ケマシテ詳シイ數字ガ載ッテ居リマシタ、今度ノ憲法改正案ニ依リマス、一應世傳御料ト云フ文字ガ修正ニ依ッテ取レタ恰好ニナッテ居リマス、併シ別個ニ皇室ノ私有財産或ハ個人財産ト云フ「アイデア」ガ一ツノ含ミトシテ考ヘノ中ニ上ッテ來テ居ルヤウデス、其ノ場合御料林ノ大部分ハ國有トナル、斯ウ傳ヘ開イテ居リマスガ、一部個人財産トシテ皇室ニ歸屬スルコトガ出來ルデアリマセウカドウカ、此ノ點御洩ラシテ願ヒタイノデアリマス、又御料林地帯ニ於ケル地元ノ人達ノ様子ヲ聞イテ見マスルノニ、例ヘバ私ノ知ッテ居ル範圍デハ本當ノ御料林或ハ矢作川流域ノ御料林、ソコヲ人達ガ長イ歴史のノ業ガリトシテ御料ガ奉仕ラヌルト云フ忠誠心ガ何カ切ッテモ切レヌモノトシテ、ホノト地元民ノ氣持ノ中ニ殘ッテ居ル、斯ウ云フモノヲ今後トモ生カシテ行キタイト云フ氣持ガ慥カニアルヤウデアリマス、是ガ國有林ニナルコトニ依ッテ、地元民ノサウ云フ氣持ガ斷チ切ラレテ、バラノニナル處ガアリハシナイカト云フコトヲ私愛ワルモノデアリマスガ、斯様ナ點ニ付テ御分リニナッテ居ル範圍デ一ツ御洩ラシテ願ヒタウゴザイマス

○中尾政府委員 只今ノ御尋ノ點ハ

マダ具體的ニ協議致シテ居リマセヌノデ、其ノ内容ニ付テハ詳細分ッテ居リマセヌ、併シアトテ御話ニナリマシタ地元民ノ御料林ニ對スル精神、氣持ト云フモノハ、若シ御料林ガ國有林ニナリマシタ場合ニ於テモ將來トモ生カシテ行キタイト考ヘテ居リマス

○井出委員 次ハ森林資源造成法案ニ付テデアリマスガ、昨日デシタカ、太田委員ノ御質問ニ對シテ平川政府委員カラ只今マデノ發行額ガ四百萬圓ト伺ッタノデアリマス、是ハ今年度ノ數字デアルカハツキリ致シマセヌガ、造成法案ノ發行限度ハ三億圓ト承知致シテ居リマス、是ハ餘リニモ少イ額デアリカト云フ感ジガ強イノデゴザイマス、是ハ何カ造成法案ニ缺陷ガアルノデハナイカ、例ヘバ現在造林費トシテ當局ガ計上シテ居リマス所ノ一町步當リノ單價ト云フモノハ餘リニモ安キニ失スルノデハナイカ、或ハ又此ノ證券發行ニ依ル手續ガ非常ニ煩瑣デアリハシナイカト云フヤウナ缺陷ガ私ハ豫想致スノデアリマス、此ノ法案ハ體力會議員提出ノ法案トシテ成立ヲ見タト云フ意味ニ於テ、當時非常ニ注目サレ而モ評判ノ宜カッタ案ナノデアリマスガ、是ガ利用度ガ斯クモ低イ云フコトデアッテハ非常ニ遺憾デゴザイマス、其ノ邊ニ付テ御答辯ヲ煩ハスト同時ニ、只今一町步當リノ造林費ガ今度引上ゲラレテ、千四百四十圓ト云フヤウニ承知致シテ居リマスガ、現在一町步ノ造林費ト云フモノハソコトデハ行カナクテ、恐ラク三千圓以上掛ルト見テ居リマス、之ニ對シテ再引上ヲナサル御意思ガアルカドウカ、アルトスレバ三億圓ノ限度デハ勿論行カナイコトデ、之ヲ擴張スルト云フコトニ相成リ

マセウ、其ノ邊ノ御答辯ヲ御願ヒ致シマス

○平川政府委員 山林局長カラ御説明致シマシタ數字ハ六月現在ノ數字デゴザイマス、實ハ此ノ森林資源造成法ハ本年一月ニ施行ニ相成リマシタノデアリマシテ、初メテノ制度デゴザイマス、之ヲ各地方ニ此ノ趣旨ヲ徹底致シマスル爲メニ約一月位掛リマシタ、實際ニ動キ出シマシタハ二月以降デアリマス、サウ云フ關係デマダ地方ニ能ク滲透シテ居リマセヌコトガ一ツノ原因デアリマス、ソレカラ今一ツハ此ノ造林證券ノ單價ガ其ノ當時非常ニ安クアリマシタ、是ハ昨年度ノ調査ニ基ク單價ニ致シタ爲メ、造林費自身ノ單價ハ平均二百十圓ト云フヤウナ非常ニ安い單價ニナリマシタ、撫育ヲ併セマシテモ、最高限度三百五十圓ト云フヤウナ單價ニナッテ居リマスガ、其ノ關係安金額ガ上ラナカッタト云フコトガ第二ノ原因デアリマス、ソレカラ此ノ金額ガ上リマセヌコトガ造林當事者ヲシテ非常ニ此ノ證券ニ對スル魅力ヲ失ハシメタト云フコトガアラウカト思ヒマス、今回ハ先般御説明申上ゲマシタヤウニ、約四倍ニ此ノ單價ヲ引上ゲマシタノデ、申込モ余程是デ多ナルノデハナイカト云フ風ニ期待ヲ致シテ居リマス、尙ホ再引上ノ意思ガアルカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、只今ノ所マダ具體的ニ其ノ問題ヲ考ヘテ居リマセヌガ、併シ逐次勞銀等ガ上ッテ參リマスノデ、尙ホ此ノ點ニ付テハ將來研究ヲ致シタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、サウ云フコトニナリマス、當然ニ三億圓ノ限度ト云フモノハ少キニ失スルト考ヘマスノデ、之ニ付テハ本年度ハ是デ間ニ合ヒマスケレドモ、何レハ近

イ將來ニ於テ法律ノ改正モ必要デハナイカト云フ風ニ考ヘマス

○井出委員 次ニ森林金融ト森林保險ノ問題デゴザイマス、林業ニ關スル金融ニ付テハ、本會議ニ於テモ綿貫サンノ御質問ノ中ニアッタト思ヒマスガ、之ニ對シテ大臣ノ答辯ハ勸銀カラ若干、ソレカラ農林中央金庫カラ八億圓内外ノ融資ガ出テ居ルト云フ風ニ伺ヒマシタ、申上ゲルマデモナク、林業金融ハ長期低利デナケレバナラナイノデアッテ、一種ノ特殊ナ金融デゴザイマス、斯カル意味ニ於テ現在ノ農林中央金庫トハ別個ニ森林中央金庫ト云フ風ナモノヲ獨立セシメテ、森林金融ノ全面的ナ増強ヲ考ヘルト云フコトハ如何デアリマスカ、當局ニサウ云フ風ナ意圖アリヤ否ヤ、之ヲ一點トシテ御伺ヒシマス

○平川政府委員 金融ノ方ニ付テマシテハ、前回御答辯申上ゲマシタヤウ全面的ニ活用シテ參リタイ、斯ウ云フ考ヘデアリマシテ、法案ニ於キマシテモ、其ノ趣旨デ林業組合、或ハ森林組合、林業會ヲ之ニ加入セシメルト云フ考ヘデアリマス、火災保險ニ付キマシテハ、先般單價ヲ引上ゲマシテ、一町步當リ大體千圓乃至千五百圓マデノ補助ニ依ッテ、是ハ場所ト樹齡ニ依ッテ違ヒマスケレドモ、最低五年以下ノモノハ五百圓、六年乃至十年ノモノハ三千圓ト云フ風ニ可ナリ大幅ナ引上ヲ致シマシタノデ、是デ或ル程度目的ヲ達スルノデハナイカト考ヘテ居リマス

○井出委員 木材ノ價格デゴザイマスガ、是モ先般來大分色ナ論議ガアリ、現在ノ逆算方式デハ困ル、山元カラ最寄リノ驛マデ搬出スルダゲニサモ、其ノ搬出費デ大部分ガ食ハレテ、木材價格ハ「ゼロ」ニナツタリ「マイナス」ニナルト云フコトモ、既ニ言ヒサレタヤウデゴザイマス、先程大臣ノ御答辯ノ中ニモ、是ハ非常ニ難カシイト云フ御意向ガアッタノデアリマスガ、ト申シテ山持チガ何十年カニ亙ッテ育成シテ來タ所ノ結晶ガ、今日アヤウナ狀態デアッテハ、ドウモ造林意欲ハ冷却スルバカリデゴザイマス、ソレデ山林ノ場合ハ生産費ト云フ風ナモノヲ遠カニ算定シテ幾ラノト云フコトヲ定メルノハ勿論困難デアリマセウケレドモ、何トカ、ソコニ價格平衡資金ト云フ風ナモノヲ、一種ノ「プール」計算デゴザイマスガ、サウ云ツタモノガ考ヘラレナイモノカドウカ、此ノ點當局ノ御見解ハ如何デアリマセウカ、或

カ承リタイト思ヒマス

ハ又最近造林ヲ獎勵スル意味カラ、或ハ山ノモノハ山へ返セト云フ風ナ意味カラ、造林費ノ一部ハ需要者ガ負擔スベキデアリト云フ風ナ意見ガ出テ居ルヤウデアリマス、例へバ現ニ木材需要者協會デゴザイマス、此ノ關係ノ筋ナドニ於テハ、負擔シテモ宜イト云フ風ナコトヲ申シテ居ルヤウデアリマス、斯カル問題ハ之ヲ法制化スルコトニキハリ技術的ナ考慮ガ要ルト思ヒマスケレドモ、例へバ今回ノ林業會ヲシテ扱ハシメテ、販賣價格ノ上ニ一定ノモノヲ賦課シテ、之ヲ積立テ、山林へ還元スルト云フ風ナ方法ガナイモノデア

ルカドウカ、之ニハ、尤モ公定價格ト云フ風ナ問題トモ關聯シテ、公價ノ違反ト云フコトニナツテハ困ルノデアリマスガ、斯ウ云フ著想ヲ當局ハドウ御考ヘニナリマス、又之ヲ實施セントスル意思ガアルカドウカ、場合ニ依ツテハ木材消費稅ト云フ風ナモノニシテ、之ヲ別個ニ積立テ、一種ノ特別會計デモ併ヘルト云フ方式ニ依ツテ、山へ還元スルト云フ風ナコトハ如何ナモノデアリマス、斯様ナ點ヲ一括シテ伺ヒタイノデアリマス

○平川政府委員 價格平衡資金ト云フコトハ制度トシテハ中々難カシイデラウト考ヘテ居リマス、唯特殊ノ團體ニ於キマシテ、皆ガ一致シテ何かサウ云フ申合セスルト云フヤウナコトナラバ出來ルカト思ヒマス、制度トシテ平衡資金ノモノヲ設ケルコトハ困難ハナイカト思ツテ居リマス、ソレカラ消費稅ト云フ御話、或ハ需要者ガ自發的ニ造林ノ爲メ費用ヲ出スト云フ御話デゴザイマス、是ハ需要者側カラ何か寄附デアリマス、或ハ其ノ他申合セニ依リマシテ一定ノ金ヲ

積立テルト云フ風ナコトヲ自發的ニヤリマス、併シ消費稅、或ハ何等カノ形デノ賦課金ヲ國ノ制度トシテ行フト云フコトハ、一寸困難デヤナイカト考ヘテ居リマス

○井出委員 大臣ガ見エマシタカラ、先刻保留シテ置イタル點ヲ伺ヒマス、民有林ト國有林ノ問題ガ、是モ先刻來色色ナ角度カラ論議ガ出テ居リマス、ソレデ大臣ノ抱懷セラレテ居リマス、外山ト奥山ト云フ二元的ニ分ツテ、其處へ林業政策ヲ施スト云フ御考ヘハ、是ハマア常識論トシテハ私モ贊成ヲ致スノデアリマス、此ノ見地カラ外山ハ民有林トシテ山村ノ經營ノ中ニ之ヲ有機的ニ取入レテ、集約的ニ施業スルト云フコトガ適當デゴザイマセウ、奥山ハ國有林ノ性格ニ於テ、治山治水等國土保安ノ意味デハ殊ニ深カルベキデアラウト思フノデアリマス、サウシテ實際問題ト致シテハ、此ノ戰爭中一本ノ木材デモ迅速ニ出サナケレバイカスト云フ要請カラシテ、例ノ木統法ノ強制力ニ物ヲ言ハセテ、民有林ノ方ヲウント濫伐過伐ヲシテ傾向ガ強イト思フノデアリマス、當分ノ間民有林ノ方ハ之ヲ休養サセルト云フ風ニ存置シテ、寧ろ國有林ノ伐採ニ「ウェット」ヲ強メルベキデハナイカト云フ風ニ私ハ考ヘルノデアリマス、先達大臣ノ申サレル時ニハ、大體兩方ヲ、國有材モ民有林モ並行シテ伐ツテ居ルト云フ風ニ仰シヤツテ居ラレマシタ、曩ニ配付サレマシタ統計ヲ見マス、昭和十六年カラ十九年ニ亙ル四箇年間に國有林ノ方ハ——大體此ノ數字ハ一寸面倒デスカラ省キマスケレドモ、兎も角國有林ノ方ガズツト緩ヤカデアルト云フ

數字ガ出テ居ルヤウデアリマス、斯様ナ意味ニ於テ暫ク民有林ヲ休マセルト云フ風ナ御考ヘハナイモノデアアルカト云フ點ヲ一ツ伺ヒタイノデゴザイマス、ソレカラ先程氏原サンノ質問ノ中デ、民有林ノ官行ニ依ツテ造林スルト云フ問題ニ觸レラレマシタガ、是ハ私モ、大臣ノ御答辯ガサウ云フ方向ニアルト云フコトヲ伺ヒマシテ、非常ニ満足ヲ致シテ居ル譯デアリマス、今申上ガタ民有林ト國有林ノ「バランス」ト云フ問題ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○和田國務大臣 是ハ大體此ノ前御答へ致シマシタヤウニ、内地關係デハ「バランス」ガ探レテ居ルと思フノデアリマスガ、勿論國有林ニ付キマシテモ、此ノ戰爭中ハ相當要求ガ強カツタノデ、戰前ノ伐採量カラ較ベマスレバ、相當程度ニ上ツテ居リマス、所ガ此ノ國有林ハ御察知ノヤウニ奥地ニアル山ガ割合多イ譯デアリマス、ソコデ民有林ノ伐採率ト較ベマスルト云フト、多少均衡ガ探レテ居ナイ點ガアルノデヤナイカト思ヒマス、其ノ點ニ付キマシテハ、奥地ノ林道ノ開發其ノ他ニ依リマシテ、民有林ト官有林ノ間ノ「バランス」ハ取ツテ行クヤウニ致シタイト思ヒマス、又國全體トシマシテモ、是ハ一方ニ於テヤハリ資源ノ保全ヲ圖リナガラ、一方ニ於テハ、此ノ委員會ニ於キマシテモ、豫算委員會ニ於キマシテモ、委員ノ皆様方ガ御指摘ニナリマシタヤウニ、現在ノ需要ノ多イ木材ト云フモノノ需要ニ對シテ、ヤハリ出來ルデケ「マッチ」シテ行カナケレバナラヌ點ガアリマス、ソレ等ノ點ニ付テハ、戰爭中繰返シテ致シマシタ過伐ト云フコトガナイヤウニ、是ハ國有林ト民有林ト十分均衡

ヲ取ツテヤツテ行クト云フ方針デ大體進ンデ行ク考ヘテ居リマス、國有林ノ伐採方針ニ付キマシテハ、今年ノ二月ニ營林局長ニ通牒ヲ出シマシテ、治山治水ト云フ見地カラ支障ナイ限リハ、ドウ云フ林分デモ一應伐採ノ對象ニシロト云フコトヲ申シ傳ヘテ居リマス

○井出委員 是ハ私直接デアリマセヌガ、私ノ友人ガ極ク最近 G・H・Q 民間情報教育局ノ「スタンレー」ト云フ人ニ會フ時ノ話デアリマス、聯合軍ガ進駐目ノ達成セガ爲ニハ、是ハモウ日本人ニ三合配給ヲ最低トシテモサセナケレバ駄目ナンデ、ソシテ又米國ハ之ヲ十分ニ應援スル意圖ヲ持ツテ居ル——此ノ「スタンレー」ト云フ人ハドレデケ「ポスト」ニ居ル人カ知リマセヌガ、更ニ言葉ヲ繼イデ——日本ノ農林省ハドウモ遠慮ヲサレテ居ル氣味ガアリハセヌカ、斯ウ云フコトヲ申シタサウデアリマス、マア幸ヒ本年ノ製作ノ見込ト合セマシテ、何カ前途非常ニ明るクナツテ居ル、サウシテ又當局モ、マダ最ハ決メナイガ、増配ヲスルト云フコトヲ既ニ言明サレテ居ル譯デアリマス、此ノ場合此ノ林業事務者ト云フ風ナ面ニ對シテモ、成べく可及的速力ニ重點ナ増配ヲシナケレバナラヌノデヤナイカ、私ノ承知シテ居リマス、本會ノ御料林デアリマス、此處ハ森林鐵道ガ殆ド限ナク行互ツテ居リ、非常ニ出シガ便利デゴザイマス、伐出シタ材積ト云フモノハ恐ラク數十萬石ニ上ルデアリマセウ、是ガ唯單純ナル事務者ノ勞働デケ直ニ貨車ニ積込マレルト云フ風ナ非常ニ便利ナ狀態ニアルニ拘ラズ、是ガ搬出サレテ居ラヌト云フコトハ、一ニ懸ツテ事務者ノ食糧事情ニアルヤウデゴザ

イマス、長野縣知事ニモ此ノ點ハ屢々折衝ヲ致シタノデアリマス、ドウモ僅カバカリノ米ガ廻ツテ行カナイト云フ風ナ事情デ、目下山下下ツテ御料林カラ餘所ヘ出テシマフト云フ風ナ狀態ニ事務事情ガ相成ツテ居ル、是ナドハモウ即刻手ヲ打テバ、食糧ノ若干ノ増配デ以テ數十萬石ト云フ風ナ出材ガ可能ナンデアリマス、斯ウ云フ方面ニ對シテハ食糧配給ノ機動性ト云フ風ナモノヲ一層發揮シテ戴キタイト思ヒマスガ、御見解ハ如何デアリマセウカ

○和田國務大臣 御意見ハ御尤モデアリマシテ、私達ト致シマシテモ、幸ヒ今年ハ相當ノ製作ガ見込マレテ居リマス、日本ノ經濟ヲ再建シマスル爲ニハ、ドウシテモサウ云フ勞務加配ト云フ點ニ付キマシテハ、現在ノヤウナ狀態デハ迎ヘ満足デハゴザイマセヌノデ、來食糧年度ニ於キマシテハ、ソレ等ノ點ニ付テハ十分考ヘマシテ、御話ノヤウナ此ノ林業ノ經營上、或ハ伐木其ノ他ニ付テモ支障ノナイヤウニ出來ルデケ致シタイト思ツテ色々考ヘテ居ル次第デアリマス

○井出委員 是モ既ニ出タ問題デアリマスガ、本案ガ恆久案デアルカ、ソレトモ臨時的ナ性格ヲ持ツタモノデアアルカト云フコトニ付デアリマス、本案ガ G・H・Q 指令ニ基キ緊急ノ措置デアルト云フコトハ、是ハ認メルト致シマシテモ、内容上ニ於テドウモ若干粗漏ノ點ガ免レナイト云フ氣ガ致スノデアリマス、例へバ先程氏原委員ニ依ツテ指摘サレマシタ所ノ森林組合ト林産組合トノ比較機能ト云フ風ナモノガ、ドウモ森林組合側ニ薄イ、片方ハチャント本法ニ規定シテ居リナガラ、一方

イマス、長野縣知事ニモ此ノ點ハ屢々折衝ヲ致シタノデアリマス、ドウモ僅カバカリノ米ガ廻ツテ行カナイト云フ風ナ事情デ、目下山下下ツテ御料林カラ餘所ヘ出テシマフト云フ風ナ狀態ニ事務事情ガ相成ツテ居ル、是ナドハモウ即刻手ヲ打テバ、食糧ノ若干ノ増配デ以テ數十萬石ト云フ風ナ出材ガ可能ナンデアリマス、斯ウ云フ方面ニ對シテハ食糧配給ノ機動性ト云フ風ナモノヲ一層發揮シテ戴キタイト思ヒマスガ、御見解ハ如何デアリマセウカ

○和田國務大臣 御意見ハ御尤モデアリマシテ、私達ト致シマシテモ、幸ヒ今年ハ相當ノ製作ガ見込マレテ居リマス、日本ノ經濟ヲ再建シマスル爲ニハ、ドウシテモサウ云フ勞務加配ト云フ點ニ付キマシテハ、現在ノヤウナ狀態デハ迎ヘ満足デハゴザイマセヌノデ、來食糧年度ニ於キマシテハ、ソレ等ノ點ニ付テハ十分考ヘマシテ、御話ノヤウナ此ノ林業ノ經營上、或ハ伐木其ノ他ニ付テモ支障ノナイヤウニ出來ルデケ致シタイト思ツテ色々考ヘテ居ル次第デアリマス

○井出委員 是モ既ニ出タ問題デアリマスガ、本案ガ恆久案デアルカ、ソレトモ臨時的ナ性格ヲ持ツタモノデアアルカト云フコトニ付デアリマス、本案ガ G・H・Q 指令ニ基キ緊急ノ措置デアルト云フコトハ、是ハ認メルト致シマシテモ、内容上ニ於テドウモ若干粗漏ノ點ガ免レナイト云フ氣ガ致スノデアリマス、例へバ先程氏原委員ニ依ツテ指摘サレマシタ所ノ森林組合ト林産組合トノ比較機能ト云フ風ナモノガ、ドウモ森林組合側ニ薄イ、片方ハチャント本法ニ規定シテ居リナガラ、一方

イマス、長野縣知事ニモ此ノ點ハ屢々折衝ヲ致シタノデアリマス、ドウモ僅カバカリノ米ガ廻ツテ行カナイト云フ風ナ事情デ、目下山下下ツテ御料林カラ餘所ヘ出テシマフト云フ風ナ狀態ニ事務事情ガ相成ツテ居ル、是ナドハモウ即刻手ヲ打テバ、食糧ノ若干ノ増配デ以テ數十萬石ト云フ風ナ出材ガ可能ナンデアリマス、斯ウ云フ方面ニ對シテハ食糧配給ノ機動性ト云フ風ナモノヲ一層發揮シテ戴キタイト思ヒマスガ、御見解ハ如何デアリマセウカ

○和田國務大臣 御意見ハ御尤モデアリマシテ、私達ト致シマシテモ、幸ヒ今年ハ相當ノ製作ガ見込マレテ居リマス、日本ノ經濟ヲ再建シマスル爲ニハ、ドウシテモサウ云フ勞務加配ト云フ點ニ付キマシテハ、現在ノヤウナ狀態デハ迎ヘ満足デハゴザイマセヌノデ、來食糧年度ニ於キマシテハ、ソレ等ノ點ニ付テハ十分考ヘマシテ、御話ノヤウナ此ノ林業ノ經營上、或ハ伐木其ノ他ニ付テモ支障ノナイヤウニ出來ルデケ致シタイト思ツテ色々考ヘテ居ル次第デアリマス

イマス、長野縣知事ニモ此ノ點ハ屢々折衝ヲ致シタノデアリマス、ドウモ僅カバカリノ米ガ廻ツテ行カナイト云フ風ナ事情デ、目下山下下ツテ御料林カラ餘所ヘ出テシマフト云フ風ナ狀態ニ事務事情ガ相成ツテ居ル、是ナドハモウ即刻手ヲ打テバ、食糧ノ若干ノ増配デ以テ數十萬石ト云フ風ナ出材ガ可能ナンデアリマス、斯ウ云フ方面ニ對シテハ食糧配給ノ機動性ト云フ風ナモノヲ一層發揮シテ戴キタイト思ヒマスガ、御見解ハ如何デアリマセウカ

○和田國務大臣 御意見ハ御尤モデアリマシテ、私達ト致シマシテモ、幸ヒ今年ハ相當ノ製作ガ見込マレテ居リマス、日本ノ經濟ヲ再建シマスル爲ニハ、ドウシテモサウ云フ勞務加配ト云フ點ニ付キマシテハ、現在ノヤウナ狀態デハ迎ヘ満足デハゴザイマセヌノデ、來食糧年度ニ於キマシテハ、ソレ等ノ點ニ付テハ十分考ヘマシテ、御話ノヤウナ此ノ林業ノ經營上、或ハ伐木其ノ他ニ付テモ支障ノナイヤウニ出來ルデケ致シタイト思ツテ色々考ヘテ居ル次第デアリマス

○井出委員 是モ既ニ出タ問題デアリマスガ、本案ガ恆久案デアルカ、ソレトモ臨時的ナ性格ヲ持ツタモノデアアルカト云フコトニ付デアリマス、本案ガ G・H・Q 指令ニ基キ緊急ノ措置デアルト云フコトハ、是ハ認メルト致シマシテモ、内容上ニ於テドウモ若干粗漏ノ點ガ免レナイト云フ氣ガ致スノデアリマス、例へバ先程氏原委員ニ依ツテ指摘サレマシタ所ノ森林組合ト林産組合トノ比較機能ト云フ風ナモノガ、ドウモ森林組合側ニ薄イ、片方ハチャント本法ニ規定シテ居リナガラ、一方

イマス、長野縣知事ニモ此ノ點ハ屢々折衝ヲ致シタノデアリマス、ドウモ僅カバカリノ米ガ廻ツテ行カナイト云フ風ナ事情デ、目下山下下ツテ御料林カラ餘所ヘ出テシマフト云フ風ナ狀態ニ事務事情ガ相成ツテ居ル、是ナドハモウ即刻手ヲ打テバ、食糧ノ若干ノ増配デ以テ數十萬石ト云フ風ナ出材ガ可能ナンデアリマス、斯ウ云フ方面ニ對シテハ食糧配給ノ機動性ト云フ風ナモノヲ一層發揮シテ戴キタイト思ヒマスガ、御見解ハ如何デアリマセウカ

○和田國務大臣 御意見ハ御尤モデアリマシテ、私達ト致シマシテモ、幸ヒ今年ハ相當ノ製作ガ見込マレテ居リマス、日本ノ經濟ヲ再建シマスル爲ニハ、ドウシテモサウ云フ勞務加配ト云フ點ニ付キマシテハ、現在ノヤウナ狀態デハ迎ヘ満足デハゴザイマセヌノデ、來食糧年度ニ於キマシテハ、ソレ等ノ點ニ付テハ十分考ヘマシテ、御話ノヤウナ此ノ林業ノ經營上、或ハ伐木其ノ他ニ付テモ支障ノナイヤウニ出來ルデケ致シタイト思ツテ色々考ヘテ居ル次第デアリマス

ハ必要ガアレバ勅令ヲ決メルト云フ風ナ、先程ノ政府委員ノ御答辯デアリマシタガ、ドウモ何カ斯ウ云フ點、外ニモ若干缺陷ガアルヤウデゴザイマス、本來ナラバ是ガ林業團體法デアルト云フ意味ニ於テ、森林組合ト林業組合ヲ當然一括包含シナケレバナラヌ性質ノモノデゴザイマス、ソレヲ片方ノ森林組合メケハ森林法ノ中デ規定ヲ致シ、此ノ法案デハ殆ド觸レテ居ラナイト云フ風ナ點ガ、ドウモ根本的ナ誤謬ノヤウデアリマス、是ハドウシテモモウ少シ一貫シタ體系ヲ整ヘルト云フ意味ニ於テ、近イ將來ニ森林組合ヲ森林法カラ抜キ出シテ、コナラヘ一括統合スルト云フ風ニシテ戴キタイノデアリマスガ、左様ナ意思ガオアリデアアルカドウカ、之ヲ伺ヒタイノデゴザイマス、又本法ハ林業物ノ自治統制ヲ必要トスル期間、言換ヘレバ臨時物資供給調整法デアルトカ、或ハ經濟安定本部ノ存續期間ト云フ風ナ間ニ於ケル臨時法ト云フ風ナ感ガ非常ニ深イシ、又屢々サウ云フ御答辯モアツタノデアリマスガ、兎モ角サツキ申上ゲタヤウニ、林業團體法トシテ一貫シタ體系ヲ具ヘテ居ラヌト云フ意味ニ於テ、之ヲ近ク完璧ナルモノニシテ御出シニナル意思ガアルカドウカ、之ヲ伺ヒ致シマス

○和田國務大臣 ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、先刻御答ヘ致シタ通りデアリマシテ、是ハ實ハ林業關係一般ノ法制ニ通ズル問題デモアリマシテ、林業ノ方ノ法制全體ガ、是ハ本會議デモ問題ニナリマシタヤウニ色々ト込入ツテ居リマス、ソレハ其ノ年代々ノ必要ニ應ジマシテ出テ來タ譯デアリマスルガ、ドウシテモ此ノ際林政ノ根本的ナ進展ヲ圖リマスル爲ニハ、ヤハリサウ

云ツタ方面ニ於テモ十分檢討致シマシテ、色々ノ法制ノ整理、制度ノ整理ト云フコトヲ、ヤハリヤラナケレバナラナイト思ツテ居ルノデアリマス、林業團體法ニ付キマシテモ、御話ノヤウニ是ハ此ノ前ノ方ニモ御斷リ致シマシタヤウニ、我々ト致シマシテモ十分檢討致シマシテ、出來ルルデハ早イ機會ニ是非根本的ナ立法ヲ致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○井出委員 森林組合ト林業組合トノ問題デアリマスガ、先程氏原サンカラ非常ニ重要ナ所ヲ一語突カレタヤウデアリマス、ソレト關聯致シマシテ私ノ伺ヒタイノハ、森林組合ハ營利ヲ目的トセザル社團法人ダト云フ規定ガ森林法ニゴザイマスルガ、林業組合ハドウ云フ性格ノ法人デアアルカ、其ノ指定ヲシテ戴キタイト思ヒマス、ソレカラ出資森林組合ハ追補責任制度ヲ執ツテ居ルヤウデアリマス、林業組合ノ責任制バドウ云フ言葉デ表現出來マスルカ、之ヲ第二點トシテ御尋ネ致シマス、ソレカラ森林組合ハ強制加入ヲ其ノ六十七條デ規定ヲシテ居リマスガ、林業組合ノ方ハ任意ノヤウデアリマス、サウスルト「アウト・サイダー」ガ出來テ業界ヲ攪亂スルト云フヤウナ處ガアルノデハナイカ、斯ウ云フ點ヲドウ云フ風ニ御考ヘニナリマスカ、ソレカラモウ一點森林組合ハ所謂特別法人トシテ特別法人稅ヲ之ニ課スルヤウデアリマス、林業組合ハ法人稅ヲ課セナイト云フ特典ガアルヤウデアリマス、之ヲ併セテ一括シテ御答辯ヲ願ヒマス

○平川政府委員 森林組合ノ方ニ於キマシテハ、營利ヲ目的トセザル社團法人ト書イデアリマスガ、是ハ法律ノ型ノヤウナコトデアリマシテ、今回ノ林

業會、林業組合ニ於キマシテモ、營利ヲ目的トセザル社團法人デアルト云フコトニハ變リハゴザイマセヌ、近頃ノ立法ニハ其ノ點ヲ省略致スコトニナツテ居リマス、ソレカラ責任ノ關係デゴザイマスガ、是ハ林業會、林業組合ニ於キマシテハ、出資ヲ致シマス場合ニハ、其ノ出資ノ限度トスルト云フコトニ致シテ居リマス、是ハ第三十九條ニ規定ヲ致シテ居リマス、ソレカラ強制加入ノ點デアリマスガ、是ハ一種ノ協同組合ト云フ形ニ於テ、今回ノ林業會及ビ林業組合ハ任意加入ニ致シテ居ルノデアリマス、強制的ニ加入セシメテ、強イ統制ヲ行フト云フコトハ、今回ノ自主統制ト云フ趣旨カラ考ヘマシテ、必ズシモ適當デナイト、斯ウ考ヘタ譯デアリマス、ソレカラ特別法人稅ノ稅法ノ問題デゴザイマスガ、是ハ出資ヲ致シマス組合ニ付キマシテハ特別法人ト致シマシテハ特別法人稅ヲ課シマスル代リニ、法人稅ハ免除ニナルト云フ譯デ、詰リ法人稅ノ輕減ノ恩典ニ浴スル譯デアリマス、出資ヲ致シマセヌモノハ特別法人稅ハ課セラレナイノデアリマス、之ニ對シテハ所得稅ヲ課スル、所得稅ト申シマシテモ、是ハ例ヘバ銀行ノ預金デアリマスとか、サウ云フヤウナコトデ、殆ド大キナモノハ課カルコトハナイト思ヒマス、詰リ出資ヲ致シマス、林業會ニ於キマシテハ、是ハ特別法人ト致シマシテ、一般ノ法人稅ヨリモ安イ税金ヲ課ケルト云フコトニナツテ居リマス

○森委員長 本日ハ此ノ程度デ散會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス

午後四時五十七分散會